

ファクシミリ取扱説明書

FAX-380DL/380DW

本書をよくお読みになって製品をご利用ください。



困ったときは

本製品の動作がおかしいとき、故障かな？と思ったときなどは、以下の手順で原因をお調べください。

1 10章「こんなときには」で調べる

2 ブラザーのサポートサイトにアクセスして、最新の情報を調べる

<http://solutions.brother.co.jp/>

サポート ブラザー

検索

3 お客様相談窓口で相談

[ブラザーコールセンター]

0120-161-170

ご利用の際は、おかけ間違いのないようにご注意ください。

受付時間

9:00～20:00(土曜・祝日～17:00)

※日曜・当社指定休日は除きます。

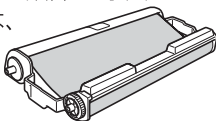
ブラザーコールセンターは、ブラザー販売株式会社が運営しています。



携帯電話からでも簡単なサポート情報を見ることができます。

<http://m.brother.co.jp/support/>

「リボンカートリッジ(PC-551)」は「当社指定品」をお使いください。当社指定以外のリボンカートリッジをお使いいただくと、故障の原因になります。(詳しくは、81ページをご覧ください。)



1章 準備する



8ページ

2章 ご使用の前に



16ページ

3章 電話



28ページ

4章 ファクス



41ページ

5章 コピー



46ページ

6章 留守番機能



49ページ

7章 ナンバー・ディスプレイ



57ページ

8章 知らせるセンサー



65ページ

9章 活用する



72ページ

10章 こんなときには



81ページ

11章 付録

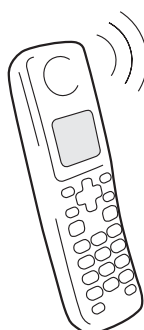


106ページ

本書はなくさないように注意し、いつでも手に取って見ることができるようにしてください。

特 長

機能充実の
新デジタル
コードレス子機



クリアな音質

子機の会話も
盗聴されにくくて安心



安心の
無接点充電

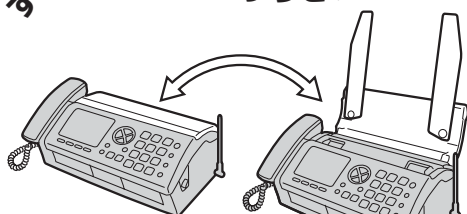
新搭載!!
受話音質選択&内緒話モード
(31ページ)

内線がスムーズ、
同時に話せる
双方向子機間通話※

※ FAX-380DWをお使いの場合や、子機を増設している時のみ(35ページ)

金属端子がないのでホコリや汚れに強く、確実に充電ができます。
子機の電話帳には電話番号が最大 100 件まで登録できます。(☎38 ページ)

すっきり使える・たくさん使える
選べる! すっきり&たっぷりトレイ



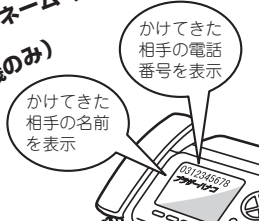
ファクスからお知らせしてくれる
光る!しゃべる!!知らせるセンサー



ふたの部分が簡易トレイに早変わり。普段、あまり
ファクスやコピーをご使用にならない方は、記録紙ト
レイを使わずにすっきりお使いいただけます。よくお
使いになる方は、付属品のたっぷりトレイ(記録紙ト
レイ)をお使いいただけます。(☎11 ページ)

「着信履歴が 1 件あります」「新しいファクスが 1 件あ
ります」など、本体に搭載された人感センサーが人を
検知すると、声と光でお知らせしてくれます。
(☎65 ページ)

NTTの「ネーム・ディスプレイ」に対応
(親機のみ)



バリエーション豊富
4和音着信・着信ボイス



簡単に迷惑電話をお断り
「おことわりボタン」



電話をかけてきた相手の電話番号
だけでなく、名前も表示される
サービス「ネーム・ディスプレイ」
に対応しています。「ネーム・デ
ィスプレイを利用する(親機)」(☎62
ページ)

親機に 29 曲・18 ボイス、子機に
6 曲の着信メロディがセットされ
ています。「着信音の設定」(☎73
ページ)

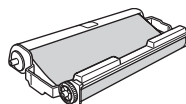
おことわりメッセージを流すこと
で通話中に電話を切ったり、着信
時に自動的に回線を切ることがで
きます。(☎30 ページ)

知って便利なポイントをまとめました！

消耗品などのご注文

リボンカートリッジがなくなったら？

☞ 取扱説明書 81 ページ



設定を変更したい

■親機の日付と時刻を変更したい！

☞ 取扱説明書 10 ページ

■子機の日付と時刻を変更したい！

☞ 取扱説明書 13 ページ

■留守番機能を使いたい！

☞ 取扱説明書 49 ページ

■留守番応答メッセージまでの呼出回数を長くしたい！

☞ 取扱説明書 25 ページ

■留守中に受信したファクスや音声メッセージを確認するには？

☞ 取扱説明書 50 ページ

■電話帳の登録方法は？

☞ 取扱説明書 37、106 ページ

使って便利な機能

■ナンバー・ディスプレイを使うには？

電話会社（NTT など）とのご契約後（有料）、本機の設定を「あり」にしてください。

☞ 取扱説明書 58 ページ

故障かな？と思ったら

92 ～ 100 ページをお読みください！



■電話をかけられない！

回線種別設定をもう一度お確かめください。☞ 取扱説明書 9 ページ

■携帯電話のみ電話をかけられない！

ケータイ通話お得サービスの設定を OFF にしてみてください。☞ 取扱説明書 27 ページ

目次

安全にお使いいただくために4

第1章 準備する

親機を準備する	8
接続する	8
ケータイ通話お得サービスを利用する	8
自動で回線種別を設定する	9
手動で回線種別を設定する	9
親機の日付・時刻を設定する	10
記録紙の準備	10
すっきりトレイを使う	11
記録紙トレイを使う	11
子機を準備する	12
充電する	12
子機の日付・時刻を設定する	13
他の機器を接続して使う	14
電話回線に接続する	14
接続に関する制限事項を確認する	15

第2章 ご使用の前に

各部の名称とはたらき（親機）	16
外觀図	16
操作パネル	17
ディスプレイ	18
ディスプレイと操作のしかた	18
ディスプレイの文字サイズ	19
各部の名称とはたらき（子機）	20
外觀図	20
ディスプレイ	20
操作パネル	21
初期設定をする	22
送信したファクスに印刷される自分の 名前と番号を登録する（発信元登録）	22
電話やファクスの受けかた	23
電話・ファクスの受けかたを変更する	24
呼出回数設定	25
再呼び出し設定	25
ケータイ通話お得サービスを利用する	26
ケータイ通話お得サービスとは	26
NTT コミュニケーションズの 0033 モバイルサービスのご案内	26
ケータイ通話お得サービスを設定する	27
事業者識別番号を変更する	27

第3章 電 話

電話をかける／受ける	28
電話をかける	28
電話を受ける	28
いろいろな電話のかけかた	29
通話のときは	30
いろいろな通話のしかた	30
電話を取り次ぐ	32

内線で話す	34
親機と子機で話す	34
子機と子機で話す	35
3人で同時に話す（三者通話）	36
電話帳に登録する	37
電話帳の登録	37
履歴からの登録／電話帳の変更・消去	39
電話帳の転送	40

第4章 ファクス

ファクスを送る	41
原稿のセットのしかた	41
ファクスを送る（自動送信）	41
話をしてから送る（手動送信）	41
いろいろなファクスの送りかた	42
ファクスを受ける	43
自動的に受ける（自動受信）	43
子機で受ける	43
電話に出てから受ける（手動受信）	43
受信したファクスをディスプレイで見る （みるだけ受信）・印刷する	44
いろいろなファクスの受けかた	45

第5章 コピー

コピーする	46
コピーのしかた	46
原稿に合わせて濃度や画質を調整する	47
濃度の調整	47
画質の調整	47
原稿・記録紙について	48
原稿のサイズと紙厚	48
原稿の読み取り範囲	48
使用できない原稿	48
記録紙について	48

第6章 留守番機能

留守番機能を利用する	49
出かけるとき	49
帰ってきたとき	50
メッセージを設定する	51
応答メッセージの設定	51
留守応答メッセージの選択	52
メッセージの録音時間の設定	52
留守録モニターの設定	52
外出中の便利な使いかた	53
暗証番号の設定	53
暗証番号の消去	53
リモコンアクセス	53
留守録転送	55
ファクス転送	56



第7章 ナンバー・ディスプレイ

ナンバー・ディスプレイを利用する	57
ナンバー・ディスプレイとは	57
ナンバー・ディスプレイを設定する	58
キャッチホン・ディスプレイを利用する	58
着信鳴り分けを設定する	59
いろいろなナンバー・ディスプレイの利用のしかた （親機）	60
ネーム・ディスプレイを利用する（親機）	62
履歴を利用する	63
着信履歴を利用する	63
発信履歴を利用する	64

第8章 知らせるセンサー

知らせるセンサーを利用する	65
知らせるセンサーとは	65
知らせるセンサーを設定する	66
知らせるセンサーの設定	66
お知らせアラームの鳴りかたを設定する	67
お知らせアラームの音量を設定する	67
知らせるセンサーの感度を設定する	68
知らせるセンサーの反応をテストする	68
お知らせ回数を設定する	68
センサー検知範囲	69
おかえり伝言を設定する	70
帰宅通知を設定する	71

第9章 活用する

操作ガイド	72
操作ガイドを見る	72
着信音と保留音を設定する	73
着信音の設定	73
保留音の設定（親機）	74
音量を設定する	76
モーニングアラームを設定する（親機）	77
モーニングアラームの設定	77
おやすみモードを設定する（親機）	78
おやすみタイマーの設定	78
手動でおやすみモードを設定する	78
レポート、リストを印刷する	79
通信管理レポート	79
いろいろなレポート、リストの印刷のしかた	80

第10章 こんなときには

リボンがなくなったら	81
リボンカートリッジを交換する	81
ファクス送受信時やコピー時の	
画質が悪いとき	83
原稿読取部を清掃する	83
記録部を清掃する	84
紙がつまったら	85
原稿がつまったときは	85
記録紙がつまったときは	86

子機のバッテリーを交換する	87
エラーメッセージが表示されたら（親機）	88
エラーメッセージが表示されたら（子機）	91
故障かな？と思ったら	92
停電になったとき	101
通話がうまくいかないときは	102
通話音質調整	102
子機通信チャンネル（親機）	102
通話パワー（子機）	102
通話や子機の使用に影響を及ぼす 可能性のある環境	103
特別設定について	104
特別回線対応	104
安心通信モード	104
ダイヤルトーン設定	104
子機増設モード	105

第11章 付 録

文字の入れかた（親機）	106
入力画面とボタン操作	106
入力例	106
入力できる文字と入力制限	107
文字の入れかた（子機）	108
入力画面とボタン操作	108
入力例	108
入力できる文字と入力制限	109
ユーザー辞書に登録する（親機）	110
機能一覧（親機）	111
機能一覧（子機）	115
初期状態に戻す	117
個人情報 を消去する（親機）	117
個人情報 を消去する（子機）	117
機能設定をもとに戻す	118
親機を強制リセットする （修理を依頼される前に）	118
主な仕様	119
親機	119
子機	119
消耗品などのご注文について	120
索 引	123

安全にお使いいただくために

このたびは本製品をお買い上げいただきましてまことにありがとうございます。
この「安全にお使いいただくために」では、お客様や第三者への危害や損害を未然に防ぎ、本製品を安全にお使いいただくために、守っていただきたい事項を示しています。

表示と記号の意味は次のようになっています。いつも快適な状態で安全にお使いいただけるよう、内容をよくご理解いただいたから、本製品をご使用ください。



危険

誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負うことがあり、かつその切迫の度合いが高い危害が想定される内容を示します。



記号は「してはいけないこと（禁止）」を意味しています。図中のイラストは、具体的な禁止内容を示しています。（左の例は分解禁止を意味しています。）



警告

誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性がある内容を示します。



「してはいけないこと」を示しています。



注意

誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり、物的損害の発生が想定される内容を示します。



「さわってはいけないこと」を示しています。



●

記号は「しなければいけないこと（指示）」を意味しています。図中のイラストは、具体的な指示内容を示しています。（左の例はプラグをコンセントから抜くことを意味しています。）



「分解してはいけないこと」を示しています。



!

「しなければいけないこと」を示しています。



「火気に近づけてはいけないこと」を示しています。



!

「電源プラグを抜くこと」を示しています。



「水ぬれ禁止」を示しています。



!

「アース線を接続すること」を示しています。

■ 本書の記載について

お願い	誤った取り扱いをすると、本製品の本来の性能を発揮できなかったり、機能停止をまねく内容を示しています。
メモ	本製品を取り扱う上で知っておくと便利な内容を示しています。
注意	本製品を取り扱う上での注意事項を示しています。

〈お客様へのお願い〉

- 本製品は、情報処理装置など電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づく、クラスB情報技術装置です。本製品は、家庭環境で使用することを目的としていますが、本製品がラジオやテレビ受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書にしたがって正しい取り扱いをしてください。
 - 本製品は、厳重な品質管理と検査を経て出荷しておりますが、万一不具合がありましたら、「お客様相談窓口（コールセンター）：☎0120-161-170」までご連絡ください。
 - お客様や第三者が、本製品の使用の誤り、使用中に生じた故障、その他の不具合、または本製品の使用によって受けられた損害については、法令上賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
 - 本製品の設置に伴う回線工事には、工事担当者資格を必要とします。無資格者の工事は違法となり、また事故のもととなりますので、絶対におやめください。
 - 電話帳に登録した内容、メモリーに受信したファクスなどで重要な情報は、必ず印刷して保管してください。「電話帳リストを印刷する」(☎80 ページ)
「受信したファクスをディスプレイで見る（みるだけ受信）・印刷する」(☎44 ページ)
本製品は、静電気・電氣的ノイズなどの影響を受けたとき、誤って使用したとき、または故障・修理・使用中に電源が切れたときに、メモリーに記憶した内容が変化・消失することがあります。これらの要因により本製品のメモリーに記憶した内容が変化・消失したために発生した損害について、当社は一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- ※ 取扱説明書など、付属品を紛失した場合は、お買い上げの販売店にてご購入いただくか、ダイレクトクラブ「消耗品などのご注文について」(☎120 ページ)へご注文ください。



■ 設置、配線についてのご注意

警告

- | | | | | | | | | | | | | |
|---|--|---|-------|-------|---------|-----------|-----------|-------|-------|----------|------|------------|
| <ul style="list-style-type: none"> ● 水のかかる場所(風呂場や加湿器のそばなど)や湿度の高い場所には設置しないでください。漏電による感電、火災の原因となります。 | <ul style="list-style-type: none"> ● 火気や熱器具、揮発性可燃物やカーテンに近い場所には設置しないでください。火災や感電、故障の原因となります。 | <ul style="list-style-type: none"> ● 医療用電気機器の近くでは使用しないでください。本製品からの電波が医療用電気機器に影響を及ぼすことがあり、誤動作による事故の原因となります。 | | | | | | | | | | |
| <ul style="list-style-type: none"> ● バッテリーは必ず専用のものお使いください。 ● バッテリーを指定以外の機器に使用しないでください。 ● 専用の充電器を使用してください。 | <ul style="list-style-type: none"> ● 電源コードを抜くときは、コードを引っ張らないでください。コンセントから抜くときは、必ず電源プラグの本体を持って抜いてください。ぬれた手で電源コードを抜き差ししないでください。感電ややけどの原因となります。 | <ul style="list-style-type: none"> ● いちじろしく低温な場所、急激に温度が変化する場所には設置しないでください。装置内部が結露するおそれがあります。 | | | | | | | | | | |
| <ul style="list-style-type: none"> ● 電源はAC100V 50Hz、または 60 Hz でご使用ください。それ以外の電源電圧でご使用になると、火災や感電、故障の原因となります。 ● 国内のみでご使用ください。電波法上、海外ではご使用になれません。 | <ul style="list-style-type: none"> ● たこ足配線はしないでください。 ● 電源コードを破損するようなことはしないでください。下記をしないでください。火災や感電、故障の原因となります。 <table border="0"> <tr> <td>・加工する</td> <td>・たばねる</td> </tr> <tr> <td>・無理に曲げる</td> <td>・重いものをのせる</td> </tr> <tr> <td>・高温部に近づける</td> <td>・挟み込む</td> </tr> <tr> <td>・引っ張る</td> <td>・金属部にかける</td> </tr> <tr> <td>・ねじる</td> <td>・折り曲げを繰り返す</td> </tr> </table> | | ・加工する | ・たばねる | ・無理に曲げる | ・重いものをのせる | ・高温部に近づける | ・挟み込む | ・引っ張る | ・金属部にかける | ・ねじる | ・折り曲げを繰り返す |
| ・加工する | ・たばねる | | | | | | | | | | | |
| ・無理に曲げる | ・重いものをのせる | | | | | | | | | | | |
| ・高温部に近づける | ・挟み込む | | | | | | | | | | | |
| ・引っ張る | ・金属部にかける | | | | | | | | | | | |
| ・ねじる | ・折り曲げを繰り返す | | | | | | | | | | | |

注意

以下の場所には設置しないでください。故障や変形の原因となります。

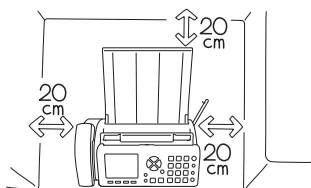
- 直射日光のあたるところや暖房設備のそばなど、温度の高い場所
- ぐらついた台の上や傾いたところなど、不安定な場所

- 本製品には電源スイッチがついていませんので、電源コードは抜きやすい場所にあるコンセントに確実に差し込んでください。雷が鳴り始めたら安全のために電源コードをコンセントから抜き、電話機コードを本製品から抜いてください。



お願い

- 本製品をお使いいただける環境は次のとおりです。
温度：5～35℃
湿度：45～80%
- 本製品を正しく使用し性能を維持するために、設置スペースを確保してください。



- 電源コンセントの共用にはご注意ください。コピー機などの高電圧機器や携帯電話の充電器と同じ電源は避けてください。

● 電波障害時の対処

本製品の近くに置いたラジオに雑音が入ったり、テレビ画面にちらつきやゆがみが発生したりする場合があります。本製品の電源コードをコンセントからいったん抜くことにより、ラジオやテレビなどが正常な状態に回復するようでしたら、次のような方法を試してください。

- ・本製品をテレビなどから遠ざける。
- ・本製品、またはテレビなどの向きを変える。

● 以下のような場所には設置しないでください。故障や変形の原因となります。

- ・テレビ、ラジオ、スピーカー、こたつなど、磁気の発生する場所
- ・エアコン、換気口など、風が直接あたる場所
- ・ホコリ、鉄粉や振動の多い場所
- ・換気の悪い場所

安全にお使いいただくために

■ 使用するときの注意

⚠ 危険

バッテリーについて

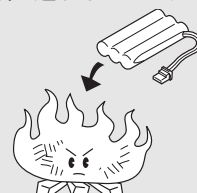
- 液漏れしたときは、液が皮膚や衣服に付着したり、目に入らないようにしてください。液が目に入ると、失明のおそれがあります。もし目に入ったら、こすらずにきれいな水で充分洗ったあと、直ちに医師の治療を受けてください。



- 分解、改造をしないでください。
- バッテリー端子をショートさせないでください。やけどをする可能性があります。
- コードの被覆やビニールカバーをはがしたり、傷をつけたりしないでください。



- バッテリーを加熱したり、火中に投げ込まないでください。



- バッテリーを子機から取り出して充電しないでください。
- 温度の高いところでは充電しないでください。
- 金属製品と一緒に保管しないでください。
- バッテリーの極性（赤／黒）を間違えないように入れてください。
- 電子レンジや高圧容器に入れないでください。



⚠ 警告

以下のように使用すると**故障や火災、感電の原因**となります。

- 分解、改造をしないでください。（法律で罰せられることがあります。）修理などはコールセンターにご相談ください。



- 火気を近づけないでください。



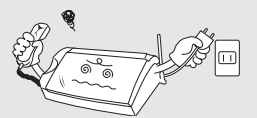
- 万一、子機や充電器の内部に水や異物が入った場合は、電源コードをコンセントから抜き、子機のバッテリーをはずしてコールセンターにご相談ください。



- 煙が出たり、変なにおいがしたときは、すぐに電源コードをコンセントから抜いて、コールセンターにご相談ください。



- 本製品を落としたり、破損したときは、電源コードをコンセントから抜いて、コールセンターにご相談ください。



- 異物が入ったときは、電源コードやバッテリーを外して、コールセンターにご相談ください。



- 本製品に水、薬品、アルコールなどの有機溶剤やペットの尿などの液体が入ったりしないよう、またぬらさないようご注意ください。万一、液体が入ったときは、電源コードをコンセントから抜いて、コールセンターにご相談ください。



- 差し込み部のホコリなどは定期的にとってください。電源コードをコンセントから抜き、乾いた布でふいてください。



- 充電器に布や布団をかぶせたり、包んだりしないでください。熱がこもり、火災の原因になることがあります。



- 本製品を清掃する際、可燃性のスプレーなどは使用しないでください。また、近くでの使用もおやめください。火災・感電の原因となります。可燃性スプレーの例
 - ホコリ除去スプレー
 - 殺虫スプレー
 - アルコールを含む除菌、消臭スプレー



- 電源プラグは根元まで確実に差し込んでください。傷んだプラグやゆるんだコンセントは使用しないでください。

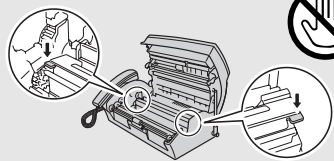


- 充電器の上に硬貨などの金属を置かないでください。やけどやけがをするおそれがあります。



けがをするおそれがあります。

- さわらないでください。



- 次のような場所で設置・使用しないでください

本製品の電波で、誤動作による事故の原因になることがあります。

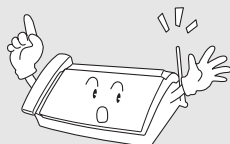
- 医療電気機器に近い場所（手術室・集中治療室・CCU*など） ※ CCU：冠動脈疾患監視病室
- 自動ドア・火災報知器などの自動制御機器に近い場所
- 心臓ペースメーカーの装着部位から 22cm 以内の位置





注意

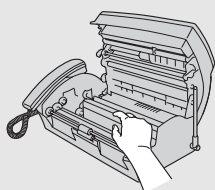
- 本製品を移動するときは、アンテナを手前に倒してください。誤ってアンテナが目にあたって、けがや事故の原因となることがあります。



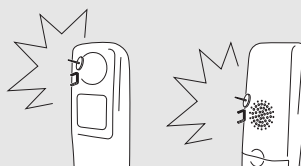
- 長期間不在にするときは、安全のため電源コードをコンセントから抜いてください。



- 記録ヘッドは発熱している場合があります。手が直接記録ヘッドにさわらないようにしてください。また、カバーを閉めるときに指などはさまないように注意してください。



- 子機のスピーカーには磁石が使われています。鉄粉、金属片などを吸いつける可能性がありますので、鉄粉、金属片の多い場所で使用しないでください。金属片（ホチキスの針、がびょう、針など）がついていたら取り除いてご使用ください。



- 充電器からは磁力線が出ています。磁気に弱いもの（キャッシュカードなどの各種磁気カード、通帳、フロッピーディスクなど）を近づけないでください。磁気に弱いものは、使えなくなる可能性があります。



お願い

- 落下、衝撃を与えないでください。
- 正常動作中に電源コードを抜いたり、開閉部を開けたりしないでください。
- 本製品の上に重いものを置かないでください。
- 指定以外の部品は使用しないでください。
- 原稿排出の妨げになりますので、本製品前方には物を置かないでください。
- 海外通信をご利用の際、回線の状況によっては正常な通信ができないことがあります。
- 本製品に貼られているラベル類ははがさないでください。
- 雑音が入るときは、アース線を取り付けてください。
- バッテリーをはじめて使用する際に、さびや発熱、その他異常と思われることがあったときは、使用しないでください。お買い上げの販売店に持参してください。

電波について

- 本製品は、2.40GHz ~ 2.4835 GHz の全帯域を使用する無線設備です。全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避不可能で、変調方式は「FH-SS 方式」、与干渉距離は 80 m です。

2.4 FH8

本製品には、それを示す右記のマークが貼付されています。

- 本製品の使用周波数に関わるご注意

本製品の使用周波数帯では、電子レンジなどの産業・科学・医療用機器のほか、工場の製造ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）および特定小電力無線局（免許を要しない無線局）ならびにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。

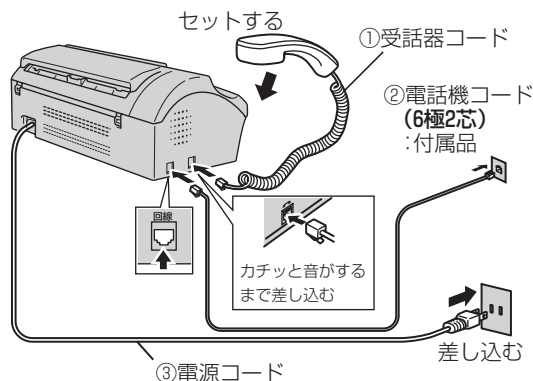
1. 本製品を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局が運用されていないことを確認してください。
2. 万一、本製品から移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、混信回避のため設置場所を変えるなどして互いに干渉が起きないようにしてください。

親機を準備する

接続する

電源を入れる前に、①受話器コード、②電話機コード、最後に③電源コードの順に接続します。

ご使用のパソコンにPHONE端子またはTEL端子がある場合は一つの電話回線でパソコンと本機の両方を接続してお使いいただけます。他の機器に接続して使用する場合は、「他の機器を接続して使う」(P.14ページ)を参照してください。



1 受話器を親機にセットして、受話器コードを接続する

2 電話機コードを接続する

3 電源コードを接続する
電源コードを接続すると、ケータイ通話お得サービスを設定する画面が表示されます。(接続の順番を間違えると、設定が正しく行われないことがあります。)

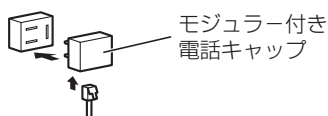
注意

- 電話機コードと電源コードを一緒に束ねないでください。
- 電源コードを接続するときは、携帯電話の充電器などと同じ電源からとらないでください。通話時に雑音が入ることがあります。

メモ

電話コンセントがモジュラー式ではないときは

- 3ピンプラグ式の場合は、市販のモジュラー付き電話キャップを購入してください。



- 直接配線式の場合は、別途工事が必要です。ご利用の電話会社にお問い合わせください。

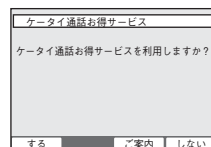


□ を選択するときは、下部の選択ボタンを押してください。

ケータイ通話お得サービスを利用する

「接続する」の手順のあと、ケータイ通話お得サービスの利用を設定する画面が表示されます。

1 または を押す



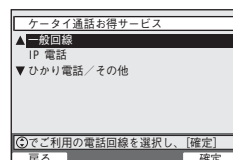
注意

直収電話サービスをご利用の場合は、 を押してください。

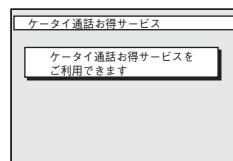
メモ

後日設定を変更するときは、「ケータイ通話お得サービスを設定する」(P.27ページ)を参照してください。

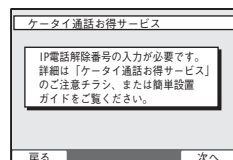
2 で本機の電話回線を選び を押す



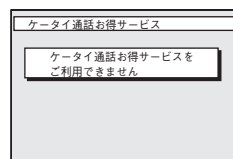
- ・「一般回線」の場合はケータイ通話お得サービスをご利用できます。



- ・「IP電話サービス」の場合はIP電話解除番号の設定が必要です。(P.27ページ)



- ・電話回線がわからない、またはひかり電話やその他の場合はケータイ通話お得サービスの設定をしません。



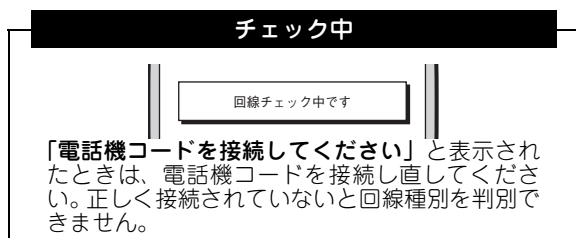


を選択するときは
下部の選択ボタンを
押してください。

自動で回線種別を設定する

回線種別を設定すると親機の日付と時刻設定画面が表示されます。日付と時刻の設定が終わったら、ディスプレイにエラーメッセージが表示されていないか、「177」(天気予報：有料)などに電話につながるかご確認ください。電話がつかない場合は、手動で回線種別を設定してください。

ケータイ通話お得サービスを設定すると、回線種別の自動設定が始まる



設定された回線種別が2秒間ディスプレイに表示される

- ・「20PPS回線です」
- ・「プッシュ回線です」

自動で設定されなかった場合は、日付と時刻の設定後「手動で回線種別を設定する」(P.9ページ)へ進む

「親機の日付と時刻を設定する」に進みます。

「親機の日付と時刻を設定する」(P.10ページ)

メモ

- 構内交換機(PBX)やマンションアダプタなど、一般と異なる回線につないでいる場合は、手動で回線種別を設定してください。「手動で回線種別を設定する」(P.9ページ)
- IPフォンアダプタをご使用の場合は、アダプタを一時的に外し、電話回線に直接つないでから電源コードを接続し直すと回線種別を自動設定できます。この手順で自動設定できないときは、手動で回線種別を設定してください。「手動で回線種別を設定する」(P.9ページ)
- 利用している回線種別がダイヤル回線10PPSのときは自動設定できないため、手動で設定してください。「手動で回線種別を設定する」(P.9ページ)

メモ

デモ画面が止まらないときは[停止]を押してデモ画面を終了し、[機能] [1] [9]を押してデモ動作設定を「しない」に変更してください。

手動で回線種別を設定する

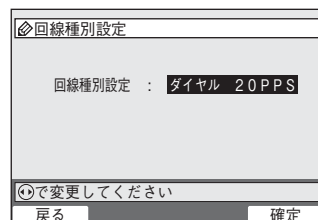
回線種別が自動設定されなかった場合や、後日設定を変更したい場合は、手動で回線種別を設定してください。

1 受話器を取り「ツー」という音が聞こえることを確認する



- ・ 聞こえないときは、受話器および電話機コードを正しく接続し直してください。「接続する」(P.8ページ)
- ・ 正しく接続し直しても聞こえないときは、別の電話からご利用の電話会社にお問い合わせください。

2 機能 [1] [1] を押す



3 [戻る] で回線の種別を選ぶ

プッシュ回線/ダイヤル 10PPS/
ダイヤル 20PPS/自動設定

4 [確定] を押す

「受けつけました」と表示されます。

5 [停止] を押す

- ・ 回線種別の手動設定終了後、「177」(天気予報：有料)などにつながることをご確認ください。
- ・ 電話を「177」(天気予報：有料)などにかけてみて、かからないときは、「ダイヤル20PPS」、「プッシュ回線」、「ダイヤル 10PPS」の順に設定してみてください。
- ・ どの設定でもかからないときは、NTT(116：無料)にお問い合わせください。

第1章
準備する

第2章
ご使用する前に

第3章
電話

第4章
ファックス

第5章
コピー

第6章
留守番機能

第7章
ナビゲーションディスプレイ

第8章
知らせるセンサー

第9章
活用する

第10章
こんなときには

第11章
付録

親機を準備する



□を選択するときは
下部の選択ボタンを
押してください。

親機の日付・時刻を設定する

親機の日付と時刻はディスプレイに表示されるほか、ファクスを送信したときに送り先の記録紙に送信日時として印刷されます。また、親機では着信履歴や発信履歴もこの設定に基づいて表示されますので必ず設定してください。

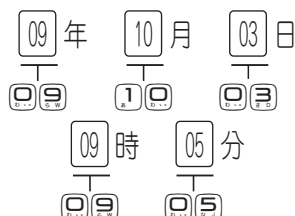
●再度設定をするときは

①②を押して、手順1から操作してください。

(例)「2009年10月3日 午前9時5分」に設定します。

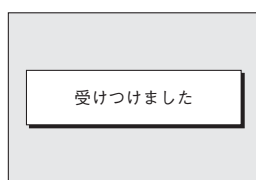
1 日時を入力する

・「年」は西暦の下2桁を入力します。



2 確定を押す

「受けつけました」と表示され、待ち受け画面が表示されます。



メモ

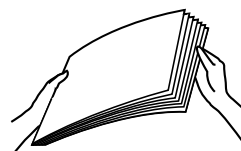
- 子機の日付・時刻を設定するときは「子機の日付・時刻を設定する」(※13 ページ)を参照してください。
- 数字を入れ間違えたときは<左><右>で間違えた箇所まで■(カーソル)を移動させ、入力し直してください。
- 設定を途中で中止するときは停止を押してください。

記録紙の準備

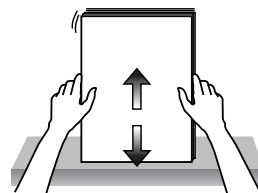
ファクスやコピーをご利用になる頻度によって、記録紙のセットのしかたを選ぶことができます。

- 普段、あまりファクスやコピーを使わない場合は、記録紙トレイを使わずに必要なときだけふたの部分を簡易トレイとして使うことができます。「すっきりトレイを使う」(※11ページ)
- ファクスやコピーをよくお使いになる場合は、記録紙トレイをセットして一度にたくさん印刷することができます。「記録紙トレイを使う」(※11ページ)

1 記録紙をよくさばく



2 さばいた側を下にしてそろえる



注意

- 記録紙は A4 サイズ (210 × 297 mm) のコピー用紙または普通紙をご使用ください。「記録紙について」(※48 ページ)
- 紙をさばかずにセットすると記録紙が正常に送られないことがあります。
- 紙づまりを防止するため、印刷された用紙を記録紙排出口の周りにためないように取り除いてください。
- 記録紙を追加するときは、記録紙トレイに残っている記録紙をすべて取り除き、追加する記録紙と合わせてよくさばいてセットしてください。
- 印刷中に記録紙を追加しないでください。
- 厚さの異なる記録紙を混ぜてセットしないでください。



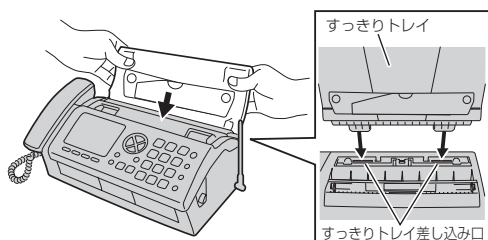
あまりファクスやコピーをご利用にならない方はすっきりトレイを、よくお使いになる方は記録紙トレイをご使用ください。

普段、あまりファクスやコピーをご使用にならない方は、記録紙トレイを使わずにスッキリお使いいただけます。よくお使いになる方は、付属品の記録紙トレイをお使いいただけます。

スッキリトレイを使う

スッキリトレイにセットできる記録紙の枚数は、最大5枚です。

- 1 **スッキリトレイを取り付ける**
両手で持って完全に差し込みます。



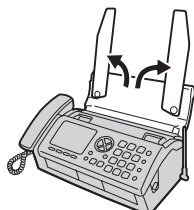
メモ

お買い上げ時は、親機に取り付けられています。手順2へ進んでください。

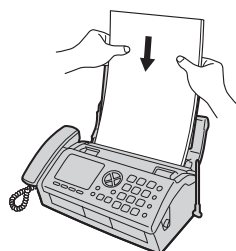
- 2 **スッキリトレイを開ける**
矢印の方向にカチッと音がするまで、スッキリトレイを開きます。



- 3 **記録紙サポートを立てる**



- 4 **記録紙をそろえ、印刷面を裏向きにして静かにセットする**



記録紙は
そろえてまっすぐ
入れてください。

注意

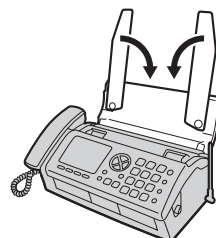
記録紙を使用しないときは、スッキリトレイを開けてください。



記録紙トレイを使う

記録紙トレイにセットできる記録紙の枚数は、最大40枚です。

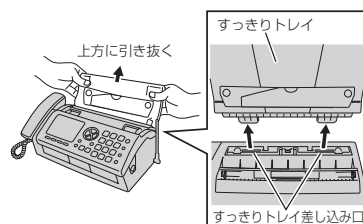
- 1 **記録紙を取り除いて、記録紙サポートをたたむ**



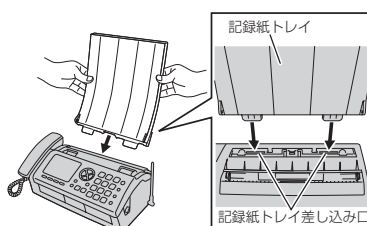
メモ

お買い上げ時は、親機に取り付けられています。手順2へ進んでください。

- 2 **スッキリトレイを取り外す**

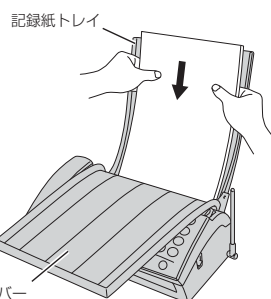


- 3 **記録紙トレイを取り付ける**
記録紙トレイは両手で持って完全に差し込みます。



- 4 **記録紙トレイのダストカバーを開ける**

- 5 **記録紙をそろえ、印刷面を裏向きにして静かにセットする**



- 6 **記録紙トレイのダストカバーを閉める**

第1章
準備する

第2章
ご使用の前に

第3章
電話

第4章
ファクス

第5章
コピー

第6章
留守番機能

第7章
ナビゲーション

第8章
知らざるセンサー

第9章
活用する

第10章
こんなときには

第11章
付録

第11章
録

子機を準備する

充電する

注意

- 初めてお使いいただくときは、必ず **12 時間以上** 充電してください。
- 子機充電器の電源を携帯電話の充電器と同じ電源からとらないでください。子機が正常に動作しない原因となります。
- 子機を充電器にセットしないで長時間放置しておくとバッテリーが消耗して使用できなくなります。

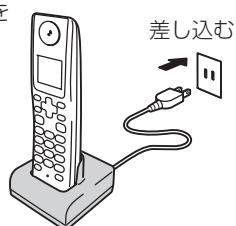
1 子機にバッテリーをセットする

「子機のバッテリーを交換する」(※87ページ)

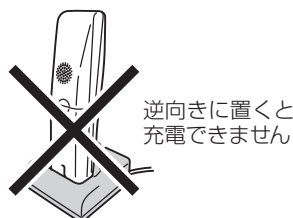
2 電源コードをコンセントに差し込み、子機を充電器にセットする

- ・ 充電器に子機をセットするとディスプレイに「ジ ャゲ ソイ」が表示され、 が点滅し充電表示ランプが点灯します。
- ・ 充電が完了するとディスプレイに  が点灯し「ジ ャゲ ソイ」の表示と充電表示ランプが消灯します。

ダイヤル面を
前に向ける



差し込む



逆向きに置くと
充電できません

お願い

- 子機を使用していないときは、必ず充電器にセットしてください。
- バッテリーの残量が極端に少なくなっているときは、充電器にセットしても「ジ ャゲ ソイ」と表示されなかったり、充電表示ランプが点灯しないことがありますが、しばらく充電すると表示されます。



注意

充電器の上に硬貨などの
金属を置かないでください。
熱くなることが
あります。

子機の日付・時刻を設定する

子機の日付と時刻を設定します。

(例)「2009年10月3日 午前9時5分」に設定します。

1 機能設定を押す

▶メイト・ウオンセッテイ
ハクシンリレキ
チャクシンリレキ

2 十字で「トクイセッテイ」を選び機能設定を押す

チャクシンリレキ
ガ メノコントラスト
▶トクイセッテイ

3 日付 (07 9月 1日 07 07 3分) を入力し機能設定または十字を押す

ヒツ?ケ?
▶2009/10/03
0~9デ? ハンコウ

4 時刻を4桁(24時間制)で入力し機能設定を押す

・午前9時5分のとき: 07 9月 07 5分

ジ?コク?
▶09:05
0~9デ? ハンコウ

5 切を押す



メモ

- 数字を入れ間違えたときは
十字で間違えた箇所まで■(カーソル)を移動させ、入力し直してください。
- 設定の終了について
機能設定を押して設定を終了すると「ウツクマツタ」と表示され、メニュー画面が表示されます。
続けて設定するときは十字を押してください。終了するときは切を押してください。
- 設定を途中で中止するときは
切を押してください。

第1章
準備する

第2章
ご使用の前に

第3章
電話

第4章
ファックス

第5章
コピー

第6章
留守番機能

第7章
ナビゲーション

第8章
知らずのセンサー

第9章
活用する

第10章
こんなときには

第11章
付録

他の機器を接続して使う

電話回線に接続する

■ ISDN をご利用の場合

本製品をISDN 回線のターミナルアダプタに接続するときは、次の設定と確認を行ってください。

● 本製品：

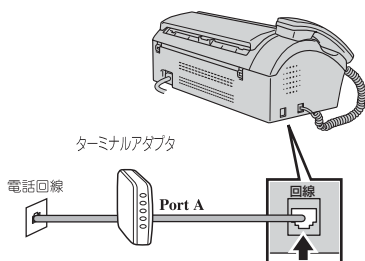
回線種別を「プッシュ回線」に設定する

● ターミナルアダプタ：

本製品を接続して電話がかけられるか、電話が受けられるか確認する

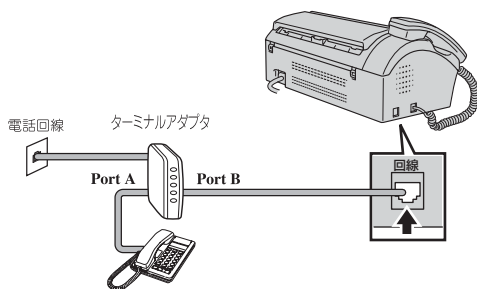
電話番号が1つの場合

本製品を、ターミナルアダプタのアナログポートに接続します。電話とファクスの同時使用はできません。



電話番号が2つの場合

本製品を、ターミナルアダプタのアナログポートに接続します。2 回線分使用できるので、ファクス送信中でももう1つの回線で通話できます。

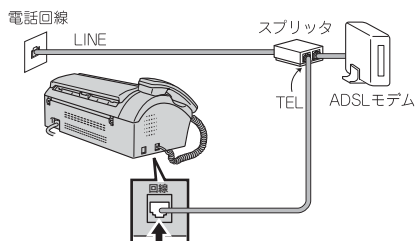


メモ

- 電話番号が1つの場合でも2回線分使用できます。
- 詳しい設定については、ターミナルアダプタまたはダイヤルアップルータの取扱説明書をご覧ください。

■ ADSL をご利用の場合

本製品をADSL 環境で使用する場合は、本製品をADSL スプリッタのTEL 端子またはPHONE 端子に接続してください。スプリッタに接続した状態で、ファクスが送受信できることを確認してください。



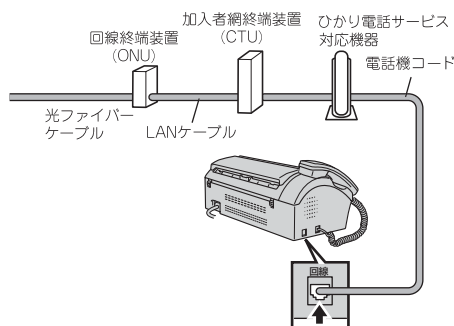
メモ

- お使いの機器によっては、ADSL モデムにスプリッタ機能が内蔵されている場合があります。
- 詳しい設定については、スプリッタや ADSL モデムの取扱説明書をご覧ください。
- ADSL 環境で自分の声が響く、または相手の声が聞きづらいときは、ADSL のスプリッタを交換すると改善する場合があります。

注意

ADSL モデムにスプリッタ機能が内蔵されていない場合、本製品とADSLモデムは必ず「スプリッタ」で分岐してください。「スプリッタ」より前（電話回線側）で分岐すると、ブランチ接続（並列接続）となり、通話中に雑音が入ったり、音量が小さくなるなどの支障が発生します。

■ ひかり電話サービスをご利用の場合



注意

- ひかり電話サービスをご利用の場合、回線種別を自動設定できないことがあります。その場合は、手動で回線種別を「プッシュ回線」に設定してください。「手動で回線種別を設定する」(※9 ページ)
- ひかり電話サービスでは、ケータイ通話お得サービスは使えません。
- 特定の番号だけつながらない、音量が小さい、ファクスを送受信できない、非通知相手からの着信ができないなどの問題がありましたら、ご利用の光回線の電話会社にお問い合わせください。

メモ

- ひかり電話サービスについてのご質問はご利用の電話会社にお問い合わせください。
- 加入者網終端装置 (CTU)、ひかり電話サービス対応機器などに設定するデータは、ご利用の電話会社から送付される資料をご覧ください。
- 回線終端装置 (ONU)、加入者網終端装置 (CTU)、ひかり電話サービス対応機器などの接続方法や不具合は、ご利用の電話会社にお問い合わせください。
- お住まいの環境やご利用の電話会社により、配線方法や接続する機器が上記と異なる場合があります。

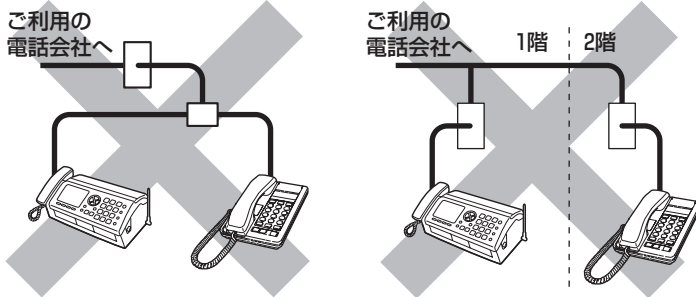
接続に関する制限事項を確かめる

■ ブランチ接続（並列接続）はしないでください

ブランチ接続（並列接続）とは、一つの電話回線に複数台の電話機を接続することです。

ブランチ接続（並列接続）をすると、以下のような支障があり、正常に動作できなくなります。

- ・ファクスを送ったり受けたりしているときに、ブランチ接続（並列接続）されている電話機の手話器をとるとファクスの画像が乱れたり通信エラーが起きることがあります。
- ・電話がかかってきたとき、着信音が鳴り遅れたり、途中で鳴りやんだり、相手がファクスのときに受信できないことがあります。
- ・コードレスタイプの電話機を接続すると、子機が使えなくなる可能性があります。
- ・本機で保留にした場合、ブランチ接続（並列接続）された電話機では本機の保留状態を解除できません。
- ・ブランチ接続（並列接続）された電話機から親機や子機への転送はできません。
- ・ナンバー・ディスプレイ、ネームディスプレイ、キャッチホン、キャッチホン・ディスプレイなどのサービスが正常に動作しません。
- ・パソコンを接続すると、本機が正常に動作しない場合があります。



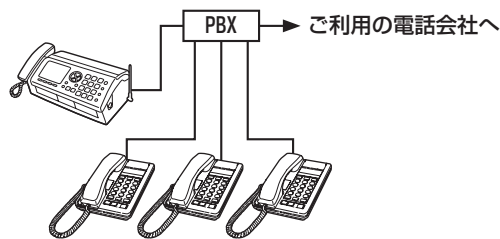
一つの電話回線に複数台の電話機を接続しないでください。正常に動作できなくなります。



■ 構内交換機（PBX）、ビジネスホン、ホームテレホンなどに接続する場合

構内交換機（PBX）、ビジネスホン、ホームテレホンなどをお使いになる場合は、各製造メーカーまたは販売店にお問い合わせください。また、本機の特別回線対応の設定を「PBX」にしてください。（P.104ページ）

例）構内交換機（PBX）の場合



メモ

ビジネスホンとは

電話回線を3本以上収容することができ、その回線を多くの電話機で共有できる、内線通話なども可能な簡易交換機です。

ホームテレホンとは

電話回線1～2本で複数の電話機を接続して、内線通話やドアホンなども接続可能な家庭用の簡易交換機です。

第1章
準備する

第2章
ご使用の前に

第3章
電話

第4章
ファクス

第5章
コピー

第6章
留守番機能

第7章
ナビゲーション

第8章
知らせるセンサー

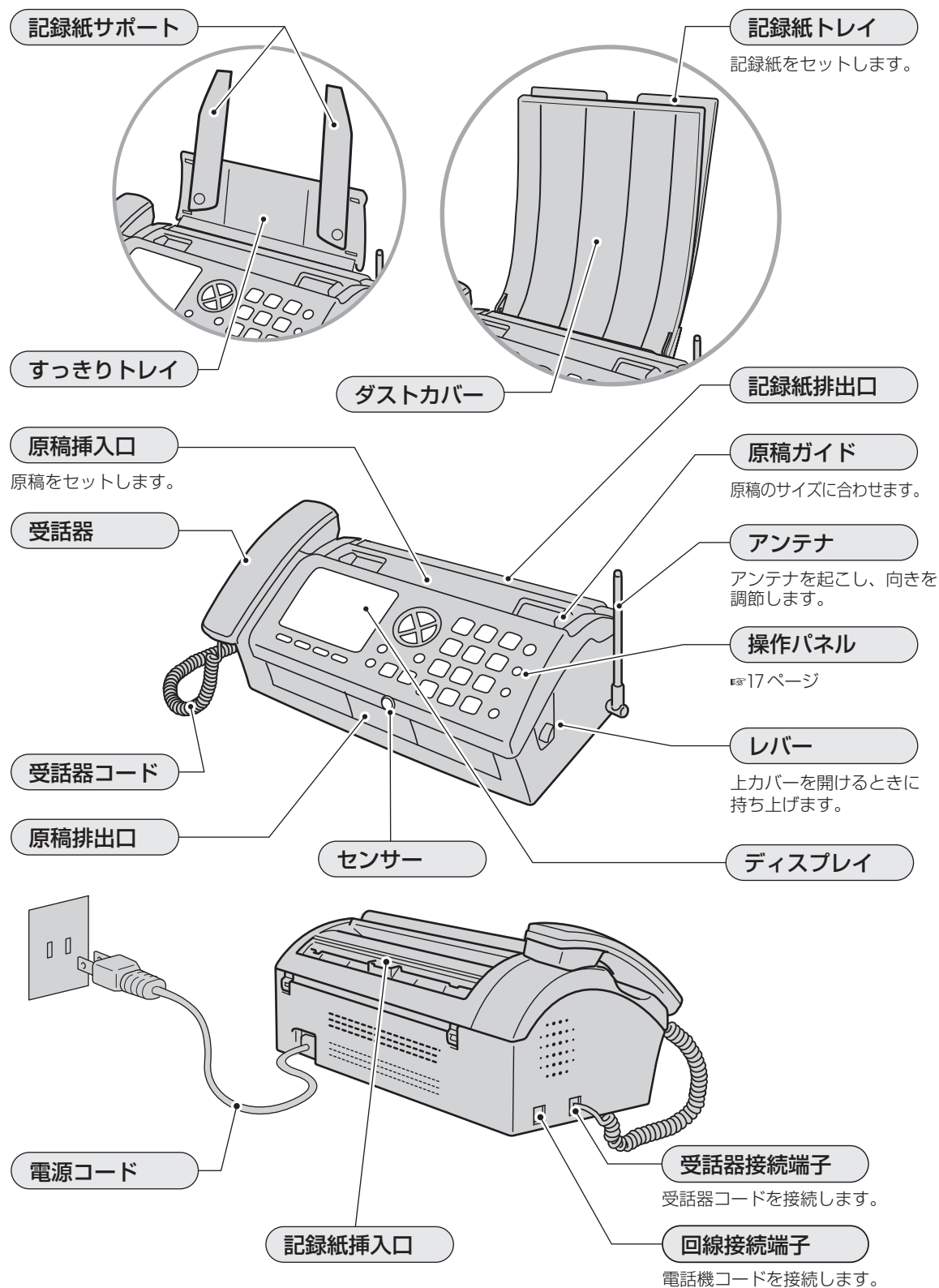
第9章
活用する

第10章
こんなときには

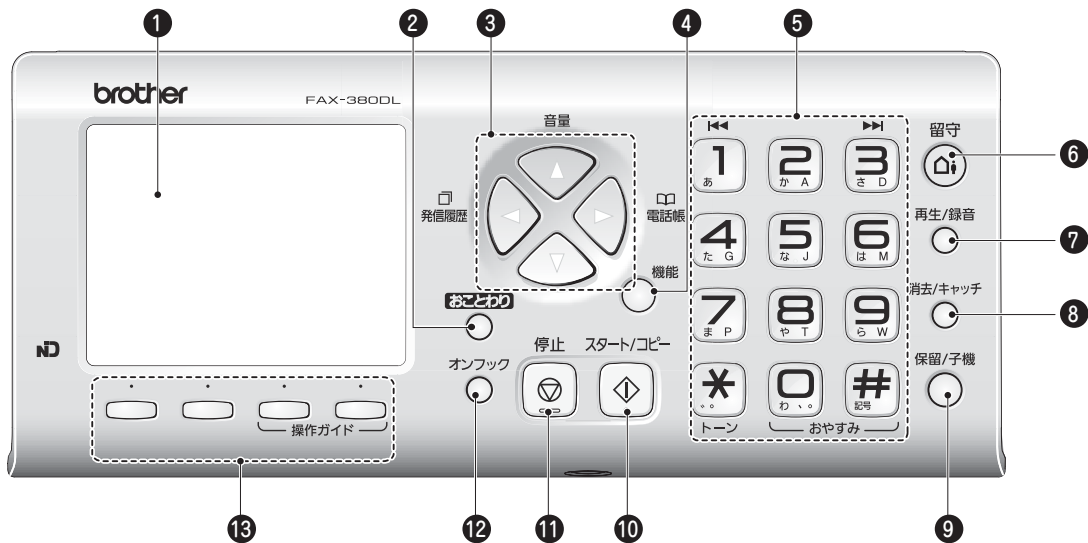
第11章
付録

各部の名称とはたらき（親機）

外観図



操作パネル



操作パネルのイラストはFAX-380DLを使用しています。

ボタン	名称／機能	ボタン	名称／機能
①	ディスプレイ 操作手順や本機の状態、メッセージなどが表示されます。(※18ページ)	⑤	おやすみボタン おやすみモードにするとき、2つのボタンを同時に押します。(※78ページ)
②	おことわりボタン メッセージを流して、通話を拒否するときに押します。(※30ページ)	⑤	戻しボタン (留守番機能) 録音された次のメッセージを聞き直すときに押します。(※50ページ)
③	マルチセレクトボタン ディスプレイの項目を選択します。	⑤	送りボタン (留守番機能) 録音された次のメッセージを聞くときに押します。(※50ページ)
	音量ボタン 着信音量、受話音量、モニター音量を調整するときに押します。(※76ページ)	⑥	留守ボタン 留守モードにするとき、または留守モードを解除するとき (※49ページ)、ダイヤル番号入力時にボースを入れるとき (※38、107ページ) に押します。
	電話帳ボタン 電話帳を表示するときに押します。	⑦	再生/録音ボタン メッセージを再生するとき (※50ページ)、または通話を録音するとき (※30ページ) に押します。
③	発信履歴ボタン 最後にかけた番号にかけ直すとき (※29ページ)、発信履歴を表示するとき (※64ページ) に押します。	⑧	消去/キャッチボタン メッセージ (※50ページ)、着信履歴 (※63ページ)、発信履歴 (※64ページ)、または電話帳に登録された内容などを消去するとき (※39ページ) に押します。また、キャッチホンを使うときに押します。(※31ページ)
④	機能ボタン 機能を設定するときに押します。(※111ページ)	⑨	保留/子機ボタン 保留にして相手にメロディを流すとき (※30ページ)、または子機を呼び出すときに押します。
⑤	ダイヤルボタン ダイヤルするときや文字を入力するときに押します。	⑩	スタート/コピーボタン 送信・受信するとき、またはコピーするときに押します。(※46ページ)
	トーンボタン 一時的にブッシュホンサービス (トーン信号によるサービス) を利用するとき (※28ページ) に押します。	⑪	停止ボタン 操作を途中で中止するとき、または待ち受け画面に戻るときに押します。
	記号ボタン 記号を入力するときに押します。(※107ページ)	⑫	オンフックボタン 受話器を持たずに通話を聞く (モニターする) ときに押します。
		⑬	選択ボタン 画面に表示された項目を選択します。(※18ページ)
		⑬	操作ガイドボタン 基本的な操作や、よくあるお問い合わせの説明をディスプレイに表示するときに2つのボタンを同時に押します。(※72ページ)

第1章
準備する

第2章
ご使用の前に

第3章
電話

第4章
ファックス

第5章
コピー

第6章
留守番機能

第7章
ナビディスプレイ

第8章
知らせるセンサー

第9章
活用する

第10章
こんなときには

第11章
付録

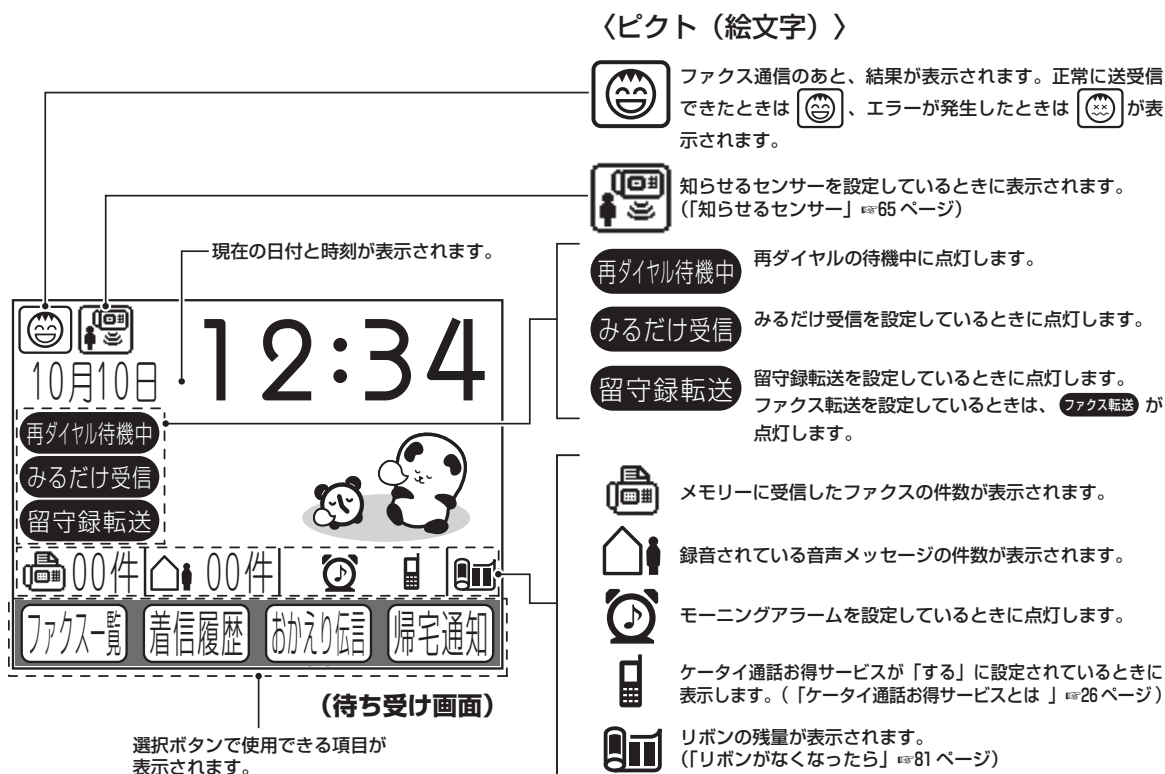
各部の名称とはたらき（親機）



□を選択するときは、下部の選択ボタンを押してください。

ディスプレイ

現在の状態やメッセージ、操作手順などを表示します。通話をしていない状態では、次のように「待ち受け画面」が表示されています。表示の内容と意味は次のとおりです。



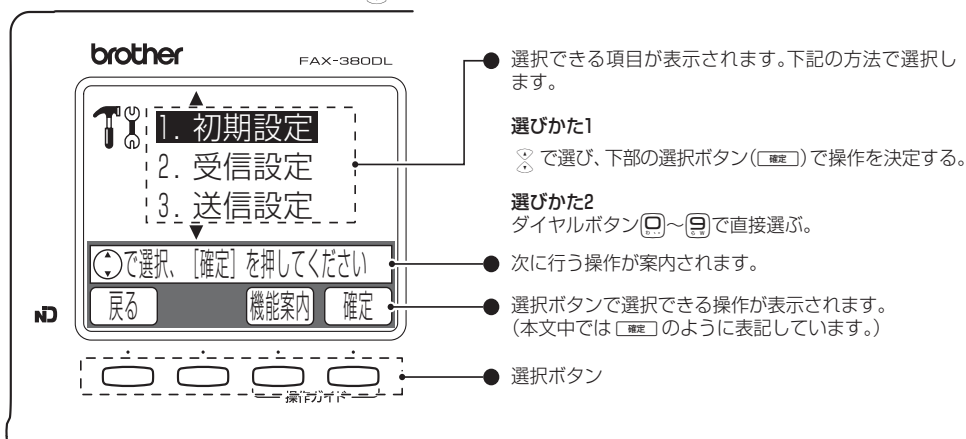
メモ

ディスプレイのコントラストを調整するときは

① ⑤ を押します。で画面のコントラストを設定し を押して を押します。

ディスプレイと操作のしかた

本機では、ディスプレイに表示された項目を （マルチセレクトボタン）や選択ボタンで選択します。

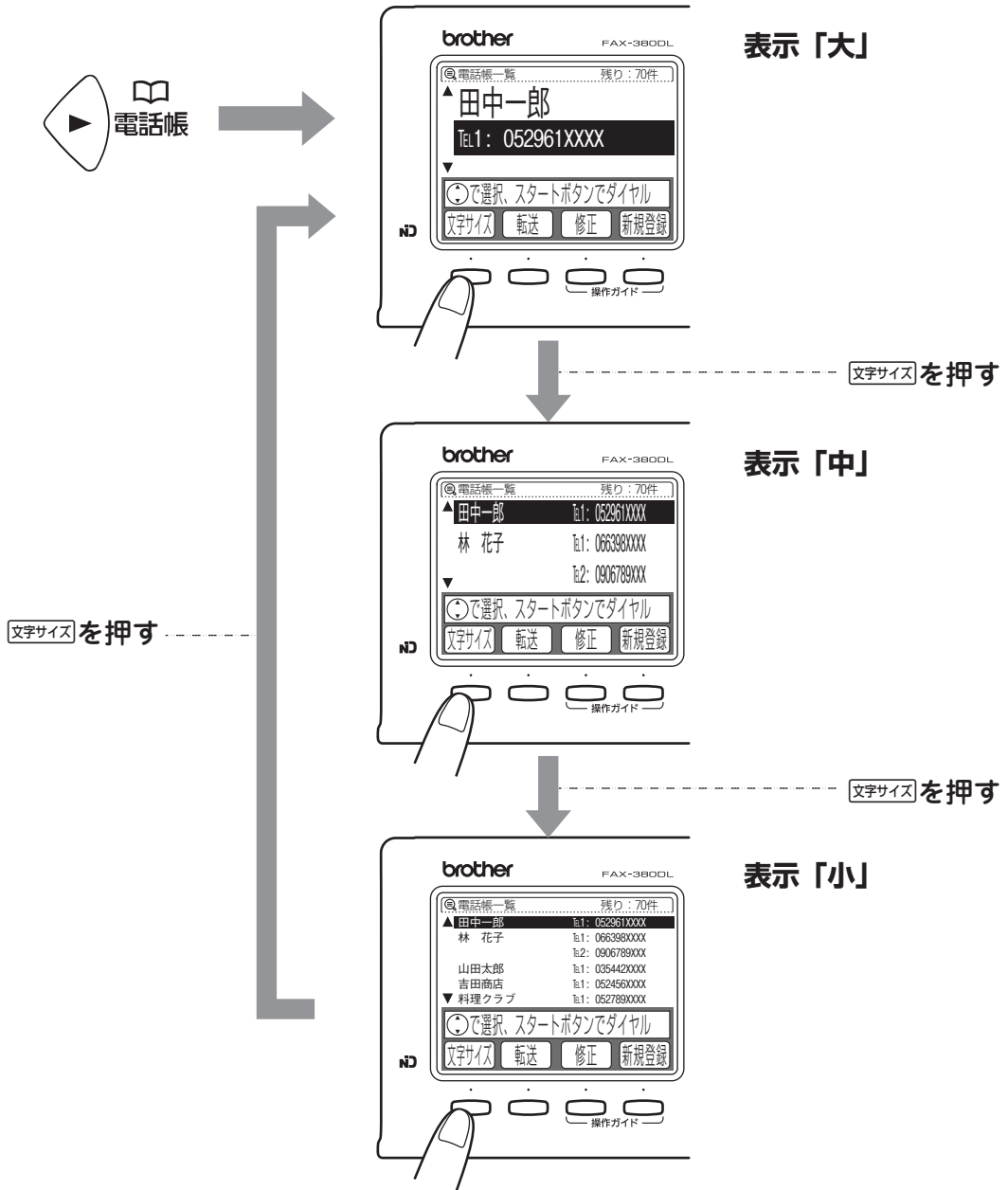




□を選択するときは、
下部の選択ボタンを
押してください。

ディスプレイの文字サイズ

電話帳を表示しているときは、ディスプレイに表示されている文字のサイズを3段階に切り替えることができます。



お好みの文字サイズを
お選びください。



第1章
準備する

第2章
ご使用の前に

第3章
電話

第4章
ファックス

第5章
コピー

第6章
留守番機能

第7章
ナビゲーション

第8章
知らせるセンサー

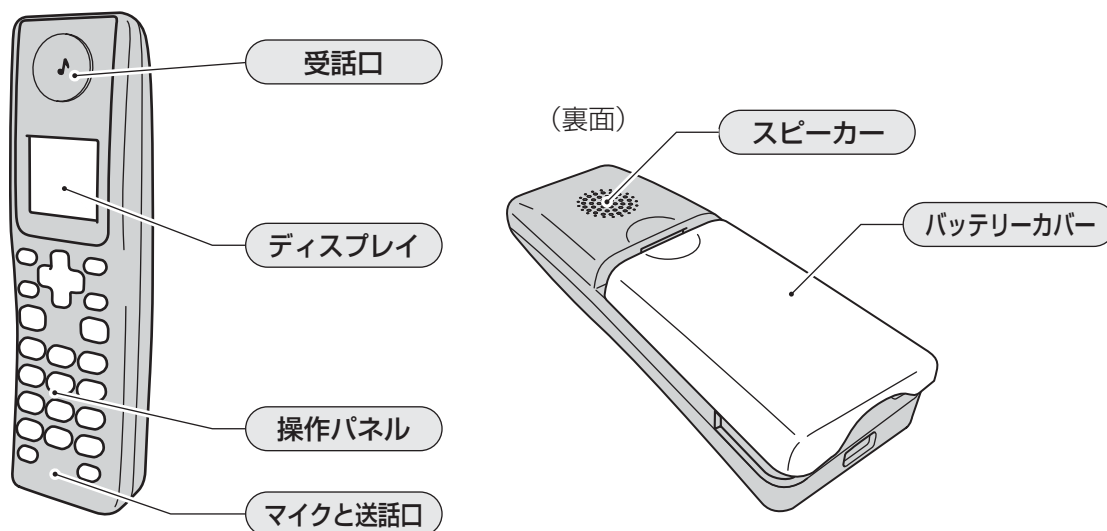
第9章
活用する

第10章
こんなときには

第11章
付録

各部の名称とはたらき（子機）

外観図



ディスプレイ

■ 表示の見かた



メモ

ディスプレイのコントラストを調整するときは
 (設定) を押し、 で「コントラスト」を選び、(設定) を押します。
 で明るさを設定し、(設定) を押します。

〈ピクト（絵文字）〉

バッテリーの残量の目安を表示します。
 〈バッテリー残量の目安〉

- ① : 20% 以上 ② : 20% 未満
- ③ : 10% 未満 ④ : 要充電

入力できる文字の種類が表示されます。

: アルファベット（大文字、小文字）、
 数字が入力できます。

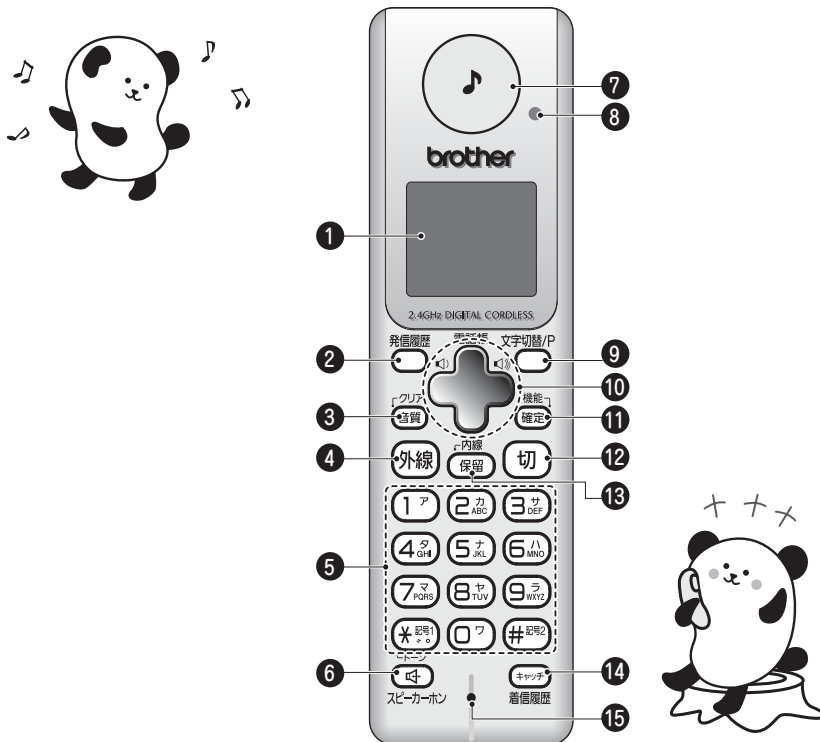
: 半角カタカナが入力できます。

着信音量を OFF に設定しているときに表示
 されます。

通話中、電波の届かない場所にいるときは
 の代わりに「圏外」が表示されます。

通話中の電波の状態が表示されます。 の数
 が多いほど、電波状態が良好です。

操作パネル



ボタン	名称/機能	ボタン	名称/機能
①	ディスプレイ 操作手順や本機の状態、メッセージなどが表示されます。(※20ページ)	⑨	文字切替/P 文字切替/Pボタン 文字入力の種類を変えるとき、またはダイヤル番号入力時にポーズを入れるとき(※38、108ページ)に押します。
②	発信履歴 発信履歴ボタン 最近かけた相手にもう一度ダイヤルするときに押します。	⑩	マルチセレクトボタン ディスプレイの項目を選択します。
③	クリア/音質 クリア/音質ボタン 文字を消すとき(※108ページ)、通話中に相手の声をお好みの音質に調整するとき(※31ページ)などに押します。	⑪	機能/確定 機能/確定ボタン 各機能を設定するとき、設定内容を確定するとき、またはメッセージを流して通話を拒否するとき(※30ページ)に押します。
④	外線 外線ボタン 電話をかけるとき、受けるときに押します。(※28ページ)	⑫	切 切ボタン 電話を切るとき、または操作を途中で中止するときに押します。
⑤	ダイヤルボタン ダイヤルするときや文字を入力するときに押します。	⑬	内線/保留 内線/保留ボタン 内線で通話するとき、または保留にして相手にメロディを流すとき(※30ページ)に押します。
	記号1/トーンボタン 記号を入力するとき(※109ページ)、または一時的にプッシュホンサービス(トーン信号によるサービス)を利用するとき(※28ページ)に押します。	⑭	キャッチ/着信履歴 キャッチ/着信履歴ボタン キャッチホンを使うとき、着信履歴を表示するときに押します。
	記号2ボタン 記号を入力するときに押します。(※109ページ)	⑮	マイクと送話口 マイクと送話口 子機を持って通話するとき、スピーカーホンで通話するときに使用します。(※28ページ)
⑥	スピーカーホン スピーカーホンボタン 子機を持たずに通話するときに押します。(※28ページ)		
⑦	受話口 相手の声が聞こえます。		
⑧	充電表示ランプ 充電中に点灯します。充電が完了すると消灯します。		

第1章
準備する第2章
ご使用の前に第3章
電話第4章
ファックス第5章
コピー第6章
留守番機能第7章
ナビディスプレイ第8章
知らせるセンサー第9章
活用する第10章
こんなときには第11章
付録

初期設定をする



を選択するときは
下部の選択ボタンを
押してください。

送信したファクスに印刷される自分の名前と番号を登録する（発信元登録）

発信元となるファクス番号や名前を登録します。ファクスを送信したときに登録したファクス番号と名前が相手の記録紙の先頭に印刷されます。ファクス番号は必ず登録してください。

09-03-21-19:20 052XXXXXXX ブラザー太郎 ページ01

〇〇〇のお知らせ

拝啓

平素は格別のお引立てをいただき、厚くお礼申し上げます。

さて、先日ご依頼のありました〇〇のカタログを送付いたします。何とぞ詳細にご検討くださいますようお願い申し上げます。

1 機能を押す



2 で「1. 初期設定」を選び 確定を押す



3 で「3. 発信元登録」を選び 確定を押す



4 ファクス番号を入力する

- ・機能キー(1)と(3)を続けて押しても下記の画面が表示されます。
- ・ファクス番号は20桁まで登録できます。
- ・「-」（ハイフン）は入力できません。
- ・入力を間違えたときは(△)で数字を選択し、(文字消去)を押します。
- ・項目を移動するときは(方向キー)を押します。

発信元登録

FAX : 052XXXXXXX

名前 :

ダイヤルボタンで入力してください

戻る 文字消去 確定

メモ

- 電話とファクスが同一回線（1 番号）で使用している場合、ファクス番号と電話番号は同じ番号になりますので、電話番号を入力してください。
- 入力を間違えたときは、(△)で間違えた箇所まで(カーソル)を移動し、(文字消去)を押します。

5 (方向キー)で名前の入力枠に移動し (入力)を押す

- ・「文字の入れかた（親機）」(P.106ページ)
- ・(入力)を押すとディスプレイの中央に名前の入力枠が表示されます。
- ・名前は、全角で16文字、半角で32文字まで登録できます。
- ・名前を入力したら(確定)を押します。

ブラザー太郎

かな 文字消去 確定

6 確定を押す

「受けつけました」と表示されます。

7 停止を押す

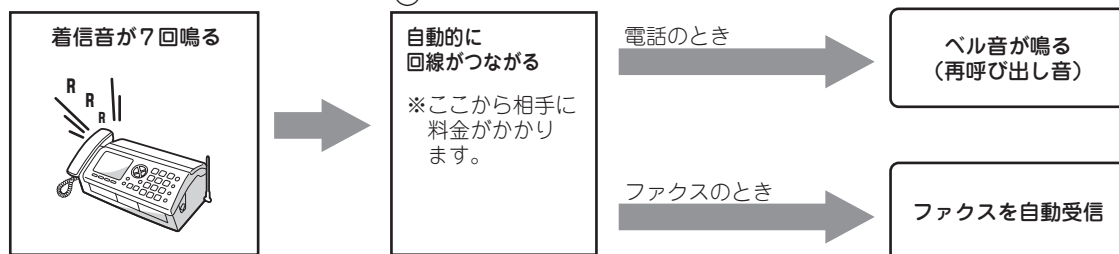


電話やファクスの受けかた

電話やファクスを受信するときのモードは、大きく「在宅モード」と「留守モード」の2つに分けることができます。どちらのモードも着信してから本機が応答するまでに鳴る着信音（ベル音）の回数を変えることができます。いろいろな用途に合わせて設定してください。「呼出回数の設定」（※25ページ）

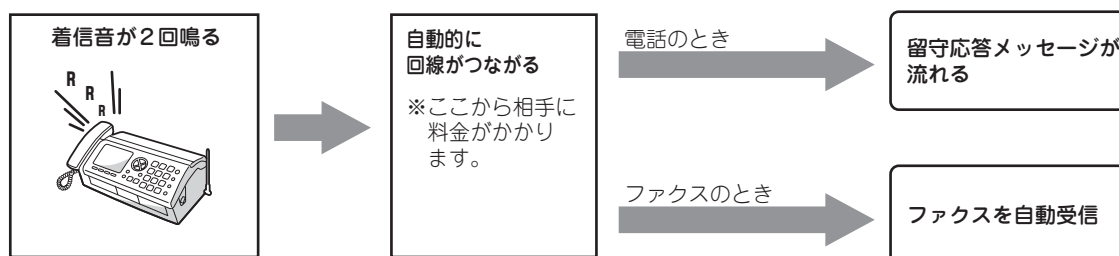
お買い上げ時は、次のように設定されています。

■ 家にいるとき（在宅モード：が消灯しているとき）



- ・お買い上げ時の呼出回数は7回に設定されています。（推奨設定値：4～7回）
- ・ファクスが自動受信できないときには、呼出回数を6回以下に設定してください。
- ・「呼出回数の設定」（※25ページ）

■ 留守にするとき（留守モード：が点灯しているとき）「留守番機能を利用する」（※49ページ）



メモ

- 着信音をメロディまたはボイスに設定していても
回線が再呼び出しに切り替わるとベル音（再呼び出し音）が鳴ります。
- 「再呼び出し設定」を「相手にメッセージ」に設定しているときは
自動的に回線がつながると相手には
「この電話は、電話とファクスに接続されています。電話のかたは呼び出しておりますので、そのまましばらくお待ちください。ファクスのかたは発信音のあとに送信してください。」というメッセージが流れます。
そのあと電話に出ないと相手には
「ただいま近くにおりません。後ほどおかけ直してください。」というメッセージを流して回線が切れます。「再呼び出し設定」（※25ページ）



電話やファクスの受けかた

電話・ファクスの受けかたを変更する

電話・ファクスの受けかたを変更したい場合は、変更したい内容にあわせて、以下の手順で設定してください。
「呼出回数設定」(P.25ページ)、「再呼び出し設定」(P.25ページ)

■ 着信音を鳴らさずにファクスを受けたい場合（無鳴動受信）

着信音の呼び出し回数を0回にします。「呼出回数設定」(P.25ページ)



自動的に
回線がつながる
※ここから相手に
料金がかかります。

電話のとき

ファクスのとき

ベル音が鳴る
(再呼び出し音)

ファクスを自動受信

【推奨設定値】

呼出回数 0回

再呼び出し設定 ON

・ファクス受信後の「ピー」という音を小さくしたい場合は、「ボタン確認音量」を「切」に設定してください。
(P.76ページ)

・着信音はメロディまたはボイスに設定しているときでも、回線が再呼び出しに切り替わるとベル音が鳴ります。

■ ファクス専用として使う場合

再呼び出し設定を「OFF（ファクス専用）」にします。「再呼び出し設定」(P.25ページ)



自動的に
回線がつながる
※ここから相手に
料金がかかります。

電話のとき

ファクスのとき

電話に出られません

ファクスを自動受信

【推奨設定値】

呼出回数 1～8回

再呼び出し設定 OFF（ファクス専用）

■ ファクスを自動受信しない場合（受話器を上げてファクスを受信する）

着信音の呼び出し回数を「無制限」にします。「呼出回数設定」(P.25ページ)



受話器を
とる



回線がつながる
※ここから相手に
料金がかかります。

電話の
とき

ファクスの
とき

通話

スタート/コピーを押して受信

メモ

留守モードが設定されているときは、ファクスを自動受信します。



を選択するときは、
下部の選択ボタンを
押してください。

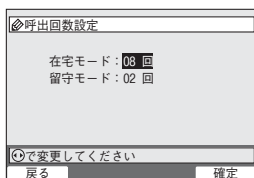
呼出回数の設定

着信してから本機が応答するまでに鳴る呼出回数を設定します。

お買い上げ時は「在宅モード」7回、「留守モード」2回に設定されています。

●呼出回数を0回に設定すると、ファクスのときは自動受信し、電話のときだけ着信音を鳴らすことができます。(無鳴動受信) 回線状況が悪い場合、ファクスのときでも数回着信音が鳴ることがあります。

1 機能 [F] 1 を押す



2 [F] で在宅モードの呼出回数を選び [F] を押す

00~15/無制限

3 [F] で留守モードの呼出回数を選び [F] を押す

00~07/トールセーバー

「受けつけました」と表示されます。

4 停止 [F] を押す

設定を終了します。

メモ

トールセーバー機能

「呼出回数の設定」の「留守モード」で「トールセーバー」を設定すると、外出先から留守番電話のメッセージが入っているかどうかを確認できます。外出先から自宅に電話をかけて、留守番メッセージが再生されるまでの呼出回数を確認します。

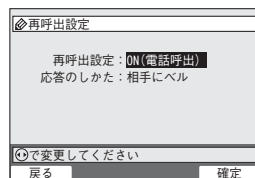
メッセージがあるとき………呼出2回
メッセージがないとき………呼出5回

着信音が3回鳴った時点で、メッセージが記憶されていないことがわかります。3回鳴った時点で電話を切れば通話料はかかりません。2回鳴って電話がつながったときは、「リモコンアクセス」(P.53ページ)によって音声メッセージを確認するなど、本機を操作することができます。

再呼び出し設定

在宅モード時の受信のしかたや対応のしかたを選択します。お買い上げ時は「ON(電話呼出)/相手にベル」に設定されています。

1 機能 [F] [F] を押す



2 [F] で在宅モードのときの受信のしかたを選ぶ

ON(電話呼出)/OFF(ファクス専用)

手順2で「ON(電話呼出)」を選んだとき

3 [F] を押す

4 [F] で在宅時の応答のしかたを選び [F] を押す

相手にベル/相手にメッセージ

・「相手にベル」

本機が電話を受けたとき、相手に「トゥルー、トゥルー」という呼出音が聞こえるように設定します。

・「相手にメッセージ」

本機が電話を受けたとき、相手に設定した在宅応答メッセージを流します。

お買い上げ時は「この電話は電話とファクスに接続されています。電話のかたは呼び出しておりますので、そのまましばらくお待ちください。ファクスのかたは発信音のあとに送信してください。」というメッセージが流れます。

メモ

「相手にベル」のときは約30秒間、「相手にメッセージ」のときは約50秒間呼び出します。電話に出ないと相手には「ただいま近くにおりません。後ほどおかけ直してください。」というメッセージを流して回線が切れます。

- ・応答メッセージの内容は変更することができます。「応答メッセージの設定」(P.51ページ)
- ・「受けつけました」と表示されます。

5 停止 [F] を押す

設定を終了します。

手順2で「OFF(ファクス専用)」を選んだとき

3 [F] を押す

「受けつけました」と表示されます。

4 停止 [F] を押す

設定を終了します。

第1章
準備する

第2章
ご使用の前に

第3章
電話

第4章
ファクス

第5章
コピー

第6章
留守番機能

第7章
ナビゲーション

第8章
知るべきセンサー

第9章
活用する

第10章
こんなときには

第11章
付録

ケータイ通話お得サービスを利用する

ケータイ通話お得サービスとは

固定電話から携帯電話に電話をかけるときに、携帯電話番号の前に事業者識別番号（☎27ページ）をダイヤルすると、固定電話の電話会社が設定した料金でご利用できるサービスです。

「ケータイ通話お得サービス」を「する」に設定をすると、本機から携帯電話に電話をかけるときに、携帯電話番号の前に事業者識別番号を自動的につけてダイヤルすることができます。「ケータイ通話お得サービスを設定する」（☎27ページ）お買い上げ時の事業者識別番号は、[0033]（NTTコミュニケーションズ）に設定されています。

＜例＞ 090-XXXX-XXXXをかける
0033-090-XXXX-XXXXとダイヤルします。
（事業者識別番号）（携帯電話番号）

固定電話から携帯電話番号をダイヤルします。



事業者識別番号「0033」は自動的につけられます。

携帯電話に固定電話番号が表示されます。



注意

- すべてのひかり電話サービス、直収電話サービス、ケーブルTV局が提供する電話サービスをご利用のお客様、またはNTT東日本・NTT西日本の一般電話を契約しないでインターネットサービスプロバイダの提供する電話サービスをご利用のお客様は、この機能をご利用になれません。「しない」に設定してください。
- ※直収電話サービスとは、NTT東日本・NTT西日本の電話回線を介さずに、直接お客様のご自宅と各サービス事業者を結ぶ電話サービスです。（例 ソフトバンクテレコムのおとくライン、KDDIのメタルプラスなど）
- 事業者識別番号は変更することができます。「事業者識別番号を変更する」（☎27ページ）
- ケータイ通話お得サービスは、登録した各事業者によりサービス提供エリアが異なります。サービス提供エリアについては、各事業者にお問い合わせください。
- ケータイ通話お得サービスを利用するときは、携帯電話番号の前に事業者識別番号やIP電話解除番号※をダイヤルしないでください。電話をかけることができなくなったり、通話料が異なる場合があります。
- ※IP電話サービスを利用時、一時的にIP電話を利用しないための番号です。
- ケータイ通話お得サービスを「する」に設定していても、一時的にケータイ通話お得サービスを利用せず、電話をかけることができます。この場合は、通話状態にして  を押した後、通常の電話番号をダイヤルしてください。
- 直収電話サービスについては、各サービス事業者へお問い合わせください。
- 構内交換機（PBX）、ビジネスホン、ホームテレホンに接続している場合は、設定を「しない」にしてください。（ケータイ通話お得サービスを利用できません）
- 電話をかけても、しばらく「ツー」という音だけが聞こえる場合がありますが、故障ではありません。
- 事業者識別番号を自動的につけて電話をかけた場合、電話がつながるまで時間がかかることがあります。故障ではありません。
- 国内の携帯電話会社への通話が対象です。対象となる携帯電話番号は、「090」「080」から始まる番号のみです。PHSへの通話は利用できません。
- マイラインおよびマイラインプラスの登録に関係なく利用できます。
- 通話先、通話時間や発信事業者の料金体系により、料金は安くならない場合があります。サービスについては、各事業者へお問い合わせください。

NTTコミュニケーションズの0033モバイルサービスのご案内

- お申し込み手続きは不要です。定額料もかかりません。
- 携帯電話会社の留守番電話サービスの遠隔操作、フリーアクセス（「0800」で始まる番号）など一部サービスを利用できない場合があります。電話を通話状態にしてから電話をかけてください。
- 携帯電話への通話料金はNTTコミュニケーションズご利用分として請求されます。
- NTTコミュニケーションズが提供する「固定電話から携帯電話への通話サービス（0033モバイル）」詳細については、NTTコミュニケーションズのカスタマーズフロントにお問い合わせください。

NTTコミュニケーションズ カスタマーズフロント

コールコール
☎ 0120-506506

受付時間：午前9:00～午後9:00（年末年始除く）

本機の機能・設定については、弊社のお客様相談窓口（コールセンター）：☎ 0120-161-170にお問い合わせください。



☐を選択するときは、
下部の選択ボタンを
押してください。

注意

すべてのひかり電話サービス、直収電話サービス、ケーブルTV局が提供する電話サービスをご利用のお客様、またはNTT東日本・NTT西日本の一般電話を契約しないでインターネットサービスプロバイダの提供する電話サービスをご利用のお客様は、この機能をご利用になれません。「しない」に設定してください。

※直収電話サービスとは、NTT東日本・NTT西日本の電話回線を介さずに、直接お客様のご自宅と各サービス事業者を結ぶ電話サービスです。(例 ソフトバンクテレコムのおとくライン、KDDIのメタルプラス など)

ケータイ通話お得サービスを設定する

お買い上げ時は、事業者識別番号「0033」に設定されています。

1 機能 ☐ ☐ ☐ を押す

2 機能 ☐ ☐ ☐ で「する」または、「しない」を選び 確定 を押す

- ・「する」
ケータイ通話お得サービスが利用できます。
- ・「しない」
ケータイ通話お得サービスが利用できなくなります。
ひかり電話サービスや直収電話サービスをご利用の場合も「しない」を選びます。
手順7に進んでください。

3 機能 ☐ ☐ ☐ で電話回線を選び 確定 を押す

一般回線 / IP電話 / ひかり電話 / その他 / わからない

- ・「一般回線」(一般回線をご利用の場合)
設定が完了します。
- ・「IP電話」(IP電話サービスをご利用の場合)
IP電話解除番号を設定します。
- ・「ひかり電話/その他」または、「わからない」
ケータイ通話お得サービスは、ご利用になれません。

手順3で「IP電話」を選んだとき

4 次へ を押す

5 IP電話解除番号を入力して 確定 を押す

ダイヤルボタン(☐)～(☐)を使って入力します。

[IP電話解除番号の例] (2008年9月現在)

事業者名	サービス名	IP電話解除番号
Yahoo!BB (ソフトバンクBB)	Yahoo!※1 BBフォン	0000p※2
OCN (NTT コミュニケーションズ)	OCN※1 ドットフォン	0000
KDDI (DION)	KDDI-IP電話※1	0009※3

その他のIP電話サービスをご利用のお客様は、ご利用中のIP電話事業者にIP電話解除番号とポーズ入力「p」(☐)で入力が必要お問い合わせください。IP電話解除番号は予告なく変更されることがあります。あらかじめご了承ください。

※1 Yahoo!BB光、OCN光サービス、KDDIメタルプラスはご利用になれません。

※2 Yahoo!BBをご利用の場合は「0000」のあとにポーズ「p」(☐)で入力してください。

※3 「IP電話対応機器 (NTT東日本・NTT西日本提供)」をご利用の場合は「0000」を入力してください。

メモ

- IP電話解除番号を空白にしたまま設定するとケータイ通話お得サービスが利用できなくなります。
- IP電話解除番号は、携帯電話に発信するときだけ IP電話を使わずに NTT などの一般回線で発信するための番号です。

6 はい を押す

IP電話解除番号を修正するときはいはいを押して入力し直してください。

7 停止 を押す

手順3で「一般回線」「ひかり電話/その他」「わからない」を選んだとき

4 停止 を押す

メモ

- 携帯電話以外への通常の発信は、IP電話サービスを利用します。
- ケータイ通話お得サービスは、次の場合も利用できます。
 - ・「184」「186」などの番号を付けたとき(「184」をつけるなど非通知で電話をかけると携帯電話に電話番号は表示されません。)
 - ・再ダイヤル(※29 ページ)、発信履歴(※29 ページ)からかけ直すとき
(事業者識別番号はディスプレイに表示されません)
 - ・電話帳からかけるとき
 - ・着信履歴からかけ直すとき(ナンバー・ディスプレイ利用時)
- 「する」に設定しているときは、ディスプレイに が表示されます。
- 「する」に設定していても、その通話に限り、ケータイ通話お得サービスを利用しない場合は 押ししてからダイヤルしてください(親機のみ)。

事業者識別番号を変更する

「0033」(NTTコミュニケーションズ)以外のサービスをご利用のとき事業者識別番号を変更します。
お買い上げ時は、事業者識別番号「0033」に設定されています。

1 機能 ☐ ☐ ☐ を押す

2 事業者識別番号を入力して 確定 を押す

ダイヤルボタン(☐)～(☐)を使って入力します。

[事業者識別番号の例] (2008年9月現在)

事業者	識別番号
NTTコミュニケーションズ	0033
NTT東日本	0036
NTT西日本	0039

事業者識別番号、サービス内容および通話料などにつきましては、ご利用になる固定電話の各事業者にお問い合わせください。

3 停止 を押す

準備する
第1章

ご使用の前に
第2章

電話
第3章

ファックス
第4章

コピー
第5章

留守番機能
第6章

ナビディスプレイ
第7章

知らせるセンサー
第8章

活用する
第9章

こんなときには
第10章

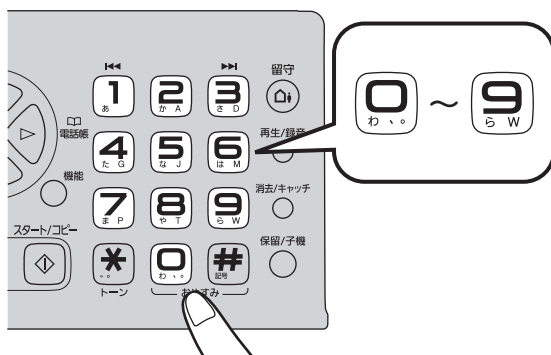
付録
第11章

電話をかける／受ける

電話をかける

親機

1 受話器をとってダイヤルする

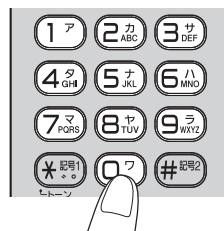


2 通話が終わったら受話器を戻す



子機

1 充電器から子機をとってダイヤルする



注意

充電器から子機をとり、操作をせずに 30 秒経過すると外線ボタンが点滅して警告音が鳴り、さらに 30 秒経過すると回線が自動的に切れます。このときは、外線ボタンを押してからダイヤルボタンを押してください。

2 通話が終わったら子機を充電器に戻す 充電器に戻さないときは(切)を押します。

メモ

子機は充電器に正しく置いてください。正しく置いたとき、子機の充電表示ランプが点灯します。

メモ

● 子機を置いたまま電話をかけるには（スピーカーホン通話）

(子機) を押し、ダイヤルする。

相手がいたらマイクに向かって通話する。通話が終わったら (切) (子機) を押す。

● トーン（プッシュ）信号によるサービスを利用するときは

サービス先にダイヤルしたあと、ダイヤル回線のときのみ (※) (親機) または (※) (子機) を押す。

（プッシュ回線では (※) (親機) または (※) (子機) を押す必要はありません。）

電話を受ける

親機

1 受話器をとって通話する

2 通話が終わったら受話器を戻す

子機

1 充電器から子機をとって通話する

充電器に置いていないときは(外線)を押します。

2 通話が終わったら子機を充電器に戻す 充電器に戻さないときは(切)を押します。

メモ

● 子機を置いたまま電話を受けるには（スピーカーホン通話）

(子機) を押し、マイクに向かって通話する。

通話が終わったら (切) (子機) を押す。

● 着信音は

電波を使用しているため、親機または子機の着信音が少し遅れて鳴ることがあります。

いろいろな電話のかけかた

名前で検索してかける

電話帳に登録した相手を検索してかけます。(登録は 37 ページ)

親機

受話器をとって ▶ 押す ▶ ▶ スタート/コピー ▶ 押す

で相手を選ぶ

● 名前の左に▲または▼が表示されているときはその方向に表示されていない名前があることを示しています。

メモ

子機

充電器から子機をとって ▶ 押す ▶ ▶ **外線** 押す

で相手を選ぶ

メモ

● 名前で検索するときは

〈親機〉 押す ▶ 読み仮名に対応した (ダイヤルボタン) 押す ▶ で相手を選ぶ

〈子機〉 押す ▶ 頭文字に対応した (ダイヤルボタン) 押す ▶ で相手を選ぶ

● 文字の入力のしかたは

「文字の入れかた(親機)」(106ページ)

「文字の入れかた(子機)」(108ページ)

● 名前の読み仮名(親機)または頭文字(子機)を入力しないときは

「カナ(五十音順)→アルファベット→数字→記号」の順に表示されます。



最近かけた相手にかける

発信履歴からかけます。(発信履歴は 64 ページ)

親機

押す ▶ で相手を選ぶ ▶ 受話器をとって ▶ スタート/コピー ▶ 押す

子機

充電器から子機をとって ▶ **切** 押す ▶ **外線** の消灯を確認 ▶ 押す ▶ で相手を選ぶ ▶ **外線** 押す

最近かかってきた相手にかける

ナンバー・ディスプレイの着信履歴からかけます。(着信履歴は 63 ページ)

親機

着信履歴 押す ▶ で相手を選ぶ ▶ 受話器をとって ▶ スタート/コピー ▶ 押す

子機

充電器から子機をとって ▶ **切** 押す ▶ **外線** の消灯を確認 ▶ 押す ▶ で相手を選ぶ ▶ **外線** 押す

メモ

回線状態によってナンバー・ディスプレイ情報を正しく受信できなかった場合は、「——」と表示され、着信履歴からかけることはできません。

最後にかけた相手にかける

再ダイヤル機能で最後にかけた相手にかかけます。

親機

受話器をとって ▶ 押す

子機

充電器から子機をとって ▶ 押す

第1章
準備する

第2章
ご使用の前に

第3章
電話

第4章
ファックス

第5章
コピー

第6章
留守番機能

第7章
ナビディスプレイ

第8章
知らせるセンサー

第9章
活用する

第10章
こんなときには

第11章
付録

通話のときは



を選択するときは
下部の選択ボタンを
押してください。

いろいろな通話のしかた

保留にする		通話中に保留にします。(保留メロディの設定は 74 ページ)
親機	通話中 ▶ 押す ▶ 通話に戻るには	・保留後に受話器を戻したとき ▶ 受話器をとる ・保留後に受話器を戻さなかったとき ▶ 押す
子機	通話中 ▶ 押す ▶ 通話に戻るには ▶ または 押す	メモ 保留メロディは待たせている相手にだけ聞こえます。
受話器をとらずに通話する		通話中に受話器とスピーカーホンの通話を切り替えます。(スピーカーホン通話)
子機	通話中 ▶ 押す ▶ スピーカーホンの通話をやめるには ▶ 押す	メモ スピーカーホン通話で自分の声が反響するときは、「通話音質調整」(102ページ)の設定を変更してみてください。
通話を拒否する (おことわりメッセージ)		着信中にメッセージを流して自動的に回線を切ります。 通話中にメッセージを流して通話をお断りするきっかけにします。
親機	着信中 ▶ 押す ▶ 押す ▶ メッセージ：「恐れ入りますが、この電話はおつなぎできません。」と流れ自動的に回線が切れる 通話中 ▶ 押す ▶ 押す ▶ メッセージ：「恐れ入りますが、この電話を切らせていただきます。」▶ 受話器を戻すと流れ自動的に回線が切れる メモ ● 以下のときは を受け付けません 在宅モードの再呼び出し中、保留中、子機と取り次ぎ通話中、三者通話中、オンフック中 ● ナンバー・ディスプレイをご契約いただいているときはメッセージ終了後、ディスプレイに「迷惑指定登録」が表示され を押すと、迷惑電話として登録することができます。電話番号のみ登録され、名前は登録されません。(59ページ) ● 以下のとき迷惑電話に登録できません ナンバー・ディスプレイのご契約をしていない、電話帳が100件のとき、子機でおことわりしたとき、通話中にキャッチホンがあったとき ● 迷惑電話を登録する画面で着信があったとき着信が優先され、迷惑電話の登録はされません。	
子機	通話中 ▶ 押す (長押し) ▶ メッセージ：「恐れ入りますが、この電話を切らせていただきます。」▶ 数秒後、自動的に待機状態に戻ると流れる	メモ ● 着信中はおことわりできません。 ● 親機が通話中のときは、おことわりできません。
通話を録音する		通話中に通話の内容を録音します。(録音時間の設定は 52 ページ)
親機	通話中 ▶ 押す ▶ 録音をやめるには ▶ 押す	メモ ● 設定した録音時間が過ぎたときは録音は自動的に終了します。 ● 留守録メモリーがいっぱいのときは通話の内容は留守録メモリーに記憶されるため、録音できません。 ● 三者通話で通話しているときは録音できません。 ● 録音した内容を聞くときは受話器を戻して を押します。 ● 録音した内容を消去するときは「音声メッセージを確認する」(50ページ)



□を選択するときは、
下部の選択ボタンを
押してください。

キャッチホンを利用する

キャッチホンで通話中に別の電話やファクスを受けます。

親機	通話中に「ブップ」と聞こえたら 消去/キャッチ 押す ・声が聞こえたら電話です。 ▶ 新しい相手と通話する ▶ 元の相手に戻るには ▶ 押す ・「ポーポー」と聞こえたらファクスです。 ▶ 押す ▶ 元の相手に戻り通話が終わったら ▶ 押す ▶ 押す ▶ ファクスを受信
子機	通話中に「ブップ」と聞こえたら 押す ・声が聞こえたら電話です。 ▶ 新しい相手と通話する ▶ 元の相手に戻るには ▶ 押す ・「ポーポー」と聞こえたらファクスです。 ▶ 押す ▶ 元の相手に戻り通話が終わったら ▶ 押す ▶ 押す ▶ 「受信しますか?」と表示されたら ▶ 押す ▶ ファクスを受信 (親機)

注意

- 「キャッチホン／キャッチホンⅡ」をご利用いただくためには、ご利用の電話会社（NTTなど）とのお契約（有料）が必要です。
- ISDN回線を利用しているときはターミナルアダプタの設定が必要です。
- ブランチ接続（並列接続）しているときはキャッチホンは正常に動作しません。
- 電話回線にガス検出器などが接続されているときは誤動作することがあります。
- ファクスを受信したときはファクス受信後に電話が切れるので、元の相手の通話に戻ることはできません。
- 親切受信を「する」に設定したときは「ポーポー」と聞こえたあと、ファクスを自動受信することがあります。自動受信したくないときは親切受信の設定を「しない」にしてください。(P.45ページ)
- ファクスの送信中や受信中にキャッチホンを受けたときは画像が乱れたり通信が中断することがあります。そのときは「キャッチホンⅡ」のご利用をおすすめします。

メモ

- 待たせている相手には保留メロディが流れます。
- ファクスを受けるときは元の相手との通話は手短かに終わってください。通話が長いとファクスが受信できなくなることがあります。
- 通話相手を変えるときは「キャッチ」ボタンを押すごとに変わります。
- キャッチホンを無視したときは相手が電話を切ったあともしばらくキャッチホンの着信音が鳴り続けることがあります。

受話音質を設定する

通話中、相手の声をお好みの音質に調整できます。

子機	通話中 ▶ 押す ▶ で調整する（押すたびに段階が変更されます） メモ ● お買い上げ時は「3段階目」に設定されています。（通話終了後、音質の設定は「3段階目」に戻ります） ● 2秒間操作しないときは通話中の画面に戻ります。
----	--

内緒話モードの設定をする

通話中、小さい声で話しても、相手の小さい声も通常の音量で聞くことができます。

子機	通話中 ▶ 押す（長押し） メモ ● お買い上げ時は「OFF」に設定されています。（通話終了後、内緒話モードの設定は「OFF」に戻ります） ● 設定を「OFF」にするときは再度、 を長く押します。 ● スピーカーホンで通話中のときは内緒話モードの設定はできません。
----	--

準備する
第1章

ご使用する前に
第2章

電話
第3章

ファクス
第4章

コピー
第5章

留守番機能
第6章

ナビゲーション
第7章

知らせるセンサー
第8章

活用する
第9章

こんなときには
第10章

付録
第11章

通話のときは

電話を取り次ぐ

用件を伝えてから電話を取り次ぐ

■ 親機から子機へ

親機でとった電話を子機に取り次ぎます。

1 電話中に^{保留/子機}を押す
保留になり、相手にこちらの声が聞こえなくなります。

2 取り次ぐ子機の内線番号を押す
子機が1台のときは¹を押します。



呼び出している子機が出ないときは、^{保留/子機}を押して相手に不在を伝えます。

3 子機を充電器からとる(充電器に置いていないときは^{内線}または^{外線}を押す)
子機に電話を伝えます。



子機の^切を押すと取り次ぎをしないで親機に通話が戻ります。

4 子機に電話を伝えたら受話器を戻す
子機に保留中の相手がつながります。



■ 子機から親機へ

子機でとった電話を親機に取り次ぎます。

1 電話中に^{内線}を押す
保留になり、相手にこちらの声が聞こえなくなります。

2 ^{機能}で「お中」を選び^{機能}を押す
呼び出している親機が出ないときは、^{子機}を押して相手に不在を伝えます。

3 親機の受話器をとる
親機に電話を伝えます。



親機の受話器を戻すと取り次ぎをしないで子機に通話が戻ります。

4 親機に電話を伝えたら^切を押す
親機に保留中の相手がつながります。



メモ

親機と子機の内線番号について

親機と子機の内線番号は次のように設定されます。
増設できる子機は、親機に付属の子機を含めて4台です。

機種 \ 内線番号		¹	²	³	⁴
FAX-380DL	親機	子機1	増設子機1	増設子機2	増設子機3
FAX-380DW	親機	子機1	子機2	増設子機1	増設子機2

■ 子機1から子機2へ

FAX-380DWをお使いの場合や子機を増設している場合は、子機でとった電話を別の子機に取り次ぐことができます。「子機と子機で話す」(P.35ページ)

ここでは子機1で受けた電話を子機2へ取り次ぐ場合を例として説明します。

- 1 電話中に^{内線}保留を押す
保留になり、こちらの声が相手に聞こえなくなります。
- 2 で「**32**」を選び^{機能}確定を押す
呼び出している子機2が出ないときは、^{内線}保留を押して相手に不在を伝えます。

メモ

子機1から子機2を呼び出し中に、子機1の^切を押すまたは、充電器に戻すと子機2を30秒呼び続けます。子機2が出ないと子機1を呼び出し、さらに30秒経過すると自動的に電話が切れます。

- 3 子機2の^{内線}保留または^{外線}を押す
- 4 子機2に電話を伝える



子機2の^切を押すと取り次ぎをしないで子機1に通話が戻ります。

- 5 取り次ぎ内容を伝えたら^切を押す
子機2に保留中の相手がつながります。

用件を伝えずに電話を取り次ぐ

電話をかんたんに取り次ぐことができます。

■ 親機から子機へ

- 1 電話中に^{保留/子機}を押す
保留になり、こちらの声が相手に聞こえなくなります。
- 2 親機の受話器を戻す
- 3 子機を充電器からとる
(充電器に置いていないときは^{外線}を押す)
子機に保留中の相手がつながります。

■ 子機から親機へ

- 1 電話中に^{内線}保留を押す
保留になり、こちらの声が相手に聞こえなくなります。
- 2 子機を充電器に戻す
- 3 親機の受話器をとり、^{保留/子機}を押す
親機に保留中の相手がつながります。



第1章
準備する

第2章
ご使用の前に

第3章
電話

第4章
ファックス

第5章
コピー

第6章
留守番機能

第7章
ナビゲーション

第8章
知らせるセンサー

第9章
活用する

第10章
こんなときには

第11章
付録

内線で話す

親機と子機で話す

親機から子機または子機から親機へ内線電話をかけて通話します。

■ 親機から子機へ

- 1 受話器をとる
 - 2 保留/子機
○を押す
 - 3 通話する子機の内線番号を押す
 - 4 子機を充電器からとる(充電器に置いていないときは「内線 保留」または「外線」を押す)
 - 5 通話する
-
- 6 通話をやめるときは受話器を戻す
-

■ 子機から親機へ

- 1 子機を充電器からとって「切」を押してから「保留 保留」を押す
 - 2 で「机」を選び「機能 機能」を押す
 - 3 親機の受話器をとる
 - 4 通話する
-
- 5 通話をやめるときは「切」を押す

メモ

内線通話中に外線がかかってきたとき

- 内線通話中に外線がかかってきたときは親機のベル音が鳴ります。(メロディまたはボイスに設定しているときや呼出回数を0回に設定しているときでもベル音が鳴ります。)
- 次のときは内線電話中に外から電話がかかってきても着信音が鳴りません。
 - ・ ナンバー・ディスプレイの設定を「あり」にしているとき。

親機と子機の内線番号について

親機と子機の内線番号については、32ページを参照してください。

お願い

親機が内線通話をしているとき、親機と子機を近づけないでください。近づけすぎるとハウリング(「キーン」という音がする)が発生することがあります。

子機と子機で話す

子機を2台以上使用しているとき、子機同士で通話することができます。
(外線通話中でも、通話を保留にして子機間通話することができます。33ページの「電話を取り次ぐ」の「子機1から子機2へ」を参照してください。)

■ 子機 1 (電話をかける側)

- 1 子機を充電器からとって (切) を押してから (内線 保留) を押す
- 2  で「机2」を選び (機能 確定) を押す
- 3 子機2が出たら話す
- 4 子機2との通話をやめるときは (切) を押す

■ 子機 2 (電話を受ける側)



子機2の内線着信音が鳴る

子機2を充電器からとります。(充電器から外しているときは、(内線 保留) または (外線) を押します。)



子機1と話す



メモ

- 内線通話をしているときは、子機のスピーカーホンを使用できます。
- 電波状態がよいときは、接続できないことがあります。このときは子機間通話をやり直してください。

準備する
第1章

ご使用する前に
第2章

電
第3章
話

ファックス
第4章

コ
ピ
ー
第5章

留守番機能
第6章

ナンバーディスプレイ
第7章

知らずのセンサー
第8章

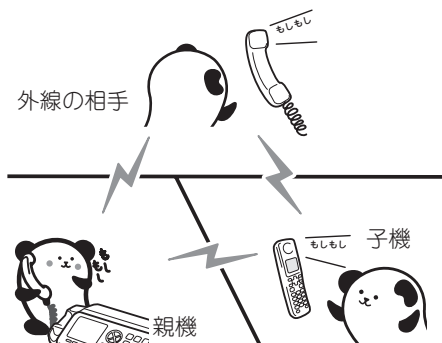
活用する
第9章

こんなときには
第10章

付
録
第11章

3人で同時に話す（三者通話）

三者通話は、親機と子機と外線の手、または子機同士と外線の手3人で同時に話すことができます。



■ 親機から子機を呼び出して三者通話をする

- 1 親機で外線通話中に **保留/子機** を押す
- 2 呼び出しする子機の内線番号を押す
- 3 子機が出たら3人で話すことを伝える
- 4 親機の **保留/子機** を押す
三者通話が始まります。

■ 子機から親機を呼び出して三者通話をする

- 1 子機で外線通話中に **内線保留** を押す
- 2 **+** で「**おかけ直し**」を選び **機能決定** を押す
- 3 親機が出たら3人で話すことを伝える
- 4 子機の **内線保留** を押す
三者通話が始まります。

■ 子機1から子機2を呼び出して三者通話をする

- 1 子機1で外線通話中に **内線保留** を押す
- 2 **+** で「**おかけ直し**」を選び **機能決定** を押す
- 3 子機2が出たら3人で話すことを伝える
- 4 子機1の **内線保留** を押す
三者通話が始まります。

注意

- 三者通話は、外線の手2人と本機の三者ではありません。
- 三者通話から二者通話にするときは、三者通話中の親機の受話器を戻す、または子機の **切** を押してください。
- 三者通話中に親機または別の子機に電話を取り次ぐときは、三者通話中の親機の受話器を戻す、または子機の **切** を押し、二者通話にしてから電話を取り次いでください。（※32 ページ）
- 子機を置いたまま（※30 ページ）で三者通話をすることができます。スピーカーホンで通話したときや親機と子機、子機と子機の距離が近いときは声が反響して聞き取りにくいことがあります。「通話音質調整」（※102 ページ）の設定を変更してみてください。
- 外線の手と話をしている親機または子機に、他の子機（または親機）が三者通話に割り込むことはできません。
- 三者通話に加わっていない親機には「子機通話中です」、子機には「おかけ直し」と表示されます。このとき、電話帳登録や機能設定は操作できない場合があります。ディスプレイが待ち受け画面に戻ってから、操作してください。
- 三者通話中にキャッチホン（※31 ページ）の割込音が聞こえたときは、**通話キャッチ**（親機）または **通話キャッチ**（子機）を押すと、三者通話のまま通話中にかかってきた外線の手と話をすることができます。
- キャッチホン・ディスプレイ（※58 ページ）をご利用の場合、三者通話中にかかってきた外線の手番号は、親機または子機のディスプレイに表示されます。
- 三者通話中の親機や子機では、ダイヤルすることや保留にすることができません。
- 三者通話中に相手の声が聞こえにくかったり声が反響するときは、「通話音質調整」（※102 ページ）の設定を変更してみてください。

電話帳に登録する



□を選択するときは
下部の選択ボタンを
押してください。

よく電話をかける相手や緊急時の連絡先などを「電話帳」に登録しておく、簡単な操作で電話をかけることができます。さらに、ナンバー・ディスプレイにご契約いただいている場合は、迷惑電話など受けたくない電話を拒否できたり、相手先に応じた着信音の鳴り分けを設定できます。(※59ページ)
鳴り分けの設定は、親機では相手先の電話番号に対して設定できますが、子機では電話番号ごとに着信音を設定することはできません。

電話帳の登録

- 電話帳には、親機・子機ともに最大100件まで登録することができます。なお、親機では1件につき2つの電話番号を登録できます。
- 電話帳には、名前（全角10文字（半角20文字）・読み仮名16文字（親機）、11文字（子機）まで）・電話番号（20桁まで（数字、「*」、「#」、「p」（ポーズ）のみ））を登録します。
※ただし、「*」、「#」は電話番号の途中に入れないでください。
- 電話帳に登録された内容を印刷することができます。「電話帳リストを印刷する」(※80ページ)

親機

1 電話帳を押す

2 新規登録を押す

3 入力を押す

4 名前を入力する

- ・「文字の入れかた（親機）」(※106ページ)
- ・全角10文字まで入力できます。

読み仮名は自動的に半角16文字まで入力されます。

5 確定を押す

読み仮名を修正するときは、名前と同様の手順で入力し直します。

6 次へを押す

7 「TEL1」に電話番号を入力し△を押す

- ・20桁まで入力できます。
- ・「TEL2」を入力しないときは「確定」を押します。

8 「TEL2」に電話番号を入力し確定を押す

- ・「受けつけました」と表示されます。
- ・続けて登録するときは「連続登録」を押します。

9 停止を押す

準備する 第1章

ご使用の前に 第2章

電話 第3章

ファックス 第4章

コピー 第5章

留守番機能 第6章

ナンバーディスプレイ 第7章

知らせるセンサー 第8章

活用する 第9章

こんなときには 第10章

付録 第11章

電話帳に登録する

子機

1  で「デ'ンヲョウトウロ」を選び  を押す

▶デ'ンヲョウトウロ

2 名前を入力し  を押す
・「文字の入れかた（子機）」（ 108ページ）
・11文字まで入力できます。

ナマエ?
フ'ラザ'ーハナユ

3 電話番号を入力し  を押す
20桁まで入力できます。

TEL?
052123XXXX

4  を押す



メモ

《以下の内容は、親機／子機共通です。》

電話番号の登録のしかた

●「186」または「184」などを付けて電話帳に登録するときは

同一市内であっても必ず市外局番を付けて電話番号を登録してください。市外局番を付けずに登録すると、着信時に相手の名前が表示されなかったり、着信鳴り分けができなくなります。

●構内交換機（PBX）で「0」発信のときには

「0」のあとに （親機）または （子機）でポーズ（約3秒間の待ち時間）を入れてください。

●国際電話のときには

国番号のあとに （親機）または （子機）でポーズ（約3秒間の待ち時間）を入れてください。

例) ①「マイライン」「マイラインプラス」の国際区分に登録されている場合

010 + 国番号 + （親機）または （子機）+ 市外局番 + 電話番号

例) ②「マイライン」「マイラインプラス」の国際区分に登録していない場合

（国際電話サービス会社指定の番号）+ 010 + 国番号 + （親機）または （子機）+ 市外局番 + 電話番号

※ 入力したポーズは「p」（親機）「P」（子機）で表示されます。

●国際電話のかけかたの詳細については、ご利用の電話会社にお問い合わせください。

●操作を中止するときは、（親機）または （子機）を押します。（登録中のデータは破棄されます。）



□を選択するときは、
下部の選択ボタンを
押してください。

履歴からの登録／電話帳の変更・消去

発信履歴から登録する

最近かけた10件の発信履歴から登録します。

親機	P.37の手順1～6と同様に操作 発信履歴を押す → 電話番号を選ぶ → 確定を押す ● 「TEL1」に続いて「TEL2」を入力するときは、 △を押して□内を繰り返します。 ・登録を終了するとき 確定を押す → 停止を押す ・登録を続けるとき 連続登録を押す
子機	機能(確定)を押す → 電話帳を選ぶ → 機能(確定)を押す → 登録する履歴を選ぶ → 機能(確定)を押す → 名前を入力 → 機能(確定)を押す → 機能(確定)を押す (文字の入れかたは108ページ)

着信履歴から登録する

ナンバー・ディスプレイの着信履歴から登録します。(ナンバー・ディスプレイは57ページ)

親機	P.37の手順1～6と同様に操作 着信履歴を押す → 電話番号を選ぶ → 確定を押す ● 「TEL1」に続いて「TEL2」を入力するときは、 △を押して□内を繰り返します。 ・登録を終了するとき 確定を押す → 停止を押す ・登録を続けるとき 連続登録を押す メモ ● ナンバー・ディスプレイの契約をしていない、または設定を「なし」にしているときは「---」と表示され、登録することはできません。 ● 回線状態によってナンバー・ディスプレイ情報を正しく受信できなかったときは「---」と表示され、登録することはできません。
子機	機能(確定)を押す → 電話帳を選ぶ → 機能(確定)を押す → 登録する履歴を選ぶ → 機能(確定)を押す → 名前を入力 → 機能(確定)を押す → 機能(確定)を押す → 切を押す (文字の入れかたは108ページ)

電話帳を変更する

登録した電話帳の名前や電話番号を変更します。

親機	電話帳を押す → 変更する電話帳を選ぶ → 修正を押す → P.37の手順3以降と同様に操作
子機	電話帳を押す → 変更する電話帳を選ぶ → 機能(確定)を押す → 名前を変更 → 機能(確定)を押す → 電話番号を変更 → 機能(確定)を押す → 切を押す (文字の入れかたは108ページ)

電話帳から消去する

登録した電話帳から名前や電話番号を消去します。

親機	電話帳を押す → 消去したい番号を選ぶ → 消去/キャンセルを押す → はいを押す
子機	電話帳を押す → 消去したい番号を選ぶ → 機能(確定)を押す → 名前を変更 → 機能(確定)を押す → 1を押す → 切を押す

第1章
準備する

第2章
ご使用の前に

第3章
電話

第4章
ファックス

第5章
コピー

第6章
留守番機能

第7章
ナンバーディスプレイ

第8章
知らせるセンサー

第9章
活用する

第10章
こんなときには

第11章
付録

電話帳に登録する



□を選択するときは、下部の選択ボタンを押してください。

電話帳の転送

親機から子機、子機から親機へ電話帳データを転送して使用することができます。

- 着信鳴り分け設定は転送されませんので、転送後に設定し直してください。（「電話帳に登録した電話番号ごとに着信音を鳴り分ける[親機]」☎59ページ、「電話帳に登録している相手からの着信音を鳴り分ける[子機]」☎59ページ）

■ 親機から子機へ転送する

1 電話帳一覧を押す

電話帳一覧	残り：65件
▲田中 一郎	TEL1: 052961XXXX
林 花子	TEL1: 066398XXXX
	TEL2: 0906789XXXX
▼	
②で選択、スタートボタンでダイヤル	
文字サイズ	転送 修正 新規登録

読み仮名が「カナ→アルファベット→数字→記号→名前未登録の電話番号」の順に表示されます。

2 転送を押す

転送先指定
転送先を選択してください
転送先 子機1
③で変更してください
戻る 確定

- ・FAX-380DWをお使いの場合は、「子機2」も選択肢として表示されます。
- ・増設された子機があるときは、「子機2～4」も選択肢として表示されます。

3 電話帳一覧を押す

電話帳一覧	残り：65件
▲田中 一郎	TEL1: 052961XXXX
林 花子	TEL1: 066398XXXX
	TEL2: 0906789XXXX
▼	
②で転送したい番号を選択してください	
文字サイズ	確定

4 電話帳一覧を押す

確定を押す

- ・「転送しました」と表示されます。
- ・続けて転送するときは、この手順を繰り返します。

5 停止を押す

メモ

- 転送する内容が、すでに転送先に登録されているときは、重複して登録されます。
- 親機から子機へ転送した場合の着信鳴り分け設定は、「電話帳に登録している相手からの着信音を鳴り分ける[子機]」（☎59ページ）で設定された子機の着信音になります。
- 子機の電話帳の残り件数が「0」のときに親機から子機へデータ転送すると、「子機に転送できません 子機の電話帳がいっぱいです 不要な電話帳を消去して やり直してください」と表示されます。
- 操作を中止するときは、停止を押します。

■ 子機から親機へ転送する

1 親機が待ち受け画面になっていることを確認する

2 電話帳一覧を押す

デンワチョウロク
ブザーハコ
ブザータロウ

読み仮名が「名前未登録の電話番号→カナ（五十音順）→アルファベット→数字→記号」の順に表示されます。

3 機能設定を押す

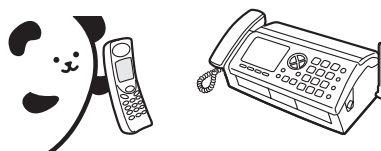
▶ハコ
ショウキョ
テンソウ

4 電話帳一覧を押す

デンワチュウ

- ・転送後は「テンソウ シツシ」と表示されたあと、手順2に戻ります。
- ・続けて転送するときは、手順2から繰り返します。

5 切を押す



メモ

- 転送する内容が、すでに転送先に登録されているときは、重複して登録されます。
- 子機から親機へ転送した場合の着信鳴り分け設定は、「着信音の設定」（☎73ページ）で設定された親機の着信音になります。
- 親機の電話帳の残り件数が「0」のときに子機から親機へデータ転送すると、「テンソウ デキセン ヤキノデンワチョウ イっぱい」と表示されます。
- 子機を2台以上使用しているとき、子機同士で電話帳データを転送することはできません。
- 操作を中止するときは、切を押します。

ファクスを送る

自分の名前とファクス番号を相手先の受信結果の先頭に印刷させたいときは、あらかじめ発信元登録を行ってください。「送信したファクスに印刷される自分の名前と番号を登録する（発信元登録）」（※22ページ）

原稿のセットのしかた

ファクスを送信するときやコピーするときは、原稿挿入口に原稿をセットします。

1 原稿をセットしながら、原稿ガイドを合わせる

原稿は送信する面（コピーする面）を必ず裏向きにセットしてください。

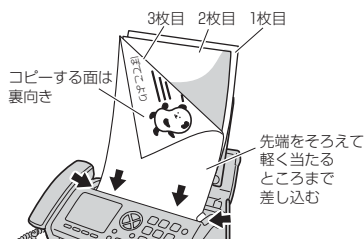


ファクスを送る（自動送信）

ファクスを送ります。

1 原稿を裏向きにセットしながら、原稿ガイドを原稿のサイズに合わせる

一度にセットできる原稿は5枚までです。
「原稿・記録紙について」（※48ページ）



2 ダイヤルする、または電話帳から相手先を選ぶ



● ボタンを押すと一時的に画質や濃度を調整できます。
（※47ページ）

画質は、ファクス送信後に「普通字」に戻ります。
設定は記憶されません。

3 スタート/コピーを押す

注意

ファクスを途中でやめるには

⏏を押します。読み取られていない原稿を取り除き、残った原稿をメッセージにしたがって排紙します。

送れなかったときは

相手が通話中などで送信できなかったときは、5分おきに3回まで自動的に「再ダイヤル」します。このときディスプレイには「再ダイヤル待機中」が表示されます。（「再ダイヤル」を停止するときは⏏を押します）それでも送信できなかったときは、送信レポートの設定（※80ページ）によりレポートが印刷されます。

話をしてから送る（手動送信）

相手と通話し、ファクスを送ることを伝えてから送ります。

1 左記「ファクスを送る（自動送信）」の手順1と同様に原稿をセットする

2 相手に電話をかける



3 相手側（受信側）のスタートボタンを押してもらう



4 受話器から「ピーヒョロロ」と音がしたらスタート/コピーを押し、受話器を戻す



注意

送れなかったときは

「話をしてから送る」の手順でファクスを送信したときは自動再ダイヤルしません。

同じ相手に再度ダイヤルするときは、⏏を押します。

第1章
準備する

第2章
ご使用の前に

第3章
電話

第4章
ファクス

第5章
コピー

第6章
留守番機能

第7章
ナビゲーション

第8章
知らせるセンサー

第9章
活用する

第10章
こんなときには

第11章
付録

ファクスを送る



□を選択するときは、下部の選択ボタンを押してください。

いろいろなファクスの送りかた

海外送信

海外への送信時に設定を「する」にしてエラーを少なくします。



メモ

- 国際電話のかけかた (ファクスも含め) については、ご利用の電話会社にお問い合わせください。
- ファクス送信後、設定が「しない」に戻ります。再度、送信するときは「する」にしてファクスを送信してください。

メモリー送信

原稿をメモリーに記憶してからファクスを送ります。

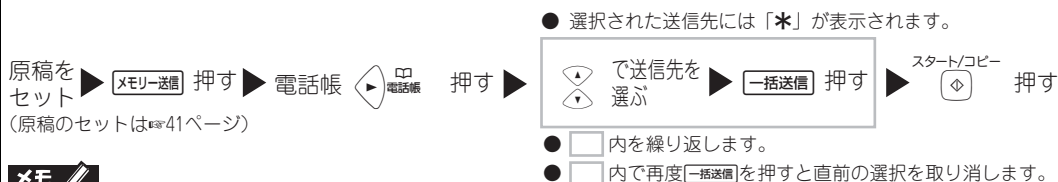


メモ

通常のファクス送信とは違い、原稿を本機のメモリーに記憶してから送信するため、原稿の読みとりがはやく、すぐに原稿を使いたいときなどに便利です。

一括送信

複数の相手先 (最大 100 箇所) に同じ原稿を送ります。

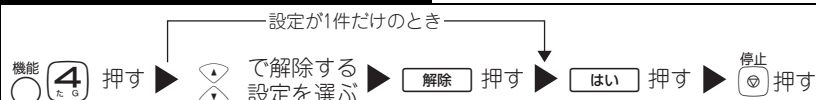


メモ

- スタート/コピーを押したあとすぐに原稿の読み取りを開始し、メモリーに記憶してから送信します。
- 送信動作は、設定した件数分繰り返します。

待機一覧

メモリー送信や一括送信で送信待ちのファクスを確認し、解除できます。



ファクスを受ける



□を選択するときは下部の選択ボタンを押してください。

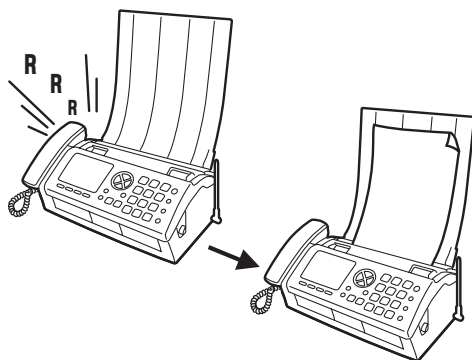
ファクスをご利用になる頻度によって、受信のしかたを設定することができます。

「電話やファクスの受けかた」(☞23ページ)

相手先の名前とファクス番号を受信結果の先頭に印刷させたいときは、相手側のファクシミリでの発信元登録が必要です(本機の設定ではありません)。相手先にご確認ください。

自動的に受ける(自動受信)

設定した回数の着信音が鳴り終わると自動的に応答し、相手がファクスのときは自動的にメモリーに受信します。「受信したファクスをディスプレイで見る(みただけ受信)・印刷する」(☞44ページ)



注意

呼出回数を「無制限」に設定しているときは、自動的に受信しません。「電話・ファクスの受けかたを変更する」(☞24ページ)

メモ

ファクスはメモリーに受信します。受信後に印刷したり、ディスプレイで内容を確認できます。初めから記録紙で受信したいときは、みただけ受信を「しない」に設定してください。(☞45ページ)
ただし、みただけ受信を「しない」に設定すると、ディスプレイで確認したり、あとでもう一度印刷したりすることはできません。

子機で受ける

親切受信を「する」に設定しておく、子機をとってから約7秒後にファクスを自動的に受信します。お買い上げ時の親切受信は「する」に設定されています。「親切受信」(☞45ページ)



お願い

親切受信を設定していないときや相手と話したあとに受信するときは、「ポー、ポー」という音が聞こえたら親機の^{スタート/コピー}を押し、^{はい}を押してください。

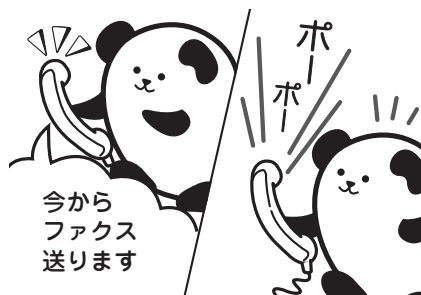
電話に出てから受ける(手動受信)

電話に出てからファクスを受信します。

1 電話を受ける



2 相手と話をしたあと、または「ポー、ポー」と音がしていたら、^{スタート/コピー}を押す



メモ

- 原稿がセットされているときは、取り除いてから^{スタート/コピー}を押します。
- ファクスを受信すると通話は自動的に切れます。

3 受話器を戻す



第1章 準備する

第2章 ご使用する前に

第3章 電話

第4章 ファクス

第5章 コピー

第6章 留守番機能

第7章 ナビディスプレイ

第8章 知らせるセンサー

第9章 活用する

第10章 こんなときには

第11章 付録

ファクスを受ける



□を選択するときは下部の選択ボタンを押してください。

受信したファクスをディスプレイで見る（みるだけ受信）・印刷する

新しく届いたファクスや以前受信したファクスの内容を確認できます。お買い上げ時のみるだけ受信は、「する」に設定されています。ファクスはメモリーに受信されます。はじめて記録紙に印刷したいときは、「みるだけ受信」を「しない」に設定してください。（※45ページ）

1 ファクスを受信したことが表示されたら「ファクス一覧」を押す

05件

新着ファクスがあります
「ファクス一覧」を押してください

※メモリーに記憶しているファクスの件数

メモリー

新着ファクスがないときは「既読ファクス一覧」が表示されます。

2 「新着ファクス一覧」が表示される

新着ファクス一覧

日時 時刻 枚 相手先名称

▲ 01月01日 01:25 01

▼ 01月01日 01:24 01

○で選択してください

既読ファクス 印刷 一括印刷 表示

既読ファクス一覧

日時 時刻 枚 相手先名称

▲ 01月01日 01:25 01

▼ 01月01日 01:24 01

○で選択してください

既読ファクス 印刷 一括印刷 表示

以前受信したファクス一覧が表示されます。

印 刷

印刷 ○で選んだファクスのみ印刷します。

一括印刷 表示しているすべてのファクスを印刷します。

データの消去

○で選び「表示」を押してファクスの内容を表示しているときに「消去/キャンセル」を押す、消去するかどうかの確認メッセージにしたがって「はい」を押します。

メモ

メモリーに記憶できるファクスは、約60枚分※または最大60通信分です。不要なファクスのデータは消去してください。

※ A4サイズ700文字程度の原稿を普通字画質（8ドット×3.85本/mm）で蓄積された場合の枚数です。原稿の内容や画質によって、メモリーに記憶できる枚数が少なくなります。メモリーは留守録と共用しているため音声メッセージの録音がある場合は、メモリーに記憶できるファクスの枚数が減少します。

表 示

○で選んだファクスの内容が表示されます。表示後、次の操作ができます。

次ページ：次のページを表示します。

回 転：表示を90°ずつ右回転させます。

画面印刷：表示しているページを印刷します。

戻 る：一覧表示に戻ります。

○：たて方向にスクロールします。

○：よこ方向にスクロールします。

※：縮小表示します。押すたびに、3段階で縮小画面が切り替わります。

#：拡大表示します。押すたびに、3段階で拡大画面が切り替わります。

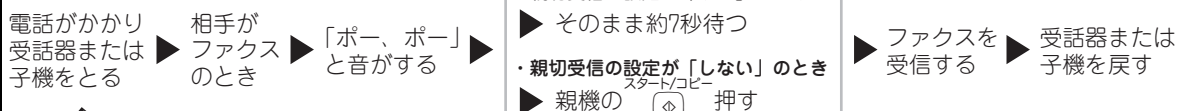


□を選択するときは、
下部の選択ボタンを
押してください。

いろいろなファクスの受けかた

親切受信

かかってきた電話がファクスのとき、そのまま約7秒待つとファクスを自動的に受けることができます。

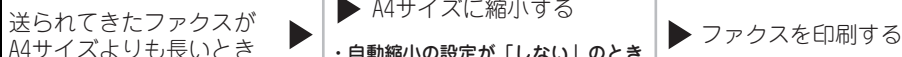


メモ

- お買い上げ時の設定は「する」に設定されています。
- 設定を「しない」にするときは
 を押し、 で「しない」を選んで を押し を押します。
- ファクスを自動的に受信できないときは
「ポー、ポー」と音がしても、回線の状態によりファクスを自動的に受信できないことがあります。このようなときは、親機の を押してファクスを手動で受信してください。
- 親切受信の待ち受け時間は
電話に出たあと約40秒間です。
40秒経過すると「ポー、ポー」と音がしても、ファクスを自動的に受信することはできません。このようなときは、親機の を押してファクスを手動で受信してください。
- 通話中、突然ファクスに切り替ってしまうときは
設定を「しない」にしてください。

自動的に縮小して受ける

送られてきたファクスがA4サイズよりも長いとき、A4サイズに縮小して印刷します。ファクスが2枚に分かれて印刷されるときは「する」に設定してください。

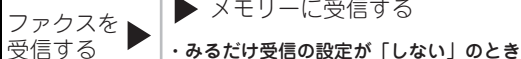


メモ

- お買い上げ時の設定は「する」に設定されています。
- 設定を「しない」にするときは
 を押し、 で「しない」を選んで を押し を押します。
- 「する」に設定されていても分割されてしまうときは
送られてきたファクス（送り元の原稿）の長さが550mmより短いときはA4サイズに縮小して印刷しますが、長さが550mmより長いときは縮小されずに分割して印刷されます。
- A3やB4の原稿が送信されたときは
送信側で縮小して送信されます。このため、自動縮小の設定を「しない」にしても縮小して印刷されます。

ファクスを自動的に印刷する (みるだけ受信を解除する)

みるだけ受信を「しない」に設定するとファクスが自動的に印刷されます。



注意

みるだけ受信の設定に関係なく、受信データをメモリーに記憶します。データがメモリーを起えて受信できない場合は、データを消去し、エラーになったページから複数回に分けて送信してもらってください。

メモ

- お買い上げ時の設定は「する」に設定されています。
- 設定を「しない」にするときは
 を押し、 で「しない」を選んで を押し を押す。
- 設定を「しない」にしたときは
記録紙がセットされていれば直接印刷されます。ディスプレイで確認したり、あとで印刷したりすることはできません。記録紙がセットされていないとみるだけ受信します。みるだけ受信したファクスはファクス一覧から表示、または印刷できます。

第1章
準備する

第2章
ご使用の前に

第3章
電話

第4章
ファクス

第5章
コピー

第6章
留守番機能

第7章
フバーディスプレイ

第8章
知らせるセンサー

第9章
活用する

第10章
こんなときには

第11章
付録

コピーする

コピーのしかた

1

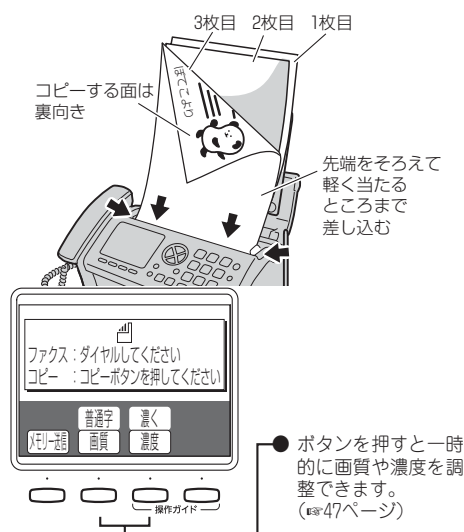
記録紙をセットする

- ・「記録紙の準備」(P.10ページ)
- ・「原稿・記録紙について」(P.48ページ)

2

原稿を裏向きにセットし、原稿ガイドを原稿のサイズに合わせる

- ・「原稿のセットのしかた」(P.41ページ)
一度にセットできる原稿は3枚(ファクス送信時は5枚)までです。
- ・「原稿・記録紙について」(P.48ページ)



3

スタート/コピーを押す

拡大/縮小コピーや複数コピーをしないときは、ここでもう一度 **スタート/コピー** を押すとコピーが始まります。

4

コピー内容を設定する



- ・ **コピーする枚数** ~ で入力します
- ・ **拡大・縮小率** で選びます
100%、120%、125%、150%、50%、75%、87%、93%、自動
- ・ **ソート (並べ替え)**
2枚以上の原稿を複数(2部以上)コピーするとき、ページ順に1部ごとに分けてコピーすることができます。

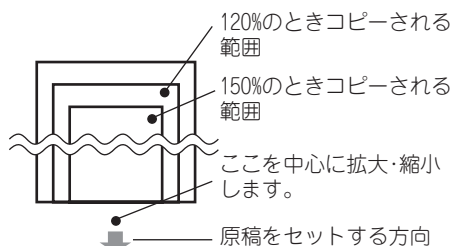
5

スタート/コピーを押す

コピーが始まります。

メモ

- 複数コピーやソートを「する」にしたときは原稿を読み取ったあとでコピーが始まります。
- コピーを途中でやめるには を押します。
- 拡大/縮小コピーは原稿を差し込んだ辺(へん)の中央を基準に行います。ただし、拡大したときは画像の一部が欠けることがあります。



- 1枚目の原稿を読み取っているときに「メモリがなくなりました! 停止ボタンを押してください」と表示されたときは を押してコピーを中止し、不要なメモリを消去します。「受信したファクスをディスプレイで見る(みただけ受信)・印刷する」(P.44ページ)すでに1枚以上原稿を読み取っているときは、読み取ったページまでコピーできます。続けるときは を押してください。

コピーするときの注意

- **法律で禁止されているもの**
(絶対にコピーしないでください)
 - ・ 紙幣、貨幣、政府発行有価証券、国債証券、地方証券
 - ・ 外国で流通する紙幣、貨幣、証券類
 - ・ 未使用の郵便切手や官製はがき
 - ・ 政府発行の印紙、および酒税法や物品税法で規定されている証券類
- **著作権のあるもの**
 - ・ 著作権の目的となっている著作物を、個人的に限られた範囲内で使用する以外の目的でコピーすることは、禁止されています。
- **その他注意を要するもの**
 - ・ 民間発行の有価証券(株券、手形、小切手)、定期券、回数券
 - ・ 政府発行のパスポート、公共事業や民間団体の免許証、身分証明書、通行券、食券などの切符類など

原稿に合わせて濃度や画質を調整する



□を選択するときは下部の選択ボタンを押してください。

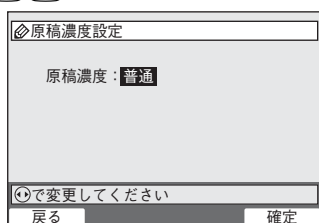
コピーするとき、ファクスを送るとき画質や濃度を原稿に合わせて調整します。

濃度の調整

コピーするとき、ファクスを送るとき濃度を設定します。

- お買い上げ時は、「普通」に設定されています。
- コピー終了後、ファクス送信後も設定は保持されます。

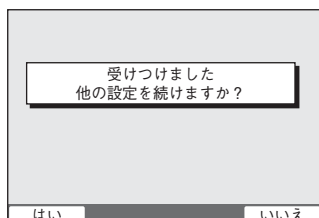
1 機能 [3] 1 を押す



2 濃度で原稿濃度を選ぶ

濃く／普通／薄く

3 確定を押す



4 いいえを押す

他の設定をするときは「はい」を押します。



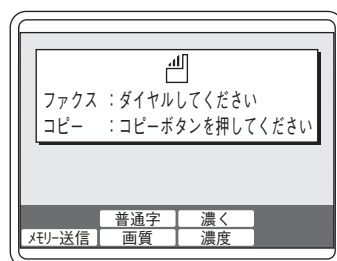
画質の調整

原稿の文字の大きさや種類によって読み取る画質を選択します。

- お買い上げ時は、「普通字」に設定されています。
- コピー終了後、ファクス送信後は元の設定に戻ります。
- 1部のみコピーするときは、「精細字」と「写真」が選択できます。
- 複数コピーするときは、「細かい字」、「精細字」と「写真」が選択できます。

1 原稿を裏向きにセットし、原稿ガイドを原稿のサイズに合わせる

- ・「原稿のセットのしかた」(P41ページ)
一度にセットできる原稿は3枚(ファクス送信時は5枚)までです。
- ・「原稿・記録紙について」(P48ページ)



●ボタンを押すと濃度を調整できます。

2 画質を押す

読み取る細かさを選択します。

普通字／細かい字／
精細字／写真

画質を選ぶ目安は次のとおりです。

- ・「普通字」 : 大きくはっきりと見える文字
- ・「細かい字」 : 雑誌のように小さい文字
- ・「精細字」 : 新聞のように細かい文字
- ・「写真」 : 写真やカラーの原稿

第1章
準備する

第2章
ご使用の前に

第3章
電話

第4章
ファクス

第5章
コピー

第6章
留守番機能

第7章
ナビゲーション

第8章
知らせるセンサー

第9章
活用する

第10章
こんなときには

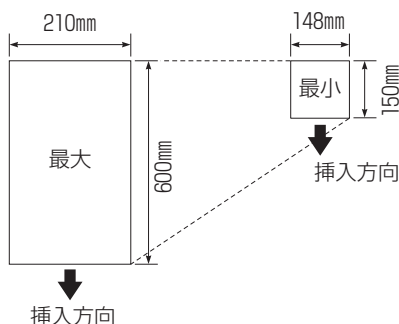
第11章
付録

原稿・記録紙について

原稿のサイズと紙厚

使用できる原稿のサイズと厚さは次のとおりです。
これ以外のサイズの原稿を使うときは、コピー機で拡大・縮小コピーをするか、薄く小さすぎる原稿は市販のキャリアシートに入れてセットしてください。

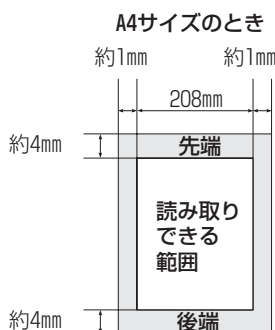
- **最大原稿サイズ**：210（幅）×600（長さ）mm
長さが400 mm以上の原稿は手で支えながら送信してください。
- **最小原稿サイズ**：148（幅）×150（長さ）mm
- **紙厚**：0.08～0.10mm
- **重量**：64g/m²～81.4g/m²（55～70kg紙）



原稿の読み取り範囲

原稿をセットしたとき、読み取ることのできない範囲（部）がありますのでご注意ください。

また、読み取ることのできる範囲は、原稿の紙質・紙厚・原稿をセットした状態などにより変化する場合があります。



使用できない原稿

次のような原稿をセットすると原稿がつかったり破れたりすることがあります。必要な処置をしてセットしてください。

使用できない原稿	処置
ホチキスの針やクリップのついた原稿	ホチキスの針、クリップを外してください。
そり、折れ、しわのある原稿	たいらにするか、コピー機でコピーしてください。
● 官製はがきのように厚い原稿 ● 本のように閉じてある原稿	コピー機でコピーしてください。
● 穴、破れのある原稿 ● 貼り合わせた原稿 ● アート紙、銀紙、カーボン紙など表面が加工された原稿 ● インデックス、付せんなどはみ出た部分がある原稿 ● 登記書のように薄くてやわらかい原稿 ● つるつるすべる原稿	コピー機でコピーしてください。 薄くて小さい原稿であれば、市販のキャリアシートを使って使用することがある場合があります。
朱肉、修正液、インクなどが乾いていない原稿	完全に乾かしてください。

記録紙について

- A4サイズ（210×297 mm）のコピー用紙または普通紙をご使用ください。
- 記録紙の保管は、直射日光、高温、高湿を避けてください。



- 重量：64g/m²（55kg紙）または81.4g/m²（70kg紙）
用紙の厚さや使用するトレイ（すっきり / 記録紙）によってセットできる枚数が異なります。

紙の重量	記録紙トレイ	すっきりトレイ
64g/m ² （55kg紙）	40枚	5枚
81.4g/m ² （70kg紙）	30枚	5枚

次のような用紙をセットしないでください。
用紙がつかったり、故障の原因になります。

- そり、折れ、しわのある用紙
- 湿っている用紙
- 穴、破れのある用紙
- 薄くてやわらかい用紙
- つるつるすべる用紙
- 感熱紙、アート紙のように表面が加工された用紙
- 新聞広告（裏紙）
- すでに印刷されている用紙の裏
- レポート用紙

留守番機能を利用する

出かけるとき

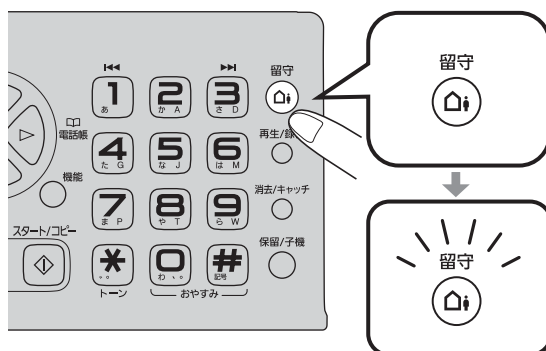
■ 留守モードを設定する

お出かけ前に「留守モード」に設定すると、留守中にかかってきた電話やファクスを自動的に受けることができます。子機では、留守モードを設定／解除することはできません。

留守
OHを押す

ボタンが点灯し、「留守モード」がセットされます。

ただいま留守にしております。
電話のかたは・・・



メモ

● 留守応答メッセージについて

本機にはあらかじめ固定留守応答メッセージが録音されていますが、必要に応じて留守応答メッセージを2種類まで録音することができます。「応答メッセージの設定」(※51 ページ)

録音されている留守応答メッセージ:「ただいま留守にしております。電話のかたは発信音のあとにお話してください。ファクスのかたは、そのまま送信してください。」

● 呼出回数について

着信してから、本機が自動的に応答するまでに鳴る呼出回数を設定することができます。「呼出回数の設定」(※25 ページ)

● メッセージの録音時間について

留守モード中にかかってきた相手からのメッセージを録音する時間(1回あたり)を設定することができます。「メッセージの録音時間の設定」(※52 ページ)

録音時間は、相手側の状況(声の質や周りの騒音など)によって変わることがあります。また、受信したファクスがメモリーに記憶されているときは録音時間が短くなります。

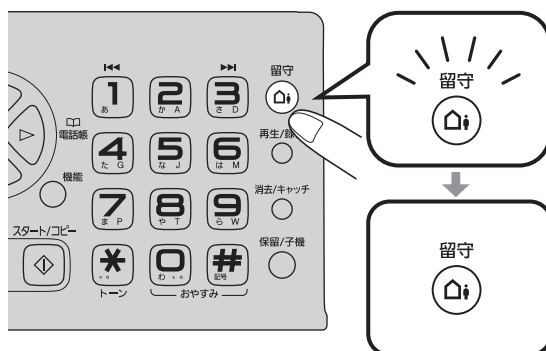
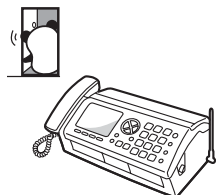
● 留守録モニターについて

留守録モニターの音量を変更したいときは、「モニター音量を設定する」(※76 ページ)を参照してください。

■ 留守モードを解除する

留守
OHを押す

ボタンが消灯し、「留守モード」が解除されます。



メモ

● おやすみモード設定中は留守モードを解除することができません。「おやすみモードを設定する(親機)」(※78 ページ)

● 外出先から留守モードを設定または解除することができます。「外出中の便利な使いかた」(※53 ページ)

第1章
準備する

第2章
ご使用の前に

第3章
電話

第4章
ファクス

第5章
コピー

第6章
留守番機能

第7章
チャイムスレイ

第8章
知らせるセンサー

第9章
活用する

第10章
こんなときには

第11章
付録

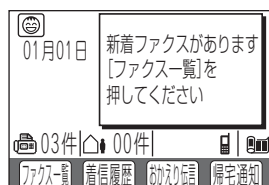
留守番機能を利用する



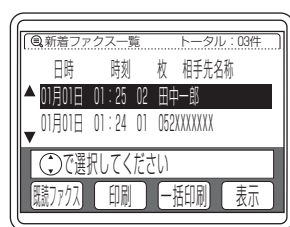
を
を選択するときは
下部の選択ボタンを
押してください。

帰ってきたとき

■ ファクスが届いているとき



- 1 **ファクス一覧**を押す
新着のファクス一覧が表示されます。

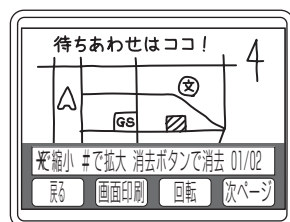


表示しているすべてのファクスを印刷するときに記録紙をセットして押します。

で選択したファクスのみを印刷するときに記録紙をセットして押します。

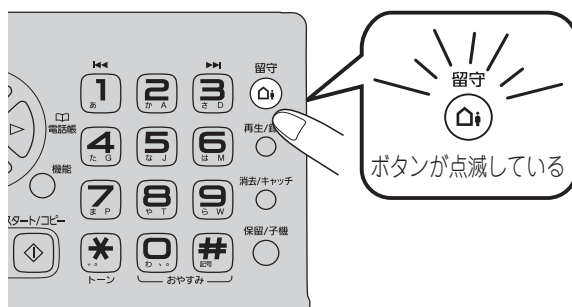
- メモ**
印刷したあとと消去するかどうかを選択します。

- 2 **で**見たいファクスを選び **表示**を押す
選択したファクスの内容が表示されます。



表示中の1ページを印刷するときに記録紙をセットして押します。
(44ページ)

■ 音声メッセージがあるとき



- 留守**を押す

留守モードが解除され、新しく録音されたメッセージが再生されます。

メモ

を押すと、新しく録音されたメッセージが再生されます。新しいメッセージがないときは、保存されているすべてのメッセージが再生されます。

■ 音声メッセージを確認する

子機では、音声メッセージを再生/消去することはできません。

メッセージを聞き直す	
再生中のとき	を押す
再生中でないとき	再生/録音を押す
次のメッセージを聞く	再生中にを押す
途中でメッセージの再生をやめる	再生中に停止を押す
メッセージを消去する	
再生中のとき (そのメッセージが消去される)	消去/キャッチを押し、確認してもう一度を押す
再生中でないとき (すべてのメッセージが消去される)	消去/キャッチを押してはいを押し、確認してはいを押す



メッセージを設定する

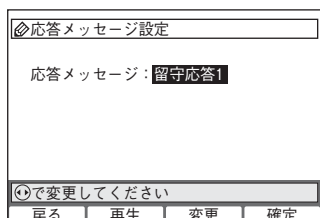


□を選択するときは、下部の選択ボタンを押してください。

応答メッセージの設定

本機にはあらかじめ「在宅応答メッセージ」と「留守応答メッセージ」が録音されていますが、必要に応じて在宅応答メッセージ（1種類）と留守応答メッセージ（2種類）を録音（20秒まで）することができます。

1 機能 [留守] 1を押す



2 [留守]で設定する応答メッセージを選び [確定]を押す

留守応答1／留守応答2／在宅応答

■メッセージを録音するとき

3 [変更]を押す



4 [録音]を押す

5 受話器をとり、[スタート/コピー]を押してメッセージを録音する

6 終了したら受話器を戻す 録音内容が自動的に再生されます。

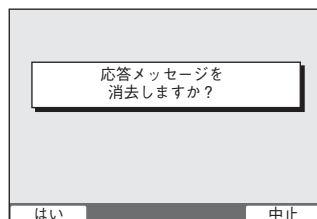
7 [停止]を押す 設定を終了します。

■メッセージを消去するとき

3 [変更]を押す



4 [消去]を押す



5 [はい]を押す メッセージが消去されます。

6 [停止]を押す 設定を終了します。

■メッセージを再生するとき

3 [再生]を押す メッセージが再生されます。



4 [停止]を押す 設定を終了します。

メモ

- 再呼び出し設定（※25 ページ）で「相手にメッセージ」を選択して、本機が自動的に電話を受けたとき、応答メッセージを設定していない場合は、本機に録音されている固定応答メッセージが再生されます。
- 再呼び出し設定（※25 ページ）で「相手にベル」に設定された状態で在宅応答メッセージを録音すると、在宅応答メッセージは自動的に「相手にベル」から「相手にメッセージ」に変更されます。

第1章 準備する

第2章 ご使用の前に

第3章 電話

第4章 ファックス

第5章 コピー

第6章 留守番機能

第7章 ナビディスプレイ

第8章 知らせるセンサー

第9章 活用する

第10章 こんなときには

第11章 付録

メッセージを設定する

留守応答メッセージの選択

自分で留守応答メッセージを録音したとき、留守応答メッセージを選ぶことができます。

1 **留守**を押す
留守ボタンが点灯しているときは、**留守**を押してボタンを消灯させてから、再度**留守**を押してください。

2 **メッセージ再生中に** **1** または **3** を押す
留守応答メッセージを選びます。

再生／再生1／再生2

- ・「再生」
あらかじめ録音されている固定留守応答メッセージ
- ・「再生1」
自分で録音した留守応答メッセージ1
- ・「再生2」
自分で録音した留守応答メッセージ2
- ・メッセージを再生したあと、そのメッセージで留守モードにセットされます。
- ・メッセージ再生中に**停止**を押すと、再生を中止して前回選択したメッセージで留守モードにセットされます。



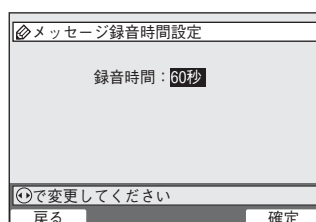
留守を選択するときは、下部の選択ボタンを押してください。

メッセージの録音時間の設定

留守モードのときや通話を録音するとき、1回あたりの録音時間を設定します。

- お買い上げ時は、「60 秒」に設定されています。
- 1回の最大録音時間は約3分、総録音時間は約57分、最大録音件数は99件です。

1 **機能** **留守** **留守**を押す



2 **録音時間を選び** **確定**を押す

30／60／120／180秒

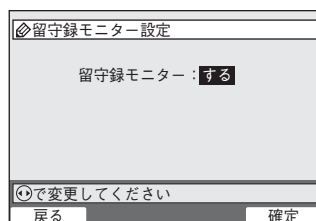
「受けつけました」と表示されます。

3 **停止**を押す

留守録モニターの設定

留守モード中に着信した場合に再生される応答メッセージと、相手の録音メッセージを、本機のスピーカーで聞く（モニターする）かどうかを設定できます。お買い上げ時は、「する」に設定されています。

1 **機能** **留守** **留守**を押す



2 **設定を選び** **確定**を押す

する／しない

「受けつけました」と表示されます。

3 **停止**を押す

留守録モニターの音量を変更したいときは、「モニター音量を設定する」(P.76ページ)を参照してください。

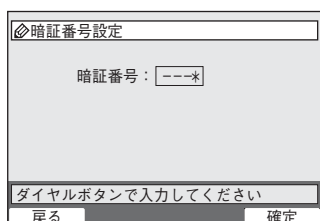
外出中の便利な使いかた

暗証番号の設定

留守録転送やリモコンアクセスをするためには、あらかじめ暗証番号を設定しておく必要があります。

- お買い上げ時は、暗証番号の設定はされていません。暗証番号が設定されていない場合（---*）は、リモコンアクセスや留守録転送機能を使用することはできません。

1 機能 [6] [4] を押す

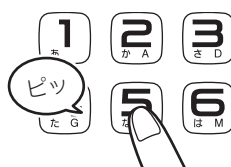


以前に設定した暗証番号を変更するときは、ディスプレイの「---*」に現在の暗証番号（3桁）が表示されます。

2 暗証番号を入力する

暗証番号はダイヤルボタンの[0]~[9]、[*]、[#]を使って入力します。

必ず、3桁の暗証番号を入力してください。暗証番号は、3桁の番号と最後の「*」（固定）で構成されます。



[停止]を押した場合、暗証番号は設定されず待ち受け画面に戻ります。

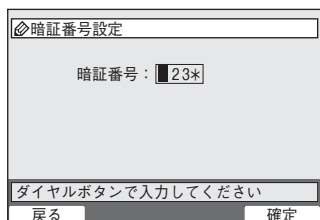
3 [確定]を押して[停止]を押す

暗証番号の消去

一度入力した暗証番号を消去します。

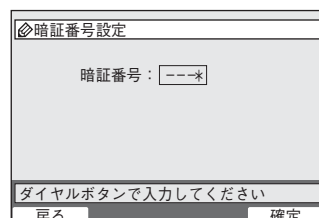
1 機能 [6] [4] を押す

カーソルが先頭にあることを確認してください。



2 [停止]を押す

暗証番号が消去されます。



3 [確定]を押して[停止]を押す

リモコンアクセス

トーン信号でリモコンコードを入力し、外出先から本機を操作することができます。

本書には「リモコンアクセスカード」（※55ページ）があります。切り取ってお持ちいただくと外出先から操作するときに便利です。

リモコンアクセスするためには、あらかじめ暗証番号の設定が必要です。

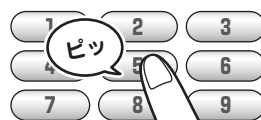
1 外出先から電話する

2 本機からの応答メッセージが流れてきたら [#] [*] を続けて押す

「暗証番号を入れてください」と音声でお知らせします。

3 暗証番号を入力する

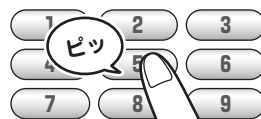
[0]~[9]、[*]、[#]を使って3桁の暗証番号と最後に「*」を入力します。



暗証番号を受け付けると音声メッセージの件数を音声でお知らせします。

4 リモコンコードを入力する

リモコンコードについて「リモコンコード表」（※54ページ）



[例] 録音されている音声メッセージを再生するときは[9][1]を押します。

5 終了するときは[9][0]を続けて押す

第1章 準備する

第2章 ご使用の前に

第3章 電話

第4章 ファックス

第5章 コピー

第6章 留守番機能

第7章 ナビディスプレイ

第8章 知らせるセンサー

第9章 活用する

第10章 こんなときには

第11章 付録

外出中の便利な使いかた

■ リモコンコード表

コード	操作内容	
■音声メッセージ		
91	音声メッセージを再生する	再生中に〔1〕：メッセージを最初から再生 メッセージとメッセージの間で〔1〕：前のメッセージを再生 再生中に〔2〕：次のメッセージを再生 再生中に〔9〕：再生を中止 録音されているメッセージを再生したあと、録音された日時を音声でお知らせします。
93	メモリーに録音されているすべての音声メッセージを消去する	「消去しました」と音声でお知らせします。 一度も再生されていないメッセージが残っているか、消去するメッセージがないときは「ピピピッ」という音がします。
■設定		
951	留守録転送、ファクス転送の設定を「しない」にする	
952	ファクス転送を設定する（番号が登録されていないときは設定不可）	
954	ファクス転送先を設定する	〔9〕〔5〕〔4〕のあと「ピー」と鳴ったら転送先番号を入力し、〔#〕を2回押してください。ファクス転送の設定がされていないときは自動的に「ファクス転送」になります。
956	みるだけ受信を「する」に設定する	
957	みるだけ受信を「しない」に設定する	
■メモリー操作		
962	メモリーに記憶されたファクスを取り出す	〔9〕〔6〕〔2〕のあと「ピー」と鳴ったら転送先番号を入力し、〔#〕を2回押して受話器を戻してください。
971	受信したファクスが記憶されているかを確認する	記憶されているとき：「ピー」という音がします。 記憶されていないとき：「ピピピッ」という音がします。
972	音声メッセージが記憶されているかを確認する	記憶されているとき：「ピー」という音がします。 記憶されていないとき：「ピピピッ」という音がします。
■モード変更		
981	留守モードにする	「留守に設定しました」と音声でお知らせします。
982	在宅モードにする （留守モードを解除する）	「留守設定を解除しました」と音声でお知らせします。
■リモコンアクセスの終了		
90	リモコンアクセスを終了する	



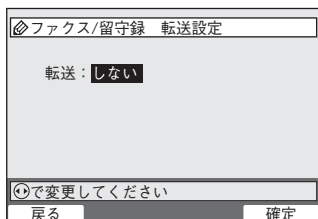
留守録転送

留守モードのときに音声メッセージが録音されると、外出先の指定した電話に転送します。

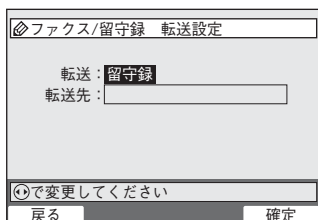
- ファクス転送と同時に設定することはできません。
- NTTのボイスワープサービスとは異なります。
- 転送先の電話が話中のとき、呼び出しても電話に出ないとき、電話に出ても暗証番号が押されないときは、10分おきに5回まで再ダイヤルします。
- 留守モードのときのみ転送できます。

■ 留守録転送する

1 機能 を押す



2 で「留守録」を選び を押す



しない／ファクス／留守録

暗証番号が設定されていないときは、「留守録転送の設定ができません！ 暗証番号を登録してください」が表示され、暗証番号の入力画面になります。暗証番号を設定してください。「暗証番号の設定」(P.53ページ)

3 転送先の電話番号を入力し を押す

「受けつけました」と表示されます。

4 を押す

留守モードに設定すると、ディスプレイに **留守録転送** が表示されます。

■ 転送先で確認する

1 電話がかかってきたら、音声ガイダンスにしたがって暗証番号を入力する

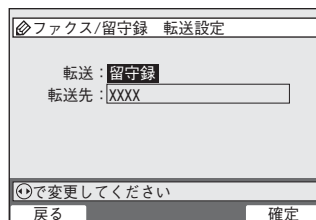
~ 、、 を使った3桁の暗証番号と最後に「*」を入力してください。「暗証番号の設定」(P.53ページ)

2 メッセージを聞く

- ・2件以上あるときは連続して再生されます。
- ・再生終了後に電話は自動的に切れます。

■ 解除する

1 機能 を押す



2 で「しない」を選び を押す

しない／ファクス／留守録

「受けつけました」と表示されます。

3 を押す

ディスプレイの **留守録転送** 表示が消えます。



「リモコンアクセスカード」を切り取ってお使いいただくと便利です。

リモコンアクセスの使用方法

1. プッシュボタン回線方式の電話機を使って、電話をかけます。
2. 応答メッセージが再生されたら、、、暗証番号を入力します。
3. 暗証番号を入力すると、「ピー」という受付音が鳴り、「録音メッセージは〇〇件です」というガイダンスが聞こえます。
そのあと、「リモコンコードを入れてください。」というガイダンスが聞こえます。
4. リモコンコードを入力します。
5. 「90」を入力して、リモコンアクセスを終了します。
リモコンコードは、裏面の一覧表を参照してください。

暗 証 番 号



あなたの暗証番号を記入してください。

注意：間違った操作を行ったときには、「番号が間違っています。リモコンコードを入れてください。」というガイダンスが聞こえますので、もう1度やり直してください。

第1章
準備する

第2章
ご使用の前に

第3章
電話

第4章
ファクス

第5章
コピー

第6章
留守番機能

第7章
ナビディスプレイ

第8章
知らせるセンサー

第9章
活用する

第10章
こんなときには

第11章
付録

外出中の便利な使いかた



□を選択するときは、下部の選択ボタンを押してください。

ファクス転送

ファクスが着信すると、本体のメモリーに受信して外出先の指定したファクシミリに転送します。

- 留守録転送と同時に設定することはできません。
- 転送先のファクシミリが通話中のときは、5分おきに3回まで再ダイヤルします。

■ ファクス転送する

- 機能 を押す
- で「ファクス」を選び、 を押す
- 転送先のファクス番号を入力し を押す
- を押す
 ディスプレイに **ファクス転送** が表示されます。

■ 解除する

- 機能 を押す
- で「しない」を選び を押す
 「受けつけました」と表示されます。
- を押す
 ディスプレイの **ファクス転送** 表示が消えます。



「受けつけました」と表示されます。

<キリトリ線>

リモコンコード

操作内容	ボタン/操作	操作内容	ボタン操作
音声のメッセージを再生	91	みるだけ受信の	956
戻し	再 1	設定	しない 957
送り	中 2	ファクスの取り出し	962+ダイヤル
中止	に 9	入力+##	
音声メッセージを消去(※1)	93	受信状況の	ファクス 971
留守録転送、ファクス	951	チェック(※2)	音声メッセージ 972
しない		受信モードの	留守 981
転送の設定変更	ファクス転送 952(※3)	変更	在宅 982
ファクス転送番号の	954+転送番号	終了	90
登録・変更	入力+##		

※1: 「ビビビッ」という音が聞こえたら、すべてのメッセージがまだ再生されていないか、消去するメッセージがないため消去ができないことを示しています。

※2: 「ビー」という音が聞こえたら、メッセージを受信しています。「ビビビッ」という音が聞こえたら、メッセージを受信していません。

※3: 転送番号が登録されていないときは、転送機能を「する」にすることはできません。

「リモコンアク
セスカード」を切り
取ってお使いいた
くと便利です。



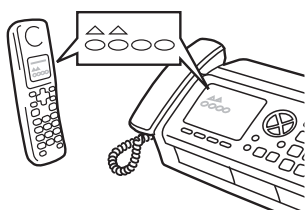
ナンバー・ディスプレイを利用する

ナンバー・ディスプレイとは

電話会社（NTTなど）とのご契約によってナンバー・ディスプレイサービスをご利用いただくことができます。サービスの詳細については、ご利用の電話会社にお問い合わせください。

注意

- 本機の設定だけでは、「ナンバー・ディスプレイ」は利用できません。電話会社（NTT など）とのご契約が必要です。（有料）
同時に利用できないサービスについては、ご利用の電話会社にお問い合わせください。
- ISDN 回線を利用されているときは、ナンバー・ディスプレイ対応のターミナルアダプタが必要になります。
- 構内交換機（PBX）に接続するときは、構内交換機（PBX）がナンバー・ディスプレイに対応していることを確認してください。
- ブランチ接続（並列接続）をしているときは、ナンバー・ディスプレイが正常に動作しません。
- 電話回線にガス検出器やセキュリティ装置などが接続されているときは、誤動作することがあります。



■電話番号表示機能

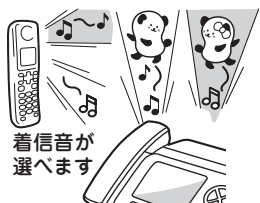
電話がかかってくると、相手の電話番号がディスプレイに表示されます。



■名前表示機能

親機と子機の電話帳に登録してある相手から電話がかかってくると、相手の名前がディスプレイに表示されます。

※ 電話帳に登録してある相手から電話がかかってきた場合は、「ネーム・ディスプレイ」のご契約にかかわらず、本機に登録された名前が表示されます。



■着信鳴り分け機能

親機では、電話番号ごとに着信音を指定できます。また、かかってきた電話番号が非通知の場合の着信音を設定することができます。

子機では、子機の電話帳に登録している相手からの着信音を設定することができます。

着信音は、次の中から指定して登録します。

- ・記憶されているベル音（親機 4 種類、子機 1 種類）
- ・着信メロディ、着信ボイス（親機 29 曲・18 ボイス、子機 6 曲）



■迷惑電話防止機能

迷惑電話などの受けたくない電話を、着信音が鳴らないようにすることができます。

■非通知着信拒否／公衆電話拒否／表示圏外着信拒否機能

相手の電話番号が非通知、公衆電話または表示圏外の場合、着信を拒否し、お断りメッセージを流します。

※ ISDN 回線をご利用のターミナルアダプタによっては、着信を拒否できない場合があります。



■着信履歴機能

電話がかかってくると、相手の電話番号を記録します。

記録した電話番号は次のように活用できます。

- ・ディスプレイに表示する
- ・「着信履歴」として印刷する（親機のみ）
- ・親機または子機の電話帳に登録する
- ・記録した電話番号に電話をかける

着信履歴は30件まで記録できます。31件以上になると、古い順に消去されます。

準備する
第1章

ご使用する前に
第2章

電話
第3章

ファックス
第4章

コピー
第5章

留守番機能
第6章

ナンバーディスプレイ
第7章

知らせるセンサー
第8章

活用する
第9章

こんなときには
第10章

付録
第11章

ナンバー・ディスプレイを利用する



□を選択するときは、下部の選択ボタンを押してください。

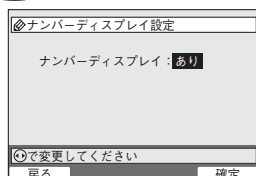
ナンバー・ディスプレイを設定する

電話会社とのご契約後、ナンバー・ディスプレイを利用するときは「あり」に、利用しないとき、または利用を一時的に中止するときは「なし」に設定します。「あり」に設定しているときは、「着信鳴り分け」「迷惑電話防止」「着信拒否」「着信拒否モニター」などが設定できます。

■ 設定する

お買い上げ時は、ナンバー・ディスプレイ「あり」に設定されています。

1 機能 [] 1 を押す



2 [] でナンバー・ディスプレイの設定を選び [確定] を押す

あり／なし

- ・「あり」
ナンバー・ディスプレイが使用できます。(NTTとのご契約が必要です。)
- ・「なし」
ナンバー・ディスプレイが使用できなくなります。「受けつけました」と表示されます。

3 停止 [] を押す

メモ

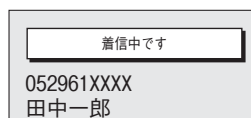
- 「なし」に設定しているときは「着信鳴り分け」「着信拒否」「着信拒否モニター」などのメニューは表示されません。
- ナンバー・ディスプレイを利用するときは呼出回数を3回以上に設定してください。2回以下に設定していると、子機のディスプレイに相手の電話番号が表示できないことがあります。「呼出回数の設定」(P.25 ページ)

■ 電話がかかってきたときは

電話がかかってくると、相手の名前や電話番号が表示されます。

1 着信音が鳴り、ディスプレイに相手の名前が表示される

電話帳に名前を登録していないときは、電話番号が表示されます。



<親機>

が けん チャクシン
タカ イロウ
052961XXXX

<子機>

●その他の表示

- ・非通知(親機) ヒツジ (子機)
相手が電話番号非通知契約のとき、電話番号の先頭に「184」を付けて電話をかけてきたとき
- ・公衆電話(親機) コウシュツ (子機)
公衆電話からかけてきたとき
- ・表示圏外(親機) ヒョウキョウ (子機)
相手がサービス対象地域外から電話をかけてきたとき、サービスの契約条件等により番号が表示できない回線からかけてきたとき
- ・161 (Fネット)
Fネットでファックスを受信したとき

注意

ナンバー・ディスプレイをご契約いただいている場合は、必ずナンバー・ディスプレイ「あり」に設定してください。ナンバー・ディスプレイ「なし」に設定すると、電話に出てもすぐに電話が切れてしまう場合があります。

メモ

- 電話帳に登録してある相手から電話がかかってきた場合は、本機に登録された名前が表示されます。また、ネーム・ディスプレイのご契約をしている場合は、電話帳に登録していなくても相手の名前を表示することもできます。
- 回線状態によって、ナンバー・ディスプレイの情報を正しく受信できない場合は「着信中です」(親機)、「がけん チャクシン」(子機) とのみ表示されます。

キャッチホン・ディスプレイを利用する

キャッチホン・ディスプレイはNTTが行っているサービスで、外線通話中にかかってきた相手の電話番号をディスプレイに表示させるサービスです。サービスの詳細についてはNTT(116: 無料)にお問い合わせください。お買い上げ時は、キャッチホン・ディスプレイ「あり」に設定されています。

注意

- 本機の設定だけでは、ディスプレイに相手の電話番号は表示されません。キャッチホン・ディスプレイをご利用いただくためには、「キャッチホン」または「キャッチホンⅡ」と「ナンバー・ディスプレイ」を別途電話会社(NTTなど)とご契約が必要です。(有料) 同時に利用できないサービスについては、ご利用の電話会社にお問い合わせください。
- ISDN回線を利用されているときは、ナンバー・ディスプレイ対応のターミナルアダプタが必要になります。
- 構内交換機(PBX)に接続しているときは、ナンバー・ディスプレイが正常に動作しません。
- ブランチ接続(並列接続)をしているときは、キャッチホン・ディスプレイが正常に動作しません。
- 電話回線にガス検出器などが接続されているときは、誤動作することがあります。
- 子機はキャッチホン・ディスプレイが10秒間表示されます。
- 通話中、キャッチホン・ディスプレイが入ると「ピポッ、ザー」とデータ通信音が聞こえ、通話が途切れます。

- 設定方法は、機能 [] 7 を押し、上記「ナンバー・ディスプレイ」設定の手順2、3と同様に操作します。



を選択するときは、
下部の選択ボタンを
押してください。

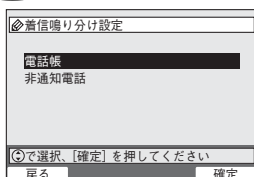
着信鳴り分けを設定する

親機では、ナンバー・ディスプレイの設定を「あり」にすると、電話帳に登録した電話番号ごとに着信音を設定することができます。また、番号非通知の電話に対して着信音を設定することもできます。
子機では、子機の電話帳に登録している相手からの着信音を設定することができます。

■ 電話帳に登録した電話番号ごとに着信音を鳴り分ける〔親機〕

お買い上げ時は、「ベル1」に設定されています。

1 機能 設定を押す



2 着信音を設定する「電話帳」「非通知電話」のどちらかを選択し [確定]を押す

- ・「電話帳」を選んだときは
電話帳に登録した電話番号ごとに着信音を設定します。
- ・「非通知電話」を選んだときは
電話番号非通知で着信したときの着信音を設定します。

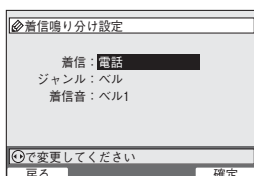
メモ

「非通知着信拒否」(P.60)の設定を「する」に設定すると、「非通知電話」で設定した着信音は鳴りません。着信音を鳴らすには、設定を「しない」にしてください。

「電話帳」を選んだときは手順3へ

「非通知電話」を選んだときは手順5へ

3 着信音を設定する電話番号を選び [確定]を押す



4 着信方法を選び [決定]を押す

電話／ファクス／迷惑指定

- ・「電話」
着信音が鳴ります。
- ・「ファクス」
着信音は鳴らず、自動的にファクスを受信します。
- ・「迷惑指定」
着信音が鳴りません。
「迷惑電話防止」(P.60ページ)

「ファクス」または「迷惑指定」を選んだときは手順7へ

5 着信音のジャンルを選び [決定]を押す

ベル4／着信ボイス12／
楽しいメロディ2／癒しのメロディ15／
季節のメロディ12／目覚ましボイス6

ジャンルは「メロディー一覧」(P.75ページ)

6 着信音を選ぶ

ベル4／メロディ29／ボイス18

着信音は「メロディー一覧」(P.75ページ)

7 [確定]を押す

「受けつけました」と表示されます。

8 [停止]を押す

メモ

- 電話帳に登録していても着信鳴り分けを設定していない相手からの電話は、「着信音の設定」(P.73ページ)で設定したベル音(メロディまたはボイス)が鳴ります。
- 「TEL1」、「TEL2」の両方に電話番号が登録されているとき、着信鳴り分けは「TEL1」のみ設定できます。「TEL2」から電話がかかってくると、「TEL1」で設定した音で鳴ります。

■ 電話帳に登録している相手からの着信音を鳴り分ける〔子機〕

1 機能 設定を押す

▶メイト・ウオンセッテイ
ハジシリレキ
チャクシシリレキ

2 着信音を選び [決定]を押す

3 着信音を選び [決定]を押す

2.チャクシシ リリワ
▲▼ センタノカケイ

4 着信音を選び [決定]を押す

▶ベル
アウ・エ・マリア
オチナルト・ケイ

ベル／アウ・エ・マリア／オチナルト・ケイ／カ・ホット／
キラキラ・シシキヨリ／ハル／ハナノワツ

5 [切]を押す

メモ

- 子機は、電話番号ごとに着信音を設定することはできません。
- 子機の電話帳に登録していない相手からの着信音は、「着信音の設定」(P.73ページ)で設定した着信音が鳴ります。

第1章
準備する

第2章
ご使用の前に

第3章
電話

第4章
ファクス

第5章
コピー

第6章
留守番機能

第7章
ナンバーディスプレイ

第8章
知らせるセンサー

第9章
活用する

第10章
こんなときには

第11章
付録

ナンバー・ディスプレイを利用する



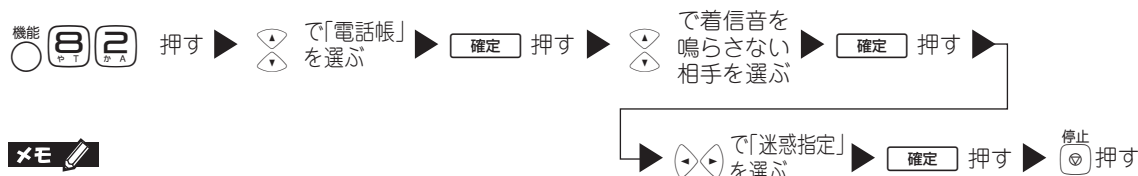
□を選択するときは
下部の選択ボタンを
押してください。

いろいろなナンバー・ディスプレイの利用のしかた（親機）

迷惑電話防止

受けたくない電話やファクスの着信音を鳴らないようにします。

迷惑電話として設定したい電話番号を電話帳に登録する必要があります。「電話帳の登録」（☎37ページ）
電話帳から該当の電話番号を消去すると、機能が解除されます。「履歴からの登録/電話帳の変更・消去」（☎39ページ）



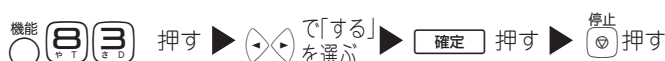
メモ

- 電話がかかってきたときは
着信音は鳴りませんが、親機のディスプレイには相手の名前または電話番号が表示されます。
- 相手の電話は
呼び出し中、通常の呼出音が聞こえます。
- 設定を変更するときは
「着信鳴り分けを設定する」（☎59ページ）

非通知着信拒否

番号非通知の着信を拒否してお断りのメッセージを流します。

お買い上げ時は「しない」に設定されています。



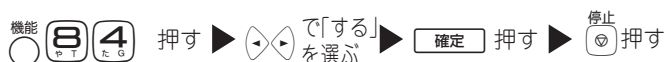
メモ

- 電話がかかってきたときは
着信音を鳴らさずに電話を受け
「恐れ入りますが、電話番号の前に186を付けて電話番号を通知しておかけ直してください。」
のメッセージを3回流したあと自動的に電話を切ります。
- 親機のスピーカーからは
着信拒否メッセージと相手の声を聞くことができます。（☎61ページの着信拒否モニター参照）
- ファクスを受信したときは
自動的に電話を切り、ファクスは受信しません。

公衆電話拒否

公衆電話からの着信を拒否してお断りのメッセージを流します。

お買い上げ時は「しない」に設定されています。



メモ

- 電話がかかってきたときは
着信音を鳴らさずに電話を受け
「公衆電話からおかけになった電話は、都合によりお受けできません。」
のメッセージを3回流したあと自動的に電話を切ります。
- 親機のスピーカーからは
着信拒否メッセージと相手の声を聞くことができます。（☎61ページの着信拒否モニター参照）



ナンバー・ディスプレイ
の設定を「あり」にする必要が
あります。
「ナンバー・ディスプレイを
設定する」（☎58ページ）



番号を選択するときは、
下部の選択ボタンを
押してください。

表示圏外着信拒否

表示圏外からの電話の着信を拒否してお断りのメッセージを流します。

お買い上げ時は「しない」に設定されています。

機能 押す ▶ で「する」を選ぶ ▶ 押す ▶ 押す

メモ

● 表示圏外着信とは

ナンバー・ディスプレイサービスを行っていない地域や、サービスの契約条件等により番号が表示できない回線からの着信です。ナンバー・ディスプレイに対応していないIP電話サービス会社からの着信なども表示圏外になります。

例：一部の国際電話、フェリー、新幹線の列車公衆からの着信など

● 電話がかかってきたときは

着信音を鳴らさずに電話を受け

「恐れ入りますが、この電話はおつなぎできません。」

のメッセージを3回流したあと自動的に電話を切ります。

● 親機のスピーカーからは

着信拒否メッセージと相手の声を聞くことができます。（表内下記の着信拒否モニター参照）

● ファクスを受信したときは

自動的に電話を切り、ファクスは受信しません。

着信拒否モニター

非通知、公衆電話、表示圏外の着信拒否メッセージと相手の声を聞くことができます。

お買い上げ時は「しない」に設定されています。

機能 押す ▶ で「する」を選ぶ ▶ 押す ▶ 押す

メモ

着信拒否メッセージが聞こえている間は

受話器をとって電話に出ることができます。



準備する
第1章

ご使用する前に
第2章

電話
第3章

ファクス
第4章

コピー
第5章

留守番機能
第6章

ナンバーディスプレイ
第7章

知らせるセンサー
第8章

活用する
第9章

こんなときには
第10章

付録
第11章

ナンバー・ディスプレイを利用する

ネーム・ディスプレイを利用する（親機）

ネーム・ディスプレイはNTTが行っているサービスで、電話がかかってきたときに相手の名前、電話番号を本機の電話帳に登録していなくてもディスプレイに表示されます。サービスの詳細についてはNTT（116：無料）にお問い合わせください。ネーム・ディスプレイはナンバー・ディスプレイの設定を「あり」にする必要があります。「ナンバー・ディスプレイを設定する」（※58ページ）

子機には対応していません。

かける人

① 相手の電話番号をダイヤル



03-1234-5678
ブラザー太郎

電話をかけるときに、「発信者名」が発信電話番号とともに相手の電話機に表示されるので、安心して電話に出てもらえます。

ご自分の「発信者名」を通知するには

NTT東日本・NTT西日本にお申し込みください。費用はかかりません。

② 発信者番号と「発信者名」を通知



受ける人

③ 発信電話番号とともに「発信者名」を表示



電話に出る前に、かけてきた相手の「発信者名」が発信電話番号とともに、電話機に表示されるので、安心して電話に出ることができます。

「発信者名」をご自分の電話機に表示させるには

「ネーム・ディスプレイ」、「ナンバー・ディスプレイ」のご契約が必要です。NTT東日本・NTT西日本にお申し込みください。

※E

● 提供地域

全国（NTT 東日本、NTT 西日本のサービス提供地域）
※一部交換機の種類などにより提供できない地域があります。

● 発信者名を表示する通話

NTT 東日本および NTT 西日本の契約者回線から発信され、発信者名を通知する通話について発信者名を通知します。なお、発信者のお客様が「マイライン」でどの会社を選択されていても発信者名を表示します。

● 表示される文字

10 文字以内の漢字などで発信者名が表示されます。

● 料金

月額使用料：住宅用、事務用とも税込 105 円（INS ネット 1500 については税込 1,050 円）

※別に、「ナンバー・ディスプレイ」のご契約が必要です。

（参考）ナンバー・ディスプレイ料金（2008年9月現在）

(1) 月額使用料	加入電話、ライトプラン	税込420円(住宅用)、税込1,260円(事務用)
	INSネット64、INSネット64ライト	税込630円(住宅用)、税込1,890円(事務用)
	INSネット1500	税込18,900円
(2) 工事料		税込2,100円

お問い合わせ・お申し込みは

局番なしの「116：無料」

受付時間 午前9時 ～ 午後9時

（年末年始を除き、土日・祝日も営業しております）

履歴を利用する



□を選択するときは
下部の選択ボタンを
押してください。

着信履歴を利用する

着信履歴を利用するためには、ナンバー・ディスプレイのご契約が必要です。「ナンバー・ディスプレイとは」(P57 ページ)

- 最近かかってきた着信履歴が30件まで記憶されています。
- 着信履歴を利用して電話をかけることができます。また、着信履歴から電話帳を登録「着信履歴から登録する」(P39 ページ)したり、着信履歴を印刷「いろいろなレポート、リストの印刷のしかた」(P80 ページ)することができます。
- ナンバー・ディスプレイの契約をしていない、または設定を「なし」にしているときも履歴として着信のあった日時を確認することができます。
- 着信履歴がないときは、「着信履歴がありません」(親機)または「チャックリナ」(子機)と表示されます。
- 操作を中止するときは、**停止** (親機)または**切** (子機)を押します。
- 留守中や気付かない間に着信があった場合、親機のディスプレイに「着信あり：xx件 [着信履歴]を押してください」と表示されます。表示を消すときは、着信履歴を確認するか、待ち受け画面で**停止** (親機)を押します。

着信履歴を見る

親機	着信履歴 押す → 停止 で履歴を見る → 停止 押す メモ ● ナンバー・ディスプレイの契約をしていない、または設定を「なし」にしているときは「---」と表示され、履歴として着信のあった日時のみ確認することができます。 ● 回線状態によってナンバー・ディスプレイ情報を正しく受信できなかったときは「---」と表示されます。
子機	外線 消灯していることを確認 → キャッチ 押す → 切 で履歴を見る → 切 押す

着信履歴から電話する

親機	着信履歴 押す → 停止 で電話する履歴を選ぶ → 受話器をとる → スタート/コピー 押す
子機	外線 消灯していることを確認 → キャッチ 押す → 切 で電話する履歴を選ぶ → 外線 押す

着信履歴を1件ごと消去する

親機	着信履歴 押す → 停止 で消去する履歴を選ぶ → 消去/キャッチ 押す → はい 押す → 停止 押す
子機	外線 消灯していることを確認 → 機能 押す → 切 で「チャックリナ」を選ぶ → 機能 押す → 切 で消去する履歴を選ぶ → 機能 押す → 切 で「チャックリナ」を選ぶ → 機能 押す → 1 ア 押す → 切 押す メモ 着信履歴は、キャッチ を押しても表示することができます。

着信履歴をすべて消去する

親機	機能 停止 押す → はい 押す → 停止 押す
子機	外線 消灯していることを確認 → 機能 押す → 切 で「チャックリナ」を選ぶ → 機能 押す → 機能 押す → 切 で「チャックリナ」を選ぶ → 機能 押す → 1 ア 押す

準備する 第1章

ご使用する前に 第2章

電話 第3章

ファックス 第4章

コピー 第5章

留守番機能 第6章

ナンバーディスプレイ 第7章

知らせるセンサー 第8章

活用する 第9章

こんなときには 第10章

付録 第11章

履歴を利用する



を選択するときには、下部の選択ボタンを押してください。

発信履歴を利用する

ナンバー・ディスプレイの契約をしていなくても、発信履歴は利用することができます。

- 最近かけた発信履歴が親機と子機にそれぞれ10件まで記憶されています。
- 発信履歴を利用して電話をかけることができます。また、発信履歴から電話帳を登録「発信履歴から登録する」(P.39ページ) することができます。
- 操作を中止するとき、 (親機) または (子機) を押します。

発信履歴を見る

親機	発信履歴 押す → で履歴を見る → 押す 繰り返すとき → 押す
子機	(外線) 消灯していることを確認 → 発信履歴 押す → で履歴を見る → 押す 繰り返すとき → 押す

発信履歴から電話する

親機	発信履歴 押す → で電話する履歴を選ぶ → 受話器をとる → スタート/コピー 押す
子機	(外線) 消灯していることを確認 → 発信履歴 押す → で電話する履歴を選ぶ → (外線) 押す

発信履歴を1件ごと消去する

親機	発信履歴 押す → で消去する履歴を選ぶ → 消去/キャッチ 押す → はい 押す → 停止 押す 繰り返すとき → 停止 押す
子機	(外線) 消灯していることを確認 → 機能 押す → で「ハッパル」を選ぶ → 機能 押す → で消去する履歴を選ぶ → 機能 押す → で「1」を選ぶ → 機能 押す → 1 押す → 押す 繰り返すとき → 押す

発信履歴をすべて消去する

子機	(外線) 消灯していることを確認 → 機能 押す → で「ハッパル」を選ぶ → 機能 押す → 機能 押す → で「1」を選ぶ → 機能 押す → 1 押す
----	---



知らせるセンサーを利用する

知らせるセンサーとは

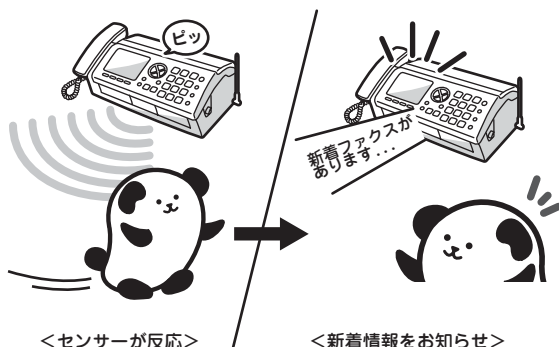
親機に内蔵されたセンサーが、家族を検知していろいろなお知らせをしてくれるコミュニケーション機能です。知らせるセンサーは「新着情報のお知らせ」機能と「お出かけ前に設定する」機能の2つに分けることができます。着信中、通話中、ファクス送受信中など回線使用中は、知らせるセンサーは機能しません。

●新着情報のお知らせ機能は、以下の新着情報があるときに、知らせるセンサーが人を感知すると、ディスプレイ表示、アラーム音、音声メッセージなどでお知らせをします。

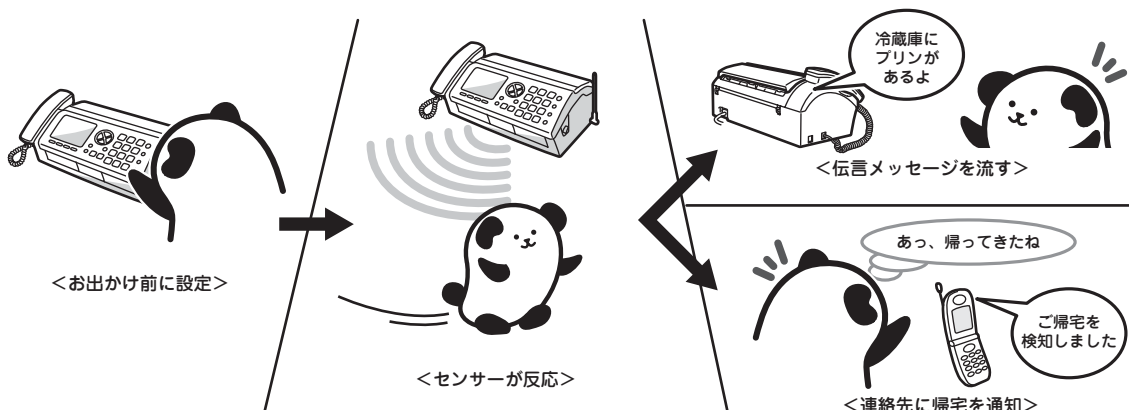
- ・着信があったとき
- ・新着のファクス（みるだけ受信）があるとき
- ・未再生の録音メッセージがあるとき
- ・リボン切れ
- ・リボン残量が少ないとき

メモ

おかえり伝言、帰宅通知のどちらかが設定されているときは、動作終了後に新着情報のお知らせをします。



●お出かけ前に設定する機能は、知らせるセンサーが帰宅した家族を検知すると、自動的に伝言メッセージを流したり（おかえり伝言）、連絡先の電話番号に通知（帰宅通知）します。

第1章
準備する第2章
ご使用の前に第3章
電話第4章
ファクス第5章
コピー第6章
留守番機能第7章
ナビダイヤル第8章
知らせるセンサー第9章
活用する第10章
こんなときには第11章
付録

知らせるセンサーを設定する

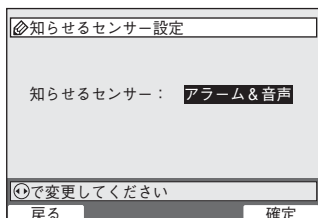


□を選択するときは、下部の選択ボタンを押してください。

知らせるセンサーの設定

新着情報のお知らせ方法を選べます。

1 機能 ①を押す



2 でお知らせ方法を選ぶ

■ アラーム&音声を選択したとき

- ①アラームが鳴る
- ②ディスプレイが光る
- ③音声ガイダンスが流れる

■ アラームのみを選択したとき

- ①アラームが鳴る
- ②ディスプレイが光る

■ 使用しないを選択したとき

知らせるセンサーの設定が解除されます。

3

確定を押す

「受けつけました」と表示されます。

4

停止を押す。

設定を終了します。

新着情報のお知らせ

親機がいずれかのお知らせ条件を満たしているとき、知らせるセンサーが家族に反応して、上記の設定に応じた方法で新着情報をお知らせします。

優先順位	お知らせ条件	ディスプレイ表示	音声ガイダンス (初期設定：あり)
	リボンが切れたとき	リボン（品番：PC-551）がありません！ 上カバーを開け新しいリボンのたるみを取りセットしてください	「インクリボンがなくなりました」
	メモリー残量が不足したとき	メモリーが無くなりました！ [ファクス一覧]を押して、ファクスを選択、[表示]で確認後、消去してください	「メモリーがいっぱいになりました」
		メモリーが無くなりました！ 再生ボタンでメッセージを確認後、消去ボタンで消去してください	
	メモリー残量が不足したとき	メモリーが少なくなりました [ファクス一覧]を押して、ファクスを選択、[表示]で確認後、消去してください	「メモリー残量が少なくなりました」
		メモリーが少なくなりました 再生ボタンでメッセージを確認後、消去ボタンで消去してください	
	新着のファクス（見るだけ受信）があったとき	新着ファクスがあります [ファクス一覧]を押してください	「新しいファクスが（XX件）あります」
	着信があったとき	着信あり：XX件 [着信履歴]を押してください	「着信履歴が（XX件）あります」



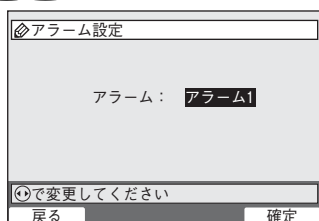
□を選択するときは、
下部の選択ボタンを
押してください。

優先順位	お知らせ条件	ディスプレイ表示	音声ガイダンス (初期設定：あり)
	新しい録音メッセージがあったとき		「新しいメッセージが (XX件) あります」
	リボン残量が少ないとき		「インクリボンの残量が 少なくなりました」

お知らせアラームの鳴りかたを設定する

センサーが人を感知したときのお知らせアラームの鳴りかたが選べます。

1 機能 [設定] を押す



2 音量でアラーム音を選ぶ

3 確定を押す 「受けつけました」と表示されます。

4 停止を押す。 設定を終了します。

お知らせアラームの音量を設定する

お知らせアラームや音声ガイダンスの音量が4段階から選べます。

1 機能 [設定] を押す



2 音量で音量を選ぶ

3 確定を押す 「受けつけました」と表示されます。

4 停止を押す。 設定を終了します。

第1章
準備する

第2章
ご使用する前に

第3章
電話

第4章
ファックス

第5章
コピー

第6章
留守番機能

第7章
ナビゲーション

第8章
知らせるセンサー

第9章
活用する

第10章
こんなときには

第11章
付録

知らせるセンサーを設定する

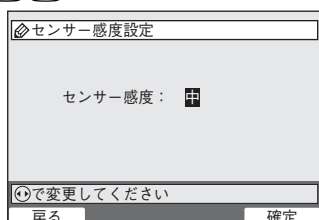


□を選択するときは
下部の選択ボタンを
押してください。

知らせるセンサーの感度を設定する

知らせるセンサーの感度は、「弱、中、強」から選べます。感度を強くすると検知範囲が広がります。お買い上げ時は「中」に設定されてます。

1 機能 [SW] [4] を押す



2 方向キーで感度を選ぶ

3 確定を押す

「受けつけました」と表示されます。

4 停止を押す。

設定を終了します。

センサー
感度の目安は
「センサー検知範囲」
(※69ページ)
を参照して
ください。



知らせるセンサーの反応をテストする

知らせるセンサーの反応をテストすることができます。

1 機能 [SW] [5] を押す



知らせるセンサーが感知すると、「ピーッ!」と音が鳴ります。

2 停止を押す。

テストを終了します。

お知らせ回数を設定する

知らせるセンサーのお知らせ回数（センサーが検知する回数）は、「1回、2回、3回」から選べます。お買い上げ時は「1回」に設定されています。

1 機能 [SW] [6] を押す

2 方向キーで感度を選ぶ

3 確定を押す

「受けつけました」と表示されます。

4 停止を押す。

設定を終了します。

センサー検知範囲

検知範囲は以下の通りです。親機の正面には物などを置かないでください。誤動作の原因になります。また周囲の温度が高く、人や動物との体温の差が小さいときは、感知できない場合があります。
親機は、床から30cm以上の高さで、クーラーの風や直射日光などがあたらない場所に設置してください。

■上面から見た検知範囲（左右方向）	■側面から見た検知範囲（上下方向）

メモ

● センサー検知範囲の目安は

床から約70cmの位置に設置した場合、約25℃の室温でおよそ0～2m程度です。実際の感度は、設置場所の温度や大人・子供など対象によって異なります。反応しすぎる場合や、もう少し反応してほしい場合などは、センサーの感度を調節してください。

「知らせるセンサーの感度を設定する」(P.68 ページ)

● センサー機能上の制約について

ペットなど体温をもった動くものにも反応することがあります。



準備する
第1章

ご使用の前に
第2章

電話
第3章

ファクス
第4章

コピー
第5章

留守番機能
第6章

ナビゲーション
第7章

知らせるセンサー
第8章

活用する
第9章

こんなときには
第10章

付録
第11章

知らせるセンサーを設定する

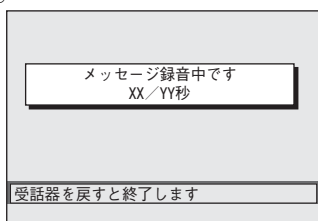


□を選択するときは、下部の選択ボタンを押してください。

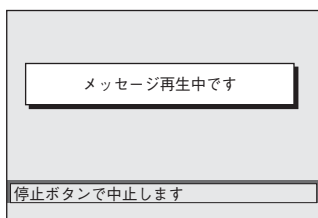
おかえり伝言を設定する

伝言メッセージを録音すると、知らせるセンサーが自動的に起動します。
伝言メッセージは一度再生されると終了します。必要に応じてお出かけ前に設定してください。
伝言メッセージの録音時間は、留守番機能のメッセージ録音時間と連動しています。(※52ページ)
伝言メッセージの音量は、お知らせアラーム音量と連動しています。(※67ページ)

- 1 **「おかえり伝言」を押す**
 メッセージ録音
 ↓
 (約2秒経過)
 受話器をお取りください
- 2 **受話器をとる**
 スタートボタンで録音を開始します
- 3 **スタート/コピーを押してメッセージを録音する**

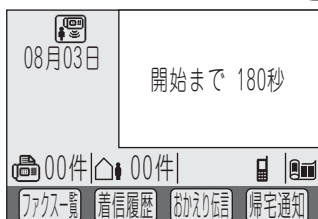


- 4 **終了したら受話器を戻す**



「受けつけました」と表示され、録音内容が自動的に再生されます。

- 5 **メッセージ再生が終了または^{停止}を押す**

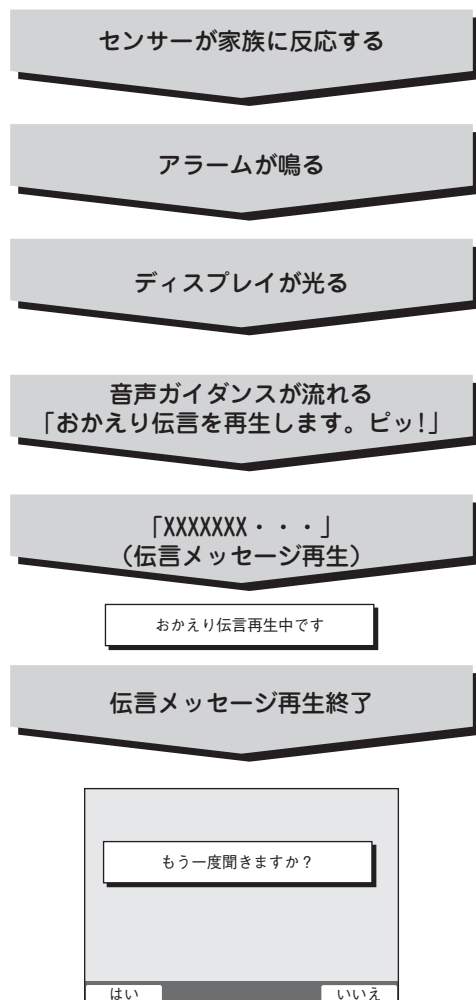


センサー起動（モニター監視）までのカウントダウンが始まります。

メモ

- **設定を解除するときは**
おかえり伝言設定後、カウントダウン中に「おかえり伝言」を押してください。
- **帰宅通知と同時に設定するときは**
おかえり伝言設定後、カウントダウン中に帰宅通知の設定をしてください。

■ センサー起動後の流れ



「いいえ」または^{停止}を押すか何もしないで約3分が経過すると設定が解除され、伝言メッセージは消去されます。



を選択するときは
下部の選択ボタンを
押してください。

帰宅通知を設定する

連絡先の電話番号を設定するとセンサーが自動で起動します。

入力できる電話番号の桁数は、最大で20桁です。

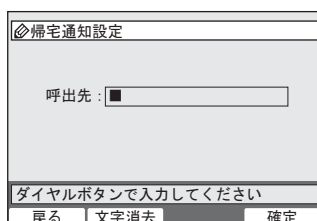
連絡先の電話番号は、発信履歴には残りません。

帰宅通知は一度実行されると終了します。必要に応じてお出かけ前に設定してください。

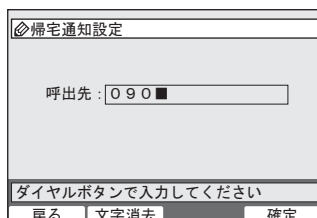
注意

- 帰宅通知には電話回線を使用しますので、通話料金がかかります。
- 本機能は、帰宅通知以外の目的（防犯およびその他の目的）に使用しないでください。
- 事前にご家族の了解を得た上でのご使用をお勧めします。

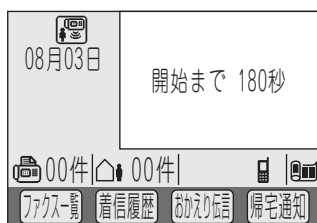
1 「帰宅通知」を押す



2 電話番号を入力する



3 「確定」を押す

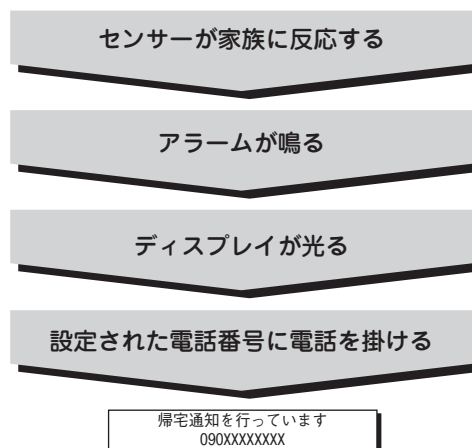


「受けつけました」と表示され、センサー起動（モニター監視）までのカウントダウンが始まります。

メモ

- 設定を解除するときは
帰宅通知設定後、カウントダウン中に「帰宅通知」を押してください。
- おかえり伝言と同時に設定するときは
帰宅通知設定後、カウントダウン中におかえり伝言の設定をしてください。

■ センサー起動後の流れ



メモ

相手先につながらなかったときは
再ダイヤルします。再ダイヤルは連続で3回行われ、3
回目でもつながらなかった場合は帰宅通知は行われ
ません。



メモ

「ご帰宅を検知しました」とメッセージが流れた後、
10秒以内に本機の手話器をとると、相手先と通話す
ることができます。



第1章
準備する

第2章
ご使用の前に

第3章
電話

第4章
ファクス

第5章
コピー

第6章
留守番機能

第7章
バーレーンプレイ

第8章
知らせるセンサー

第9章
活用する

第10章
こんなときには

第11章
付録

操作ガイド



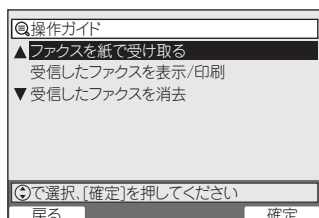
□を選択するときは
下部の選択ボタンを
押してください。

操作ガイドを見る

操作方法を画面で確認することができます。

1  を同時に押す

2  で見たい内容を選ぶ



〈操作項目一覧〉

ファクスを紙で受け取る
受信したファクスを表示/印刷
受信したファクスを消去
ファクスの送り方
留守番機能を使う
音声メッセージを確認
よく使う機能一覧

3  を押す

選択した操作ガイドが表示されます。

- ・  を押すと、操作項目一覧になります。
- ・  を押すと、次の画面になります。
- ・  を押すと、1つ前の画面に戻ります。

4  を押す。

待ち受け画面に戻ります。

着信音と保留音を設定する



設定ボタンを押すときは、下部の選択ボタンを押してください。

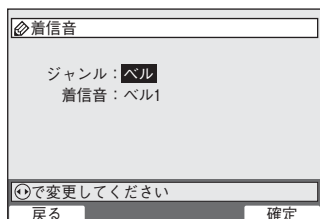
着信音の設定

着信したときの着信音の鳴りかたを設定します。

親機

- お買い上げ時は、ジャンル「ベル」、曲「ベル1」に設定されています。
- 受話器を置いた状態で設定できます。

1 機能 [7] 1 を押す



現在選択されている着信音が表示されます。

2 方向キーでジャンルを選ぶ

ジャンルについて「メロディー覧」(P.75ページ)

ベル4 / 着信ボイス12 /
楽しいメロディ2 / 癒しのメロディ15 /
季節のメロディ12 / 目覚ましボイス6

3 確認キーを押す

4 方向キーで着信音を選ぶ

着信音について「メロディー覧」(P.75ページ)

ベル1~4 / メロディ・ボイス1~47(曲名・ボイス)

5 確定キーを押す

「受けつけました」と表示されます。

6 停止キーを押す

子機

- お買い上げ時は、「ベル」に設定されています。
- 着信音として利用できるのは「ベル / メロディ1~6」のみです。
- 充電器に置いているとき、または「外線」が消灯しているときに設定できます。

1 機能 [設定] を押す

▶ メイト・ウオンセッテイ
ハクシンリレキ
チャクシンリレキ

2 十字キーで「メイト・ウオンセッテイ」を選び機能 [設定] を押す

3 十字キーで「1.チャクシンオン」を選び機能 [設定] を押す

1.チャクシンオン
▲▼ センタク/カクテイ

4 十字キーで着信音を選び機能 [設定] を押す

▶ ベル
アウエ・マリア
オオキナフルト・ケイ

ベル / アウエ・マリア / オオキナフルト・ケイ /
ガホット / キラキラホシ / シンキョリ [ベル] / ハナノワルツ

5 切キーを押す

メモ

呼出回数を0回に設定していると、親機はメロディまたはボイスに設定していても外線が再呼び出しに切り替わるとベル音(再呼び出し音)が鳴ります。着信音をメロディにしたいときは、呼出回数を3回以上に設定してください。「呼出回数設定」(P.25ページ)

お願い

構内交換機(PBX)やターミナルアダプタなどに接続している場合で、着信音を「ベル1」に設定しているときは、メニュー選択時に聞こえる「ベル1」の音と異なるベル音が鳴ることがあります。

第1章
準備する

第2章
ご使用の前に

第3章
電話

第4章
ファックス

第5章
コピー

第6章
留守番機能

第7章
ナビゲーション

第8章
知らせるセンサー

第9章
活用する

第10章
こんなときには

第11章
付録

着信音と保留音を設定する



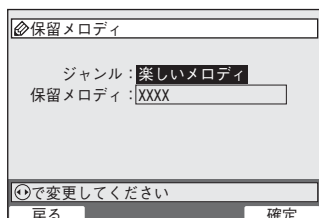
□を選択するときは、下部の選択ボタンを押してください。

保留音の設定（親機）

保留音のメロディを設定します。お買い上げ時は、「花のワルツ」に設定されています。

- 親機で設定した保留音が子機の保留音になります。
- 受話器を置いた状態で設定してください。

1 機能 [F] [E] を押す



2 方向キーでジャンルを選ぶ

ジャンルについて「メロディー一覧」(P.75ページ)・目覚ましボイス・ベル・着信ボイスは、保留音に設定することができません。

楽しいメロディ2／癒しのメロディ15／
季節のメロディ12

3 上向き矢印キーを押す

4 方向キーで保留音を選ぶ

保留音について「メロディー一覧」(P.75ページ)・ディスプレイには曲名が表示されます。

メロディ1～29(曲名)

5 [確定] キーを押す

「受けつけました」と表示されます。

6 [停止] キーを押す



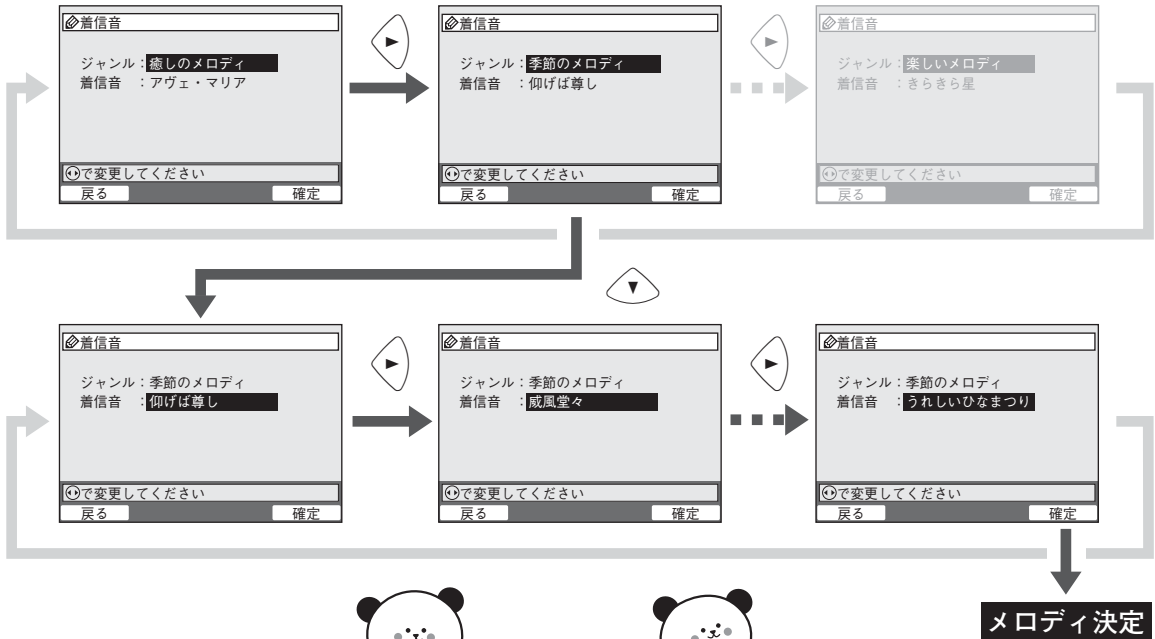


□を選択するときは、
下部の選択ボタンを
押してください。

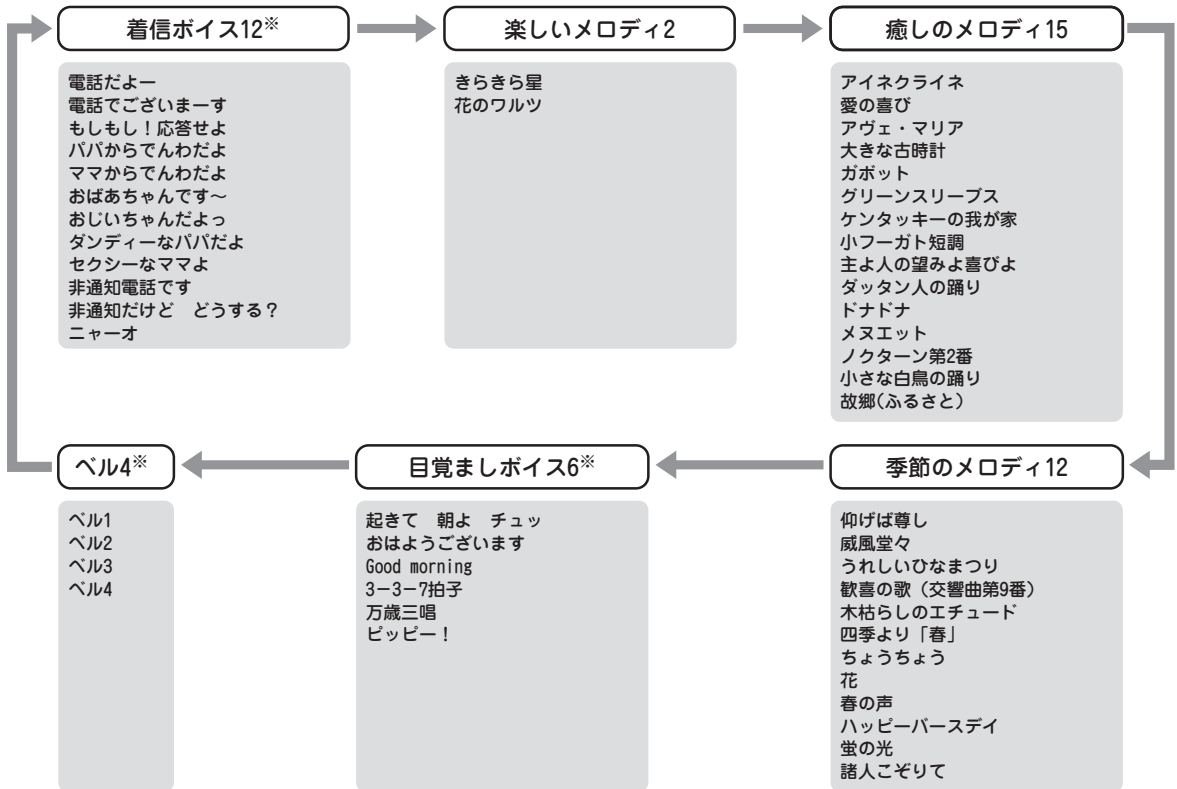
■ メロディの選びかた

例として、現在設定されている「アヴェ・マリア」を「うれしいひなまつり」に変更する手順は次のとおりです。

メロディ選択画面（着信音の場合）



■ メロディー一覧



□ = ジャンル □ = メロディ

※保留音に設定することはできません

第1章
準備する

第2章
ご使用の前に

第3章
電話

第4章
ファックス

第5章
コピー

第6章
留守番機能

第7章
ナビディスプレイ

第8章
知らざるセンサー

第9章
活用する

第10章
こんなときには

第11章
付録

第12章
索引

75

音量を設定する



□を選択するときは
下部の選択ボタンを
押してください。

着信音量・受話音量、スピーカー音量、ボタン確認音量を設定します。

着信音量を設定する		着信したときのベルやメロディ・ボイス、内線呼出の音量を設定します。
親機	押し ▶ で設定する	● 設定するときは 待ち受け画面のときに設定できます。 ● お買い上げ時は 「2段階目」に設定されています。 音量は0FFと4段階の調整ができます。 ● 2秒間操作しないときは 元の画面に戻ります。 ● 「0FF」に設定したときは ディスプレイに「着信音をOFFにしました」と表示されます。 ● 「0FF」に設定していても 自動着信したあと相手の電話を知らせる「トゥルッ、トゥルッ」というベル音と内線や取り次ぎの着信音は最小音量で鳴ります。
子機	押し ▶ で設定する	● 設定するときは 充電器に置いているとき、または (外線)が消灯しているときに設定できます。 ● お買い上げ時は 「3段階目」に設定されています。 音量は0FFと4段階の調整ができます。 ● 2秒間操作しないときは 元の画面に戻ります。 ● 「0FF」に設定したときは ディスプレイに「」が表示されます。 ● 「0FF」に設定していても 内線や取り次ぎの着信音は最小音量で鳴ります。
受話音量を設定する		受話器や子機を持って通話するときの音量を設定します。
親機	通話中 押し ▶ で設定する	● 設定するときは 受話器で通話中のときに設定できます。 ● お買い上げ時は 「1段階目」に設定されています。音量は3段階の調整ができます。 ● 2秒間操作しないときは 元の画面に戻ります。
子機	通話中 押し ▶ で設定する	● 設定するときは 子機で通話中のときに設定できます。 ● お買い上げ時は 「2段階目」に設定されています。 音量は4段階の調整ができます。 ● 2秒間操作しないときは 元の画面に戻ります。 ● 通話中に「キーン」という音がしたときは ハウリングが発生しています。 音量を下げてご使用ください。
モニター音量を設定する		モニターの音量や留守録モニターの音量を設定します。
親機	オンフック 押し ▶ 押し ▶ で設定する	● 設定するときは 「ツー」という音が聞こえているときに設定できます。 ● お買い上げ時は 「2段階目」に設定されています。音量は0FFと4段階の調整ができます。 ● 2秒間操作しないときは 元の画面に戻ります。 ● 「0FF」に設定していても オンフック を押すと最小音量で「ツー」という音が聞こえます。
子機	押し ▶ 押し ▶ で設定する	● 設定するときは ()を押して「ツー」という音が聞こえているとき、 またはスピーカーホンで通話中のときに設定できます。 ● お買い上げ時は 「2段階目」に設定されています。 音量は4段階の調整ができます。 ● 2秒間操作しないときは 元の画面に戻ります。 ● 通話中に「キーン」という音がしたときは ハウリングが発生しています。音量を下げてご使用ください。
ボタン確認音量を設定する		ボタンを押したときの音量、ファクス送受信時に「ピー」というブザーの音量を設定します。
親機	機能 押し ▶ 押し ▶ で設定する ▶ 1分以内に 押し ▶ 押し	● お買い上げ時は 「小」に設定されています。音量は「切／小／中／大」で設定できます。 ● 設定音量は 設定中のボタン音で確認できます。 ● 1分以内に を押さないときは 元の音量のままで元の画面に戻ります。 を押さずに を押したときも同様です。
子機	機能 押し ▶ 機能 押し ▶ で「3.おたかニカ」を選ぶ ▶ 機能 押し ▶ で設定する ▶ 機能 押し ▶ 押し	● 設定するときは 子機を充電器に置いているとき、または (外線)が消灯しているときに設定できます。 ● お買い上げ時は 「ON」に設定されています。 音量は「ON／OFF」で設定できます。

モーニングアラームを設定する（親機）



□を選択するときは下部の選択ボタンを押してください。

モーニングアラームの設定

設定した時刻に指定したメロディや目覚ましボイスを約3分間鳴らします。

- 3分以内に2つ以上のアラームを設定したときは、最初のメロディまたはボイスが鳴っている途中で次のメロディまたはボイスに切り替わります。また、同一時刻に2つ以上のアラームを設定したときは、若いアラーム番号が有効になります。途中で中止するときは操作パネルのいずれかのボタンを押します。
- お買い上げ時は、「OFF」に設定されています。
- 子機には、この機能はありません。

■ 設定する

- 1 機能 [7] [3] を押す
- 2 設定するアラームを選び [確定] を押す
- 3 ③で「ON」を選び、④を押す
- 4 メロディまたはボイスを鳴らす時刻を指定する
 時刻を4桁（24時間制）で入力します。
 ・午前9時5分のとき：[0][9][0][5]
 ・午後3時45分のとき：[1][5][4][5]
- 5 ③でメロディまたはボイスを鳴らす間隔を選び [確定] を押す

- ・「毎日」：指定した時刻に毎日鳴ります。
- ・「1回のみ」：指定した時刻に1回のみ鳴ります。
- ・「平日（月～金）」：月～金曜日まで指定した時刻に鳴ります。
- ・「月～土」：月～土曜日まで指定した時刻に鳴ります。
- ・「土日」：土、日曜日に指定した時刻に鳴ります。
- ・「月曜日のみ/…/日曜日のみ」：毎週、指定した曜日、時刻に鳴ります。

- 6 ③でジャンルを選び、⑤を押す
 ジャンルについて「メロディー一覧」（P.75ページ）

ベル1/着信ボイス12/
楽しいメロディ2/癒しのメロディ15/
季節のメロディ12/目覚ましボイス6

- 7 ③でメロディまたはボイスを選び [確定] を押す
 メロディまたはボイスについて「メロディー一覧」（P.75ページ）

ベル1/メロディ・ボイス1～47(曲名・ボイス)

- 8 ③で音量を選び [確定] を押す
 ・音量は4段階の調整ができます。
 ・「受けつけました」と表示されます。

- 9 停止 ⑥を押す
 ⑦を表示します。

■ 解除する

- 1 機能 [7] [3] を押す
- 2 設定解除したいアラームを選び [確定] を押す
- 3 ③で「OFF」を選び [確定] を押す
 「受けつけました」と表示されます。
- 4 停止 ⑥を押す
 ⑦の表示が消えます。（3つのアラームがすべてOFFのとき）



お願い

電源コードを抜いたり停電になったあと、数時間経過するとモーニングアラームの設定は「OFF」になります。もう一度設定し直してください。

メモ

モーニングアラームの指定時刻に電話、通信、設定などをしているときは操作が終了してからメロディまたはボイスが鳴ります。

第1章
準備する

第2章
ご使用の前に

第3章
電話

第4章
ファックス

第5章
コピー

第6章
留守番機能

第7章
ナビゲーション

第8章
知らせるセンサー

第9章
活用する

第10章
こんなときには

第11章
付録

おやすみモードを設定する（親機）



□を選択するときは下部の選択ボタンを押してください。

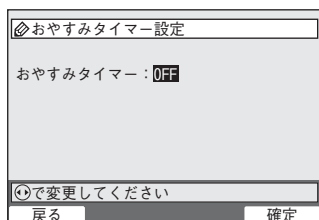
おやすみモードを設定すると、就寝中など設定した時間帯に着信があっても、親機・子機共に着信音を鳴らないようにすることができます。

- おやすみモードには、事前にタイマーを設定して毎日自動的に設定される方法と、必要なときに手動でおやすみモードを設定する方法があり、必要に応じて使い分けることができます。
- おやすみモード中は、が点灯し、「留守モード」(P.49 ページ) がセットされますので、着信が電話のときは相手に留守応答メッセージが流れ、ファクスのときは自動受信します。
- おやすみモード中でも、モーニングアラームは鳴ります。

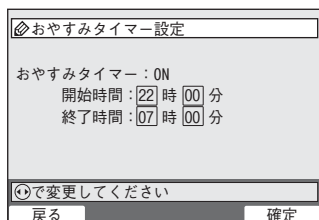
おやすみタイマーの設定

- お買い上げ時は、「OFF」に設定されています。

1 を押す



2 で「ON」を選び を押す



3 おやすみモードを設定する時間帯を指定する

開始時間と終了時間をそれぞれ設定してください。

時間は4桁（24時間制）で入力します。

- ・午前9時5分のとき：
- ・午後3時45分のとき：

4 を押す

「受けつけました」と表示されます。

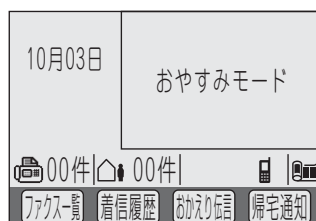
5 を押す

設定を終了します。

手動でおやすみモードを設定する

1 と を同時に押す

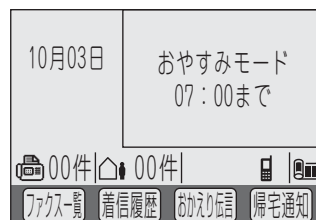
「おやすみモードを設定しました」と表示され、おやすみモードが設定されます。



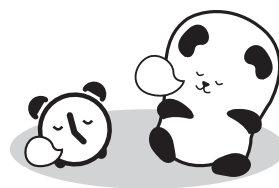
おやすみモード中は留守モードがセットされ、着信音は鳴りません。

メモ

- おやすみタイマーが設定されているときは設定したおやすみモード終了時間が表示されます。



- 解除するときはおやすみモード中に再度 と を同時に押してください。



レポート、リストを印刷する



□を選択するときは
下部の選択ボタンを
押してください。

送受信の結果や設定の内容などを印刷して確認できます。

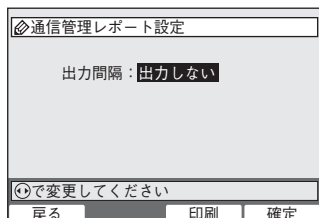
通信管理レポート

最近送受信した30件分の通信結果を印刷します。
お買い上げ時は、「出力しない」に設定されています。

■ すぐに印刷するとき

- 1 記録紙をセットする
 - ・「記録紙の準備」(P.10ページ)
 - ・「原稿・記録紙について」(P.48ページ)

- 2 機能キー(5)を押す



- 3 印刷キーを押す

- 4 開始キーを押す

- 5 停止キーを押す

メモ

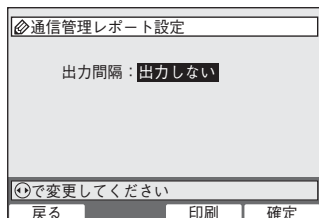
ケータイ通話お得サービスで設定した事業者識別番号 (P.27ページ) やIP電話解除番号 (P.27ページ) は通信管理レポートに表示されません。

■ 出力間隔を設定するとき

メモ

定期的に通信管理レポートが印刷されると、レポートの内容はメモリーから消去されます。

- 1 機能キー(5)を押す

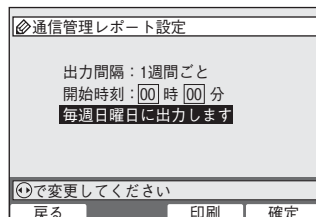


- 2 方向キーで通信管理レポートの出力間隔を選ぶ

出力しない／6時間ごと／12時間ごと／
24時間ごと／2日ごと／1週間ごと／
30件ごと

手順2で「一週間ごと」を選んだとき

- 3 方向キーを押して開始時刻を指定する
時間は24時間制で入力します。



- 4 方向キーで出力する曜日を選び「確定」を押す
「受けつけました」と表示されます。

- 5 停止キーを押す
設定を終了します。

手順2で「6/12/24時間ごと」、「2日ごと」を選んだとき

- 3 方向キーを押して開始時刻を指定して「確定」を押す
・ 時間は24時間制で入力します。
・ 「受けつけました」と表示されます。

- 4 停止キーを押す
設定を終了します。

手順2で「出力しない」、「30件ごと」を選んだとき

- 3 確定キーを押す
「受けつけました」と表示されます。

- 4 停止キーを押す
設定を終了します。



第1章
準備する

第2章
ご使用の前に

第3章
電話

第4章
ファックス

第5章
コピー

第6章
留守番機能

第7章
ナビゲーション

第8章
知らせるセンサー

第9章
活用する

第10章
こんなときには

第11章
付録

レポート、リストを印刷する



□を選択するときは
下部の選択ボタンを
押してください。

いろいろなレポート、リストの印刷のしかた

送信レポートを設定する	送信レポートの印刷方法を設定します。
機能 押す ▶ で印刷方法を選ぶ ▶ 押す ▶ 押す メモ ● お買い上げ時は「エラーのみ出力」に設定されています。 ● 印刷方法は 「出力する」：常に結果レポートを印刷します。 「エラーのみ出力」：送信エラーがあるときだけ結果レポートを印刷します。 「出力しない」：結果レポートは印刷しません。	
電話帳リストを印刷する	電話帳の登録内容を印刷します。
記録紙をセットする ▶ 機能 押す ▶ 押す ▶ 押す	
設定リストを印刷する	設定内容を印刷します。
記録紙をセットする ▶ 機能 押す ▶ 押す ▶ 押す	
メモリー状況リストを印刷する	メモリーの使用状況を印刷します。
記録紙をセットする ▶ 機能 押す ▶ 押す ▶ 押す	
一括送信レポートを設定する	一括送信レポートの印刷方法を設定します。
機能 押す ▶ で印刷方法を選ぶ ▶ 押す ▶ 押す メモ ● お買い上げ時は「出力する」に設定されています。 ● 印刷方法は 「出力する」：常に結果レポートを印刷します。 「エラーのみ出力」：送信エラーがあるときだけ結果レポートを印刷します。	
着信履歴リストを印刷する	着信履歴の一覧を印刷します。
記録紙をセットする ▶ 押す ▶ 押す ▶ 押す ▶ 押す メモ ナンバー・ディスプレイの契約をしていない、または設定を「なし」にしているときは履歴として着信のあった日時を印刷します。	
機能案内リストを印刷する	機能の解説や文字入力表を印刷します。
記録紙をセットする ▶ 機能 押す ▶ 押す ▶ 押す ▶ 押す	

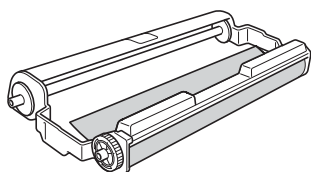
リボンがなくなったら

リボンカートリッジを交換する

リボンが完全なくなると、ディスプレイに「リボン（品番：PC-551）がありません！上カバーを開け新しいリボンのたるみを取りセットしてください」と表示されますので、すみやかにリボンカートリッジを交換してください。「リボンカートリッジ（PC-551）」では、約128枚の印刷が可能です。「消耗品などのご注文について」（P.120ページ）

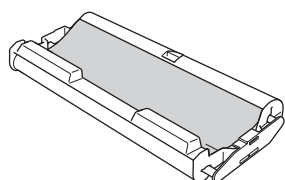
●リボンが完全なくなると

青色のギア側にリボンがすべて巻き取られた状態になります。



●当社指定リボンカートリッジ

〈リボン交換用当社指定品〉



リボンカートリッジ
(PC-551)

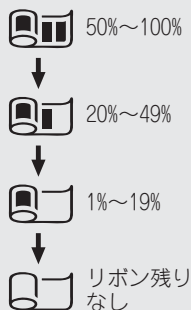
お願い

- 「リボンカートリッジ（PC-551）」は当社指定品をお使いください。「消耗品などのご注文について」（P.120 ページ）なお、当社製であっても PC-551 以外は使用できませんのでご注意ください。
- 当社指定以外のリボンカートリッジをお使いいただくと、故障の原因になります。
- カバー開閉や電源コードを抜き差しなどの使用状況によって、リボン残量が少なくなることがあります。

メモ

リボンが切れても、A4サイズの下稿で約60枚分までは本体のメモリーに受信したファクスを記憶できます。

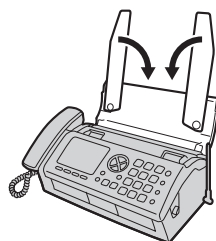
リボン残量表示



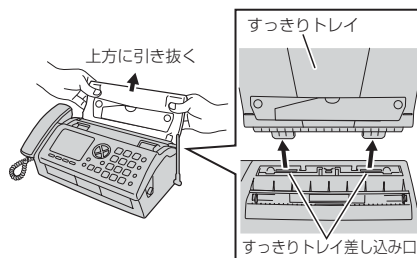
- ディスプレイにはリボンの残量が左図のように表示されます。
- お買い上げ時には、約30枚分印刷できる「お試し用リボン」がセットされており、そのリボンに応じたリボン残量が表示されます。

■すっきりトレイをご使用の場合

1 記録紙を取り除いて、記録紙サポートをたたむ

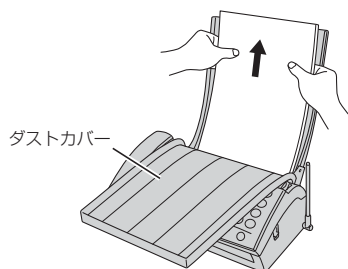


2 すっきりトレイを取り外す

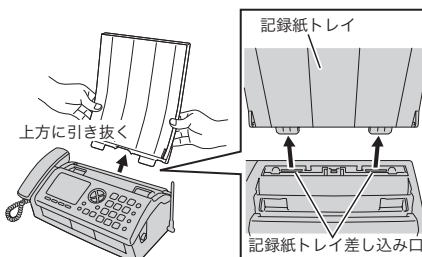


■記録紙トレイをご使用の場合

1 ダストカバーを開けて、記録紙を取り除く



2 ダストカバーを閉めて、記録紙トレイを取り外す



メモ

記録紙トレイは親機の背後に障害物がない場合、取り外す必要がないときもあります。その場合、中の記録紙は取り除いてください。

第1章
準備する

第2章
ご使用の前に

第3章
電話

第4章
ファックス

第5章
コピー

第6章
留守番機能

第7章
フリースレイ

第8章
知らせるセンサー

第9章
活用する

第10章
こんなときには

第11章
付録

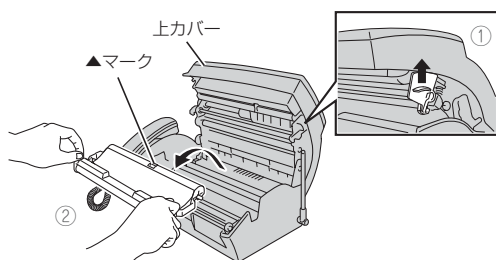
リボンがなくなったら



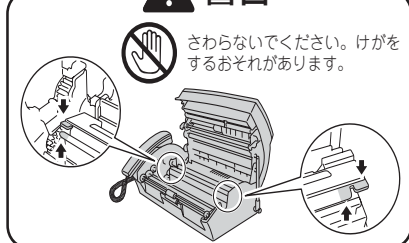
を選択するときには下部の選択ボタンを押してください。

3 上カバーを開けて、リボンカートリッジを取り出す

- ① 本体右側のレバーを持ち上げて上カバーを開ける
- ② リボンカートリッジを取り出す



警告

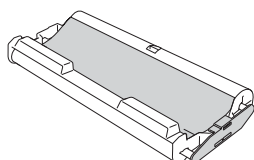


お願い

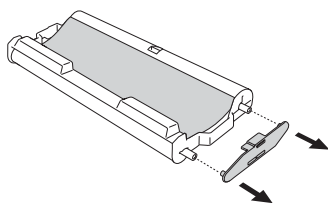
- 使用済みのリボンには印字した内容が白く残ります。廃棄の際には、リボンをはさみで切るなどで、印字した内容の保護にご注意ください。
- 使用済みリボンは新しいリボンに同梱されている説明書にしたがって廃棄してください。

4 新しいリボンカートリッジを準備する

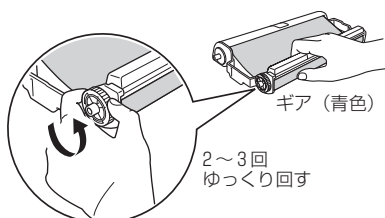
リボンカートリッジの向きを確認してください。



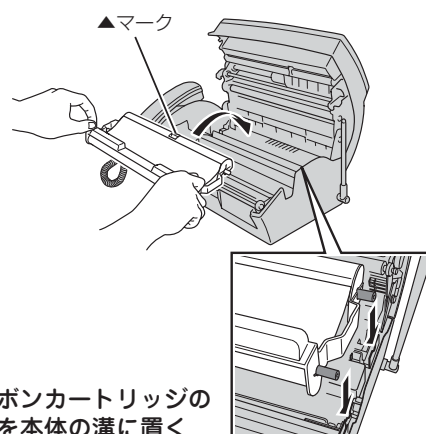
5 新しいリボンカートリッジの赤いストッパーを取り外す



6 ギア（青色）を矢印の向きに2～3回、回してリボンのたるみを取る



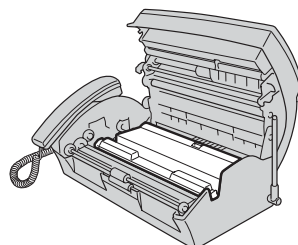
7 リボンカートリッジを本体にセットする



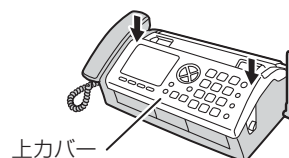
リボンカートリッジの軸を本体の溝に置く

8 リボンカートリッジが正常にセットされているか確認する

本体にリボンカートリッジをセットしたあと、リボンカートリッジが傾いていないか確認してください。



9 上カバーの両端を押して確実に閉める



10 リボンカウンタをリセットする

- ① 上カバーを閉じると、ディスプレイに「リボンを交換しましたか？」と表示されます。

4分以内に **はい** を押す

4分以内に **はい** を押さないとカウンタはリセットされません。

- ② 「もう一度確認します。リボンを交換しましたか？」と表示されます。

4分以内に **はい** を押す

「リボン 残り 約 100%」と表示され、設定が終了します。

11 トレイを取り付ける

「すっきりトレイを使う」(☞11ページ)
 「記録紙トレイを使う」(☞11ページ)
 必要に応じて記録紙をセットしてください。
 「記録紙の準備」(☞10ページ)

ファクス送受信時やコピー時の画質が悪いとき

注意

- 清掃するときは、電源コードを抜いてください。消去されるデータ（※101 ページ）があります。電源を抜く前にご確認ください。
- ペンジン、シンナーなどの有機溶剤やアルコールを使用したり、それらを染み込ませた布などで拭いたりしないでください。

原稿読取部を清掃する

読取部が汚れていたり、原稿に異物（修正液・テープなど）が付着していると、ファクス送信時やコピー時にたて縞が入ったり、画質が悪くなります。きれいな画質を保つために、こまめに読取部を清掃してください。

メモ

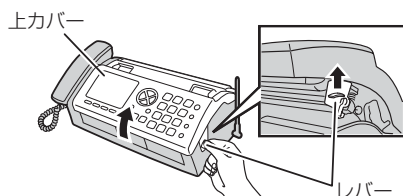
本機の上カバーを開閉するたびに、ディスプレイに「リボンを交換しましたか？」と表示されますが、リボンカートリッジを交換しなかったときは「いいえ」を押してください。「はい」を押すと、誤ったリボン残量が表示されることがあります。

1 トレイを取り外す

お使いのトレイによって取り外し方が異なります。「リボンカートリッジを交換する」（※81 ページ）

2 上カバーを開ける

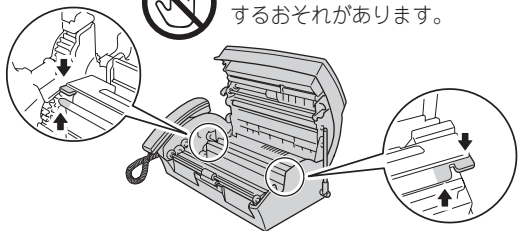
右側のレバーを矢印の方向へ持ち上げて、上カバーを開きます。



警告

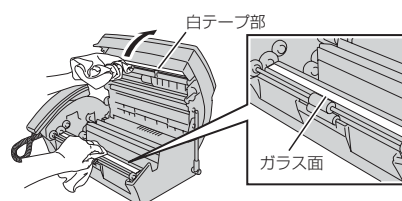


さわらないでください。けがをするおそれがあります。



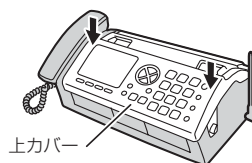
3 白テープ部とガラス面を拭く

水を含ませて硬く絞った柔らかい布で拭きます。



4 上カバーを閉めて「いいえ」を押す

- ・ 上カバーの両端を押して確実に閉めます。
- ・ 正しく閉められると、ディスプレイに「リボンを交換しましたか？」と表示されるので「いいえ」を押してください。



5 トレイを取り付ける

「すっきりトレイを使う」（※11 ページ）
「記録紙トレイを使う」（※11 ページ）
必要に応じて記録紙をセットしてください。
「記録紙の準備」（※10 ページ）

読取部や記録部が汚れていると、きれいな画質を保てません。こまめに清掃してください。

コピーの画質が悪いときは原稿読取部と記録部を両方清掃してください。



メモ

本体を清掃するときは、乾いた布で軽く拭いてください。

第1章
準備する第2章
ご使用の前に第3章
電話第4章
ファクス第5章
コピー第6章
留守番機能第7章
ナビゲーション第8章
知らせるセンサー第9章
活用する第10章
こんなときには第11章
付録

ファクス送受信時やコピー時の画質が悪いとき

記録部を清掃する

記録部が汚れていると、ファクス受信時やコピー時にたて縞が入ったり、コピー時の画質が悪くなります。きれいな画質を保つために、こまめに記録部を清掃してください。

メモ

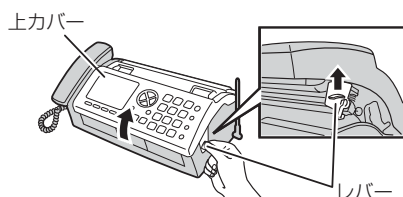
本機の上カバーを開閉するたびに、ディスプレイに「リボンを交換しましたか?」と表示されますが、リボンカートリッジを交換しなかったときは「いいえ」を押してください。「はい」を押すと、誤ったリボン残量が表示されることがあります。

1 トレイを取り外す

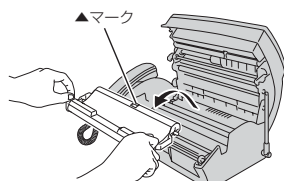
お使いのトレイによって取り外し方が異なります。「リボンカートリッジを交換する」(81ページ)

2 上カバーを開ける

右側のレバーを矢印の方向へ持ち上げて、上カバーを開きます。

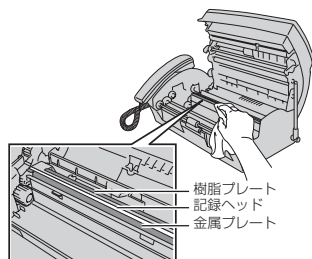


3 リボンカートリッジを取り外す



4 記録ヘッドと金属プレートまたは樹脂プレートを拭く

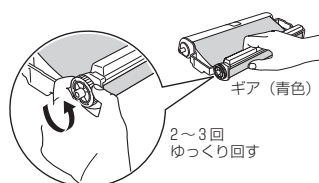
- ・水を含ませて硬く絞った柔らかい布で拭きます。
- ・それでも汚れが取れないときは、オーディオ用クリーニング液(イソプロピルアルコール)などを使用してください。



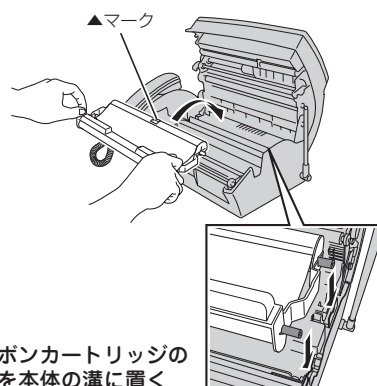
メモ

無水エタノール、OA クリーナー、メガネクリーナー、カセット用ヘッドクリーナー、CD 用レンズクリーナーなども使用できます。

5 ギア(青色)を矢印の向きに2~3回、回してリボンのたるみを取る

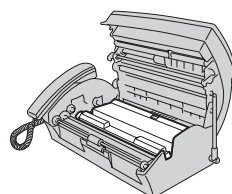


6 リボンカートリッジを本体にセットする



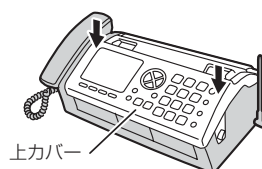
7 リボンカートリッジが正常にセットされているか確認する

本体にリボンカートリッジをセットしたあと、リボンカートリッジが傾いていないか確認してください。



8 上カバーを閉めて「いいえ」を押す

- ・上カバーの両端を押して確実に閉めます。
- ・正しく閉められると、ディスプレイに「リボン交換しましたか?」と表示されますので「いいえ」を押してください。



9 トレイを取り付ける

「すっきりトレイを使う」(11ページ)
「記録紙トレイを使う」(11ページ)
必要に応じて記録紙をセットしてください。
「記録紙の準備」(10ページ)

紙がつまったら



をを選択するときは下部の選択ボタンを押してください。

原稿や記録紙がつまると、ブザーが鳴ってディスプレイに次のメッセージが表示されます。

- 原稿がつまったとき.....「原稿を送れません！ 停止ボタンを押してやり直してください」
「原稿がつまりました！ カバーを開けて手前に引き出してください」
- 記録紙がつまったとき.....「記録紙がつまっています！ カバーを開け、つまった紙を取り除いてください」

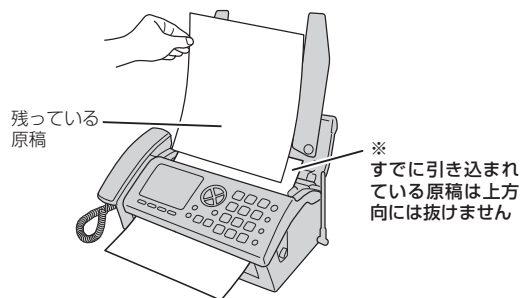
原稿がつまったときは

メモ

本機の上カバーを開閉するたびに、ディスプレイに「リボンを交換しましたか？」と表示されますが、リボンカートリッジを交換しなかったときは「いいえ」を押してください。「はい」を押すと、誤ったリボン残量が表示されることがあります。

1 残っている原稿を取る

すでに引き込まれている原稿は、無理に抜かないでください。

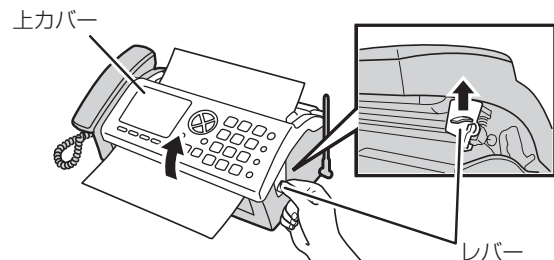


2 トレイを取り外す

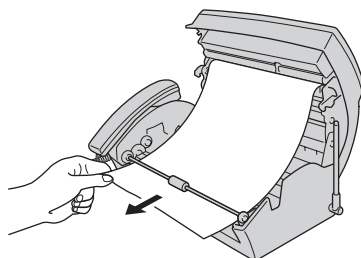
お使いのトレイによって取り外し方が異なります。「リボンカートリッジを交換する」(81ページ)

3 上カバーを開ける

右側のレバーを矢印の方向へ持ち上げて、上カバーを開きます。

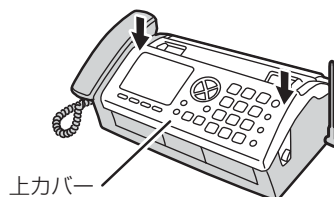


4 つまっている原稿を手前に引いて取り除く



5 上カバーを閉めて「いいえ」を押す

- ・ 上カバーの両端を押して確実に閉めます。
- ・ 正しく閉められると、ディスプレイに「リボンを交換しましたか？」と表示されるので「いいえ」を押してください。



6 トレイを取り付ける

- 「すっきりトレイを使う」(11ページ)
- 「記録紙トレイを使う」(11ページ)
- 必要に応じて記録紙をセットしてください。
- 「記録紙の準備」(10ページ)



第1章
準備する

第2章
ご使用の前に

第3章
電話

第4章
ファックス

第5章
コピー

第6章
留守番機能

第7章
ナビディスプレイ

第8章
知らせるセンサー

第9章
活用する

第10章
こんなときには

第11章
付録

紙がつまったら



□を選択するときは
下部の選択ボタンを
押してください。

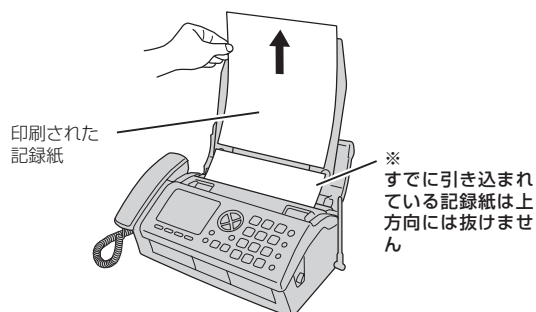
記録紙がつまったときは

メモ

本機の上カバーを開閉するたびに、ディスプレイに「リボンを交換しましたか？」と表示されますが、リボンカートリッジを交換しなかったときは「いいえ」を押してください。「はい」を押すと、誤ったリボン残量が表示されることがあります。

1 記録紙を取る

印刷前および印刷された記録紙を取ってください。

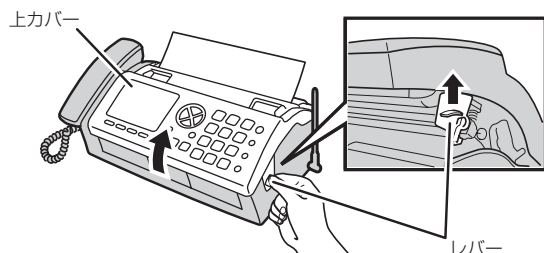


2 トレイを取り外す

お使いのトレイによって取り外し方が異なります。「リボンカートリッジを交換する」(P81ページ)

3 上カバーを開ける

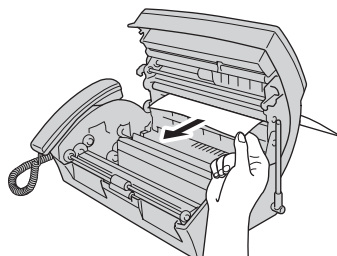
右側のレバーを矢印の方向へ持ち上げて、上カバーを開きます。



4

つまった記録紙を矢印の方向に引いて取り除く

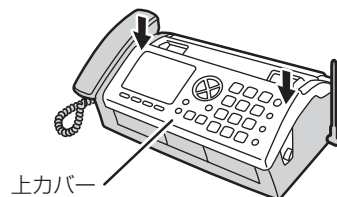
カバー内に破れた記録紙などが残っていないことを確認してください。



5

上カバーを閉めて「いいえ」を押す

- ・上カバーの両端を押して確実に閉めます。
- ・正しく閉められると、ディスプレイに「リボンを交換しましたか？」と表示されるので「いいえ」を押してください。



6

トレイを取り付ける

「すっきりトレイを使う」(P11ページ)
「記録紙トレイを使う」(P11ページ)
必要に応じて記録紙をセットしてください。
「記録紙の準備」(P10ページ)



子機のバッテリーを交換する

子機を充電しても使える時間が短くなってきたら、バッテリーを交換してください。使用のしかたにもよりますが、交換時期の目安は約1年です。

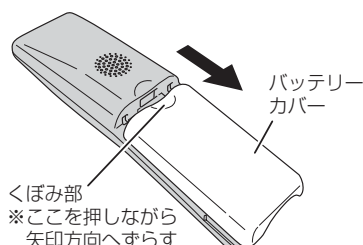
交換バッテリー（型名：BCL-BT30）は、本機または子機をお買い上げの販売店でお買い求めください。

注意

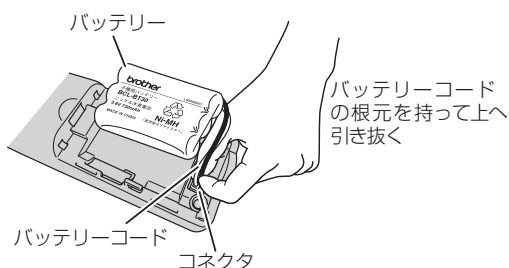
- バッテリーを覆っている白色のビニールカバーは、はがさないでください。
- バッテリーを交換したら必ず 12 時間以上充電してください。
- 子機のバッテリーは消耗品です。充電が完了しても使える時間が短くなったときは交換してください。バッテリーはお買い上げの販売店またはご注文シート（※121 ページ）でお求めください。

1 バッテリーカバーを開ける

バッテリーカバーのくぼみ部を押しながら、矢印の方向へずらします。バッテリーカバーの後端部を持ち上げ、バッテリーカバーを外します。

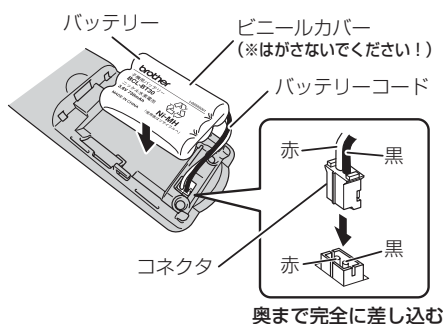


2 バッテリーを取り出し、コネクタを上へ引き抜く

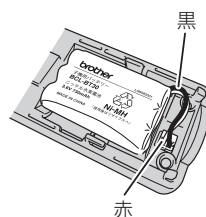


3 新しいバッテリーコネクタを差し込む

コネクタは下図の向きに差し込みます。向きを間違えないように注意してください。

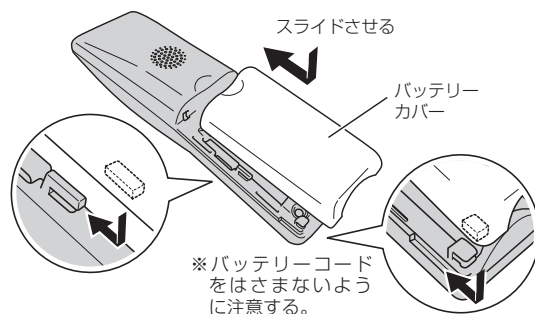


4 バッテリーを子機に入れる



5 バッテリーカバーを閉める

バッテリーコードをはさまないように注意してください。



お願い

バッテリーには充電式ニッケル水素電池を使用しています。不要になったニッケル水素電池は、貴重な資源を守るために廃棄しないで、充電式電池のリサイクル協力店にお持ちください。

- ビニールカバーははがさないでリサイクル箱へ
- 分解しないでリサイクル箱へ
- コード先端をテープなどで絶縁してリサイクル箱へ



準備する

第1章
第2章
ご使用の前に第3章
電話第4章
ファックス第5章
コピー第6章
留守番機能第7章
ナビディスプレイ第8章
知らせるセンサー第9章
活用する第10章
こんなときには第11章
付録第12章
録

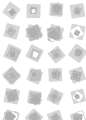
エラーメッセージが表示されたら（親機）

本機や電話回線に異常があるときは、下記のようなエラーメッセージがディスプレイに表示されます。「お客様相談窓口へ（コールセンターへ）お電話ください」と表示されたときは、「お客様相談窓口（コールセンター）：☎0120-161-170」にご連絡ください。

ディスプレイ表示	原因	処置
相手から応答がありません 電話番号を確認して もう一度送信してください 停止ボタンを押してください	送信先の電話番号が間違っている。	送信先の電話番号を確認して、もう一度送信してください。
●メッセージ内容一覧 ・印刷できません！ ・書き込みできません！ ・原稿を読めません！ ・子機が反応しません！ ・初期化できません！ ・留守番電話が使えません！ XXXXXXX 電源コードを抜いて もう一度、さして下さい	本機に何らかの異常が発生した。	電源コードを抜いて電源OFFにし、数秒後に電源ONにしてください。
XXXXXXX エラーNO.XX お客様相談窓口へ お電話ください	上記のエラーが解除されない場合に表示されます。	お客様相談窓口（ブザーコールセンター）へご連絡ください。
印刷できません！ ただ今、回復中です しばらくお待ちください	連続使用により記録部分が熱くなっている。	しばらく待ってください。回復すると待ち受け画面に戻ります。原稿がつまっているときは「停止ボタンを押してください」と表示されます。このときは、  を押してください。
応答メッセージはありません	メッセージが録音されていない。	応答メッセージを設定してください。 「応答メッセージの設定」（☎51ページ）
⊗ 回線種別が 設定できませんでした！ 回線を接続し機能ボタンから 回線種別を設定してください	電話機コードが接続されていない。 回線種別が設定されていない。	電話機コードがはずれていないか確認してください。「手で回線種別を設定する」（☎9ページ）
カバーが開いています！ カバーを閉めてください	上カバーが完全に閉まっていない。	上カバーを再度、閉め直してください。
記録紙がありません！ 記録紙をセットしてください [再試行]を押すと、 印刷を開始します	記録紙がセットされていない。 記録紙がなくなった。	A4サイズの記録紙をセットしたあと、  を押して印刷を続けます。
記録紙がつまっています！ カバーを開け、つまった紙を 取り除いてください	記録紙が記録部につまっている。	つまった記録紙を取り除き、記録紙を正しくセットし直してください。 「記録紙がつまったときは」（☎86ページ）
原稿がつまりました！ カバーを開けて 手前に引き出してください	下記の原因で原稿がつまっている。 原稿挿入口に原稿が正しくセットされていない 原稿が正しく送信されていない 原稿サイズが長い	上カバーを開いて原稿を取り除きます。上カバーを閉め、原稿の幅に原稿ガイドを合わせて正しくセットし、再度コピー、または送信し直してください。「原稿がつまったときは」（☎85ページ）
①原稿がセットされていません！	原稿がセットされていない。	ファクスの送信設定をするまえに、原稿をセットしてください。
原稿を送れません！ 停止ボタンを押して やり直してください	原稿を読み取る直前に原稿が抜かれた。	 を押して、もう一度始めからやり直してください。

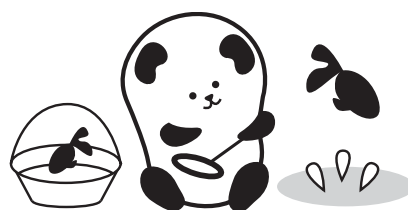
ディスプレイ表示	原因	処置
子機使用中のため 転送できません 子機の使用後に やり直してください	子機が待機状態になっていない。	子機を待機状態にしてから、もう一度転送してください。
子機に転送できません 子機の電話帳がいっぱいです 不要な電話帳を消去して やり直してください	子機に登録できる電話帳の登録件数を超えている。	子機の不要な電話帳データを消去してください。
子機の応答が無い ため 転送できません 充電/電波表示を確認して やり直してください	子機の電波状態が悪い。 子機のバッテリー残量がなくなっている。	子機の状態を確認してください。子機のアンテナが3本表示(Ⅴ)される所で、もう一度送信してください。 バッテリー充電後、やり直してください。
受信できません ファクスや留守録を消去して メモリを空けてください 停止ボタンを押してください	空きメモリーがない。	空きメモリーが不足しています。不要なファクスや留守録データを消去してください。
受信に失敗しました 相手先に確認してください 停止ボタンを押してください	本機に何らかの異常が発生した。 回線の状態が悪い。	安心通信モードに設定し、相手に連絡してファクス受信をやり直してください。「安心通信モード」(☎104ページ)
受話器を戻してください やり直してください	受話器を上げたまま、留守応答メッセージを再生・録音した。	受話器を置いて操作をやり直してください。
送信できません 回線種別の設定を確認して もう一度送信してください 停止ボタンを押してください	回線状態が悪い。	回線種別を確認してください。
送信できません 電話回線を確認して もう一度送信してください 停止ボタンを押してください	電話機コードがはずれている。 回線状態が悪い。	電話機コードがはずれてないか確認してください。 安心通信モードに設定してください。「安心通信モード」(☎104ページ)
送信できません もう一度送信してください 停止ボタンを押してください	本機に何らかの異常が発生した。 回線状態が悪い。	もう一度送信してください。再度、エラーメッセージが表示されるときは電源コードを抜いて電源をOFFにし、数秒後に電源をONにしてください。
通信が切断されました もう一度送信してください 停止ボタンを押してください	通信中に相手機から回線が遮断された。	相手先に電話をし、原因を解除してもらい、再度送信してください。
①通信の設定がありません	メモリー送信の設定がされていません。	そのままお使いください。
電話機コードを 接続してください	電話機コードが接続されていない。	電話機コードを接続してください。
「特別回線対応」の設定が 「PBX」の時は 変更できません	特別回線の設定が「PBX」のとき「ナンバー・ディスプレイ」の設定をONにしたとき。	特別回線の設定が「PBX」のときは「ナンバー・ディスプレイ」の設定をONすることができません。
着信履歴がありません	着信履歴がないときに着信履歴ボタンを押した。	着信履歴がありません。そのまま、お使いください。
相手が話中です もう一度送信してください 停止ボタンを押してください	相手先が話中または、受信待機状態になっていない。	少し時間が経ってから、もう一度送信してください。
①発信元が設定されていません！ 発信元を入力してから やり直してください	発信元登録が設定されてない。	発信元登録してください。「送信したファクスに印刷される自分の名前と番号を登録する(発信元登録)」(☎22ページ)

第1章
準備する第2章
ご使用の前に第3章
電話第4章
ファクス第5章
コピー第6章
留守番機能第7章
ナンバーディスプレイ第8章
知らせるセンサー第9章
活用する第10章
こんなときには第11章
付録



エラーメッセージが表示されたら（親機）

ディスプレイ表示	原因	処置
メモリーが無くなりました！ [ファクス一覧]を押して、 ファクスを選択、[表示]で 確認後、消去してください	空きメモリーが不足している。	空きメモリーが不足しています。  を押すと、すでに読み込んだ原稿を送信／コピーします。  を押すと送信／コピーを中止します。 受信したファクスや留守録データを消去してください。 ファクス消去…44ページ 留守録データ消去…50ページ
メモリーが無くなりました！ 再生ボタンでメッセージを 確認後、消去ボタンで 消去してください		
メモリーが少なくなりました [ファクス一覧]を押して、 ファクスを選択、[表示]で 確認後、消去してください		
メモリーが少なくなりました 再生ボタンでメッセージを 確認後、消去ボタンで 消去してください		
やり直してください	操作手順が間違えている。	もう一度、操作をやり直してください。
用件は録音されていません	メッセージが録音されていません。	留守中に録音されたメッセージはありません。そのままお使いください。
リボン（品番：PC-551）がありません！ 上カバーを開け 新しいリボンのたるみを取り セットしてください	リボンがなくなった。	新しいリボンカートリッジと交換してください。 「リボンがなくなったら」（  81ページ）



エラーメッセージが表示されたら（子機）

ディスプレイ表示	原因	処置
ガイセン ショウチュウ	親機またはその他の子機が使用中。	使い終わるのを待ってください。
オヤキ サガシテイマス	通話中に子機の使用圏内を越えた。親機、子機の近くで無線LANを使用している。	通信中は使用圏内に戻ってください。 親機、子機から無線LAN機器を3m以上離してください。または、子機の「通話パワー」を「弱」に設定してください。 「通話パワー（子機）」（P.102ページ）
くデンチノコリナシ シ ユデン シテタサイ	バッテリーがなくなった。	充電器に置いて充電してください。
 ガイセンホタン オシテタサイ (子機をとってから30秒後) コキ ハスレテイマス (子機をとってから 60 秒後)	充電器から子機をとり、何も操作しないまま約60秒経過したときに表示されます。	充電器に子機を戻す、または(切)を押すと表示が消えます。
テンソウ デキマセン オヤキ ショウチュウ	親機が使用中。	使い終わるのを待ってください。
テンソウ デキマセン オヤキノ デンワチョウ イッパ イマス	親機に登録できる電話帳の登録件数を超えている。	親機の不要な電話帳データを消去してください。
テンソウ デキマセン アンテナ カニンコ ヤリオシテタサイ	電波状態が悪い。 親機の電源が入っていない。	親機の状態を確認してください。 子機の(外線)を押してください。
デンワチョウカ イッパ イマス!	登録できる件数を超えている。	不要な電話帳データを消去してください。
▶デンワチョウトウロク トウロクカ アリマセン	電話帳に登録がない。	電話帳に登録してください。「電話帳に登録する」(P.37ページ)
ハッシンリレキ ナシ	発信履歴に電話番号がない。	そのまま、お使いください。
ツウワ ケンガイ	電波状態が悪い。 親機の電源が入っていない。	親機の状態を確認してください。 子機の(外線)を押してください。
シ ユデンデキ マセン。モウイチ セツ シテタサイ。	充電器に異物がある、または設置不良（すき間がある）。	異物を取り除いて、子機をセットし直してください。

第1章
準備する

第2章
ご使用の前に

第3章
電話

第4章
ファックス

第5章
コピー

第6章
留守番機能

第7章
ナビゲーション

第8章
知らせるセンサー

第9章
活用する

第10章
こんなときには

第11章
付録

故障かな？と思ったら

修理を依頼される前に下記の項目をチェックしてください。また、[ディスプレイ表示が正しく表示されない]・[ボタンが操作できない]などは、親機を強制的にお買い上げ時の状態に戻すこともできます。「親機を強制リセットする(修理を依頼される前に)」(※118ページ) それでも異常があるときは「お客様相談窓口(コールセンター): ☎ 0120-161-170」へご連絡ください。

こんなときは		ここをチェック	対処のしかた
携帯電話に電話がかけられない	携帯電話に電話がかけられない	IP電話解除番号（☎27ページ）のあとにポーズ「p」（☎107ページ）を入力または未入力ではありませんか。	ポーズ「p」を入力している場合はポーズを消去して IP 電話解除番号を設定し直してください。ポーズ「p」を入力していない場合はポーズを入れて設定し直してください。なお、ポーズの入力が必要かどうかは予告なく変更されることがあります。ご契約の IP 電話サービス会社へお問い合わせください。
		以下のサービスをご利用していて、ケータイ通話お得サービスを「する」に設定していませんか。 ・ひかり電話サービス ・直収電話サービス（☎27ページ） ・ケーブルTV 局が提供する電話サービス ・NTT 東日本・NTT 西日本の一般電話を契約しないインターネットプロバイダの提携するIP電話サービス	ケータイ通話お得サービスを「しない」に設定してください。（☎27ページ）
		以下の状況でIP電話サービスを利用して、ケータイ通話お得サービスを「する」に設定していませんか。 ・IP電話解除番号の登録をしていない ・間違ったIP電話解除番号を登録している	IP電話解除番号を登録してください（☎27ページ）。IP電話解除番号が不明な場合は、ケータイ通話お得サービスを「しない」に設定してください。（☎27ページ）
		事業者識別番号を正しく入力しましたか。	事業者識別番号（☎27ページ）を設定してください。
電話がかけられない	受話器から「ツー」という音が聞こえているが、ダイヤルできない	回線種別が正しく設定されていますか。	回線種別を正しく設定してください。「手動で回線種別を設定する」（☎9ページ）
	受話器から「ツー」という音が聞こえない	オンフックを押して、スピーカーから「ツー」という音が聞こえていますか。	「ツー」という音が聞こえている場合は受話器コードが親機に正しくしっかり差し込まれているか確認してください。「接続する」（☎8ページ） 聞こえていない場合は電源コードと電話機コードがそれぞれしっかり差し込まれているか確認してください。
		電源コードと電話機コードが正しく接続されていますか。	電源コードと電話機コードがそれぞれしっかり差し込まれているか確認してください。
	電話をかけられない / かけられない場合がある	ADSLやISDN回線、ひかり電話サービスをご利用になっていませんか。	ADSLをご利用の方は97ページ、ISDN回線をご利用の方は 97 ページ、ひかり電話サービスをご利用の方は 98 ページを参照してください。
	特定の番号だけにつながらない	ひかり電話をお使いになっていませんか。	一部つながらない番号があります。ご利用の電話会社にお問い合わせください。
	電話帳機能を利用して電話をかけられない場合がある	登録している電話番号の間にポーズ「p」（親機）、「P」（子機）が入っていませんか。	「p」（親機）、「P」（子機）を消去してください。
	電話をかけるときに、間違った相手にかけたり、正しくダイヤルされない	電話の接続環境が影響している可能性があります。	受話器をあげて、発信音（ツー音）を確認してからダイヤルしてください。



こんなときは		ここをチェック	対処のしかた
電話	電話がかかけられない	モジュラージャックから本機の電話機コードを外した状態で本機に電話をかけると、話し中になっていませんか。	回線自体に問題がある可能性があります。ご利用の電話会社へご連絡ください。
		ADSL 回線の場合、スプリッターを含む ADSL 機器を外してファクス機をモジュラージャック（電話線コンセント）に直接接続して、改善されるか確認してください。	改善されるときは、ADSL 事業者に問い合わせください。
	電話を受けられない	電話がかかってきても応答しない／着信音が鳴らない	受信モードが「ファクス専用」で呼出回数が0回になっていませんか。
		ISDN回線をご利用になっていませんか。	受信モードと呼出回数を確認してください。「電話やファクスの受けかた」(P.23 ページ)
		ISDN回線をご利用していて、本機に電話をかけてみると「あなたと通信できる機器が接続されていません」とメッセージが流れる。	98ページのISDN回線の項目を参照してください。
		構内交換機(PBX)に接続しているのに、ナンバー・ディスプレイの設定が「あり」になっていませんか。	ターミナルアダプタの設定に誤りがあります。正しい設定内容にしてください。(P.98 ページ)
	着信音	電話の着信音が小さい	構内交換機(PBX)がナンバー・ディスプレイに対応していることを確認してください。
		電話がかかってきても応答しない／ベル音になる	着信音量を大きくしてください。「着信音量を設定する」(P.76 ページ)
	通話中	内線通話中ではありませんか。	着信音をメロディまたはボイスに設定していても、内線通話中に外線からの着信があるとベル音が鳴ります。
		モニターからの相手の声が聞き取りにくい	着信音を大きくしてください。「モニター音量を設定する」(P.76 ページ)
		電話機からの相手の声が聞き取りにくい	モニター音量を大きくしてください。「モニター音量を設定する」(P.76 ページ)
		受話音量の設定が小さくありませんか。	受話音量を大きくしてください。「受話音量を設定する」(P.76 ページ)
		回線状況が悪くありませんか。	受話口をふさがないでください。
		受話口をふさいでいませんか。	送話口(マイク)をふさがないでください。
		相手に声が聞こえないと言われる	送話口(マイク)をふさがないでください。
		通話中に自分の声が響いたり、相手の声が聞き取りにくい	受話器の送話口(マイク)をふさいでいませんか。
		通話音質調整の設定を変更してみてください。音質が改善されることがあります。「通話音質調整」(P.102 ページ)	通話中に自分の声が響いたり、相手の声が聞き取りにくい
		ADSLをご利用になっていませんか。	通話中に自分の声が響いたり、相手の声が聞き取りにくい
		ISDN回線をご利用になっていませんか。	通話中に自分の声が響いたり、相手の声が聞き取りにくい
		自分の声や相手の声が大きく聞こえて話しにくい	通話中に自分の声が響いたり、相手の声が聞き取りにくい
		連続的に雑音が入る	通話中に自分の声が響いたり、相手の声が聞き取りにくい
		本機底面の機能接地端子(銀色ネジ)にアース線を接続すると、雑音が少なくなる場合があります。	通話中に自分の声が響いたり、相手の声が聞き取りにくい
		ADSLをご利用になっていませんか。	通話中に自分の声が響いたり、相手の声が聞き取りにくい
		音が途切れる	通話中に自分の声が響いたり、相手の声が聞き取りにくい
		インターネット電話やIP電話など、IP網を使用していませんか。(「050」で始まる電話番号でかけた場合の相手側を含む)	通話中に自分の声が響いたり、相手の声が聞き取りにくい
		インターネット電話やIP電話など、IP網の状況により音が途切れることがありますので、IP 網を使わずに通話してください。不明な点は、ご契約のIP電話サービス会社へお問い合わせください。	通話中に自分の声が響いたり、相手の声が聞き取りにくい
		通話が切れる	通話中に自分の声が響いたり、相手の声が聞き取りにくい
		声や周りの音に反応して、「親切受信」がはたらき、ファクスの受信を始めることがあります。	通話中に自分の声が響いたり、相手の声が聞き取りにくい

第1章
準備する第2章
ご使用の前に第3章
電話第4章
ファクス第5章
コピー第6章
留守番機能第7章
ナンバーディスプレイ第8章
知らせるセンサー第9章
活用する第10章
こんなときには第11章
付録

故障かな？と思ったら

こんなときは		ここをチェック	対処のしかた
電話	通話中	通話が切れる	インターネット電話やIP電話など、IP網を使用していませんか。（「050」で始まる電話番号でかけた場合の相手側を含む）
		ナンバー・ディスプレイを契約しているのにナンバー・ディスプレイの設定が「なし」になっていませんか。	インターネット電話やIP電話など、IP網の状況により通話が切れることがありますので、IP 網を使わずに通話してください。不明な点は、ご契約のIP電話サービス会社へお問い合わせください。
	その他	トーン（ブッシュ）信号によるサービスが利用できない	ナンバー・ディスプレイの設定を「あり」にしてください。「ナンバー・ディスプレイを設定する」（☞58ページ）
		発信すると本機の電話番号が非通知になる	ダイヤル回線のときは、 (★) （親機）または (★) （子機）を押してください。（☞28ページ）
		親機のメロディが鳴り出してとまらない	ご利用の電話会社へお問い合わせください。
	ナンバー・ディスプレイ	電話機コードを接続していますか。	電話機コードを接続してください。それでもとまらないときは ☞ (1) (2) を押して、デモ動作設定を「しない」に変更してください。（☞9ページ）
		ブランチ接続（並列接続）していませんか。	正しく接続し直してください。（☞15ページ）
		IP電話機能付きADSLモデムにつないでいませんか。	モデムの設定やご利用の IP 電話サービスの条件によって表示されない可能性があります。ご契約のIP電話サービス会社へお問い合わせください。
		ひかり電話サービスの VoIP アダプタに接続していませんか。	98 ページのひかり電話サービスの欄を参照してください。
		非通知の相手からの着信ができない	
		電話番号が表示されるが着信音がメロディにならない	着信鳴り分けの設定を確認してください。「着信鳴り分けを設定する」（☞59ページ）
	キャッチホン	雑音が入ったり、キャッチホンが受けられない	正しく接続し直してください。（☞15ページ）
		キャッチホンが入ったとき、雑音が入りキャッチホン・ディスプレイデータを受けられない	キャッチホン・ディスプレイの設定を「あり」にします。 「キャッチホン・ディスプレイを利用する」（☞58ページ）
	子機（動作しない）	「おかけ直し」が表示され、ボタンを押しても反応しない	2分間待ってください。その後、増設されずメニュー画面に戻ります。
		動作しない 電話がかけられない	(切) を約5秒間押してください。それでも動作しない場合は、子機のバッテリーのコネクタを抜き差ししてください。
		動作しない ボタンを押しても反応しない	子機のバッテリーコネクタを抜き差ししてください。
		動作しない 子機の内線番号がディスプレイに表示されない	増設子機（別売り）を登録しましたか。 増設子機（別売り）を登録する、または登録し直してください。増設コードレス子機取扱説明書を参照してください。それでも動作しない場合は、親機のコンセントを抜き差ししてください。
		動作しない 着信音が鳴らない	バッテリーのコネクタが正しく接続されていますか。 「子機のバッテリーを交換する」（☞87ページ）
		バッテリーの残量がなくなっていますか。	バッテリーの充電をしてください。 「子機を準備する」（☞12ページ）
		回線種別が正しく設定されていますか。	回線種別を正しく設定してください。 「手動で回線種別を設定する」（☞9ページ）



こんなときは		ここをチェック	対処のしかた		
電話	子機（動作しない）	動作しない 着信音が鳴らない	着信音量が「OFF」になっていませんか。 親機の呼出回数が1回に設定されていませんか。 親機から離れすぎていませんか。 近くに雑音の原因となる電気製品がありませんか。 親機で機能の設定・登録をしていませんか。 子機通信チャンネルの設定を変更しましたか。 親機でコピーをしていませんか。 親機や他の子機を使用していませんか。 親機のアンテナと子機充電器の電源コードが近くにありませんか。 子機のアンテナ表示（  ）が2本（  ）、1本（  ）、0本（  ）になっていませんか。 携帯電話の充電器や、ACアダプタが近くにあって、電源が一緒になっていませんか。 おやすみモードが設定されていませんか。	着信音量を「OFF」以外に設定してください。「着信音の設定」(※73ページ) 親機の呼出回数を2回以上に設定してください。子機は親機よりも遅れて着信音が鳴り始める場合があります。 着信音が鳴る範囲まで、子機を親機に近づけてください。 電気製品などから離してください。(※103ページ) 設定が終わるのを待ってください。 変更した場合は、全ての子機のバッテリーコネクタを抜き差ししてください。 コピーが終わるのを待ってください。 使い終わるのを待ってください。 親機のアンテナから子機充電器の電源コードを遠ざけてください。(アンテナに巻き付けたり、引っ掛けたりしないでください。) 子機のアンテナが3本表示（  ）される所でご使用ください。 親機や子機から離れたところで、携帯電話の充電器をご使用ください。 電源が一緒になっているときは、別の電源をご使用ください。 おやすみモードを解除してください。(※78ページ)	
		充電できない 電源が入らない 何も表示されない	バッテリーが寿命ではありませんか。	バッテリーを外して充電器にセットしてください。 ・表示する場合 バッテリーの寿命もしくはバッテリーコードを確認してください。 ・表示しない場合 電源コードと充電器を確認してください。	
		子機（通話中）	声が途切れる	インターネット電話やIP電話など、IP網を使用していませんか。（「050」で始まる電話番号でかけた場合の相手側を含む）	インターネット電話やIP電話など、IP網の状況により声が途切れることがありますので、IP網を使わずに通話してください。不明な点は、ご契約のIP電話サービス会社へお問い合わせください。
			通話が切れる	声や周りの音に反応して、「親切受信」がはたらき、ファクスの受信を始めることがあります。	頻繁に起こるときは、「親切受信」を「しない」に設定してください。 「親切受信」(※45ページ) ※このときは、ファクスを手動で受信します。「子機で受ける」(※43ページ)
				インターネット電話やIP電話など、IP網を使用していませんか。（「050」で始まる電話番号でかけた場合の相手側を含む）	インターネット電話やIP電話など、IP網の状況により通話が切れることがありますので、IP網を使わずに通話してください。不明な点は、ご契約のIP電話サービス会社へお問い合わせください。
				ナンバー・ディスプレイを契約しているのにナンバー・ディスプレイ設定が「なし」になっていませんか。	親機のナンバー・ディスプレイの設定を「あり」にしてください。「ナンバー・ディスプレイを設定する」(※58ページ)
			雑音が入りやすい	近くに電気製品や障害物はありませんか。(※103ページ) ※設置環境を確認してください。 「通話や子機の使用に影響を及ぼす可能性のある環境」(※103ページ)	親機のアンテナを起こし、向きを調節してみてください。 親機や子機の置き場所や向きを変えてみてください。 親機のアンテナから子機充電器の電源コードを遠ざけてください。(アンテナに巻き付けたり、引っ掛けたりしないでください。)

第1章
準備する第2章
ご使用の前に第3章
電話第4章
ファクス第5章
コピー第6章
留守番機能第7章
ナンバーディスプレイ第8章
知らせるセンサー第9章
活用する第10章
こんなときには第11章
付録第11章
録

故障かな？と思ったら

こんなときは		ここをチェック	対処のしかた	
電話	子機（通話中）	雑音が入りやすい	近くに電気製品や障害物はありませんか。 （※103ページ） ※設置環境を確認してください。 「通話や子機の使用に影響を及ぼす可能性のある環境」（※103ページ）	親機、子機、電気製品の電源を別々のコンセントに接続してみてください。
			ご近所、同じマンション内で別のコードレス電話機を使用していませんか。	雑音が消えるまでしばらくお待ちください。 または、一時的に親機をご使用ください。
			移動しながら子機を使用していませんか。	使用場所により電波が弱い場所があります。 雑音が少ない場所で使用してください。 または子機のアンテナが3本表示（ ) される所でご使用ください。
		雑音が入りやすい 通話が切れる	子機のアンテナ表示（ ) が2本（ )、1本（ )、0本（ ) になっていませんか。	親機、子機から無線LAN機器を3m以上離してください。 または、親機と子機間の「子機通信チャンネル」の設定を変更してください。 （※102 ページ）もしくは、子機の「通話パワー」を「 ) に設定してください。 「通話パワー（子機）」（※102 ページ）
			親機、子機の近くで無線LANを使用していませんか。	
		相手の声が聞こえにくい	受話口をふさいでいませんか。 受話音量の設定が小さくありませんか。	受話口をふさがないでください。 受話音量を大きくしてください。 「受話音量を設定する」（※76ページ）
			相手から聞こえないと言われる	送話口（マイク）をふさいでいませんか。
		スピーカーホン通話がうまくできない	周りの音がうるさくありませんか。	 を押して子機を持って話してください。
		通話中に自分の声が響いたり、相手の声が聞き取りにくい	通話音質調整の設定を変更してみてください。 音質が改善されることがあります。 「通話音質調整」（※102ページ）	
	子機（充電）	充電器に置いていても「  」と表示しない	充電器の電源コードは確実に差し込まれていますか。	電源コードをコンセントに差し込んでください。
			充電器に正しく置かれていますか。	ディスプレイが正面に見える方向に、子機を置いてください。
			バッテリーを交換しましたか。	新しいバッテリーは充電されてないことがあります。 その場合は、充電器に置いて約2分後に「  」と表示されますので、表示されたら約12時間充電してください。
	子機（その他）	親機または子機の着信音が遅れて鳴る	故障ではありません。 （電波を使用しているため、電話がかかってくると親機または子機の着信音が少し遅れて鳴ることがあります。）	そのままお使いください。
LCD表示が薄いまたは表示されない		12時間以上充電しましたか。	充電してください。 それでも薄いまたは表示されないときは、コントラストを調節してください。 （※20ページ）	
子機が温かい		充電中や充電直後はバッテリーが温かくなります。 故障ではありません。		

こんなときは		ここをチェック	対処のしかた	
電話	子機（警告音）	充電器からとったり、 (外線)を押すと、「ピッ ピッピッ」と鳴る	親機や他の子機を使用していませんか。 親機から離れすぎていませんか。 電波が干渉しやすい場所で使用していま せんか。	使い終わるのを待ってください。 親機の近く（通話圏内）に戻ってください。 通話できる位置まで移動してください。
		充電が完了しても バッテリー警告音 (ピッピッピッ…) が鳴り、ディスプレイ に「<テンノリナ> ジ ュテンシタサイ」と 表示される	バッテリーが消耗しています。	バッテリーを交換してください。 「子機のバッテリーを交換する」(※87ペー ジ) バッテリーのコネクタが子機にしっかり 差し込まれているかを確認してください。 「子機を準備する」(※12ページ)
		警告音（ピーピーピー） が鳴り、ディスプレイ に「コガ ハシレマス」と 表示される	充電器から子機をとり、ダイヤル操作な しで60秒経過していませんか。	子機を充電器に戻してください。
		通話開始後、約1分経過 すると、警告音（ピー ピーピー）が鳴り、デ ィスプレイに「コガ ハシ レマス」と表示される	親機から子機へ通話を切り替えるとき、 親機の ⑤ を押さずに受話器に戻してい ませんか。	親機の ⑤ を押して通話を切り替えてく ださい。「電話を取り次ぐ」(※32ページ)
		通話中に警告音（ピッ ピッピッ）が鳴る	子機で通話中に電波の届かないところまで 離れている、または移動していませんか。	親機の近く（通話圏内）に戻ってください。
		通話中に警告音 (ピッピッピッ ピッピッピッ ピッピッピッ) が鳴る	バッテリーの残量 () が少なくなっ ていませんか。	通話を終了して子機を充電器に戻してく ださい。 通話を保留にして子機を充電器に戻し、親 機で通話を続けてください。
		留守番電話	外出先からの操作がで きない	トーン信号（ピッポッパッ）が出せる電 話機からかけていない。
	外出先から解除できな い		おやすみモードが設定されていません か。	おやすみモード中は解除できません。 (※78ページ)
	メッセージが録音の途 中で切れている		録音中に8秒以上無音が続いた。	メッセージを入れるときは続けて話すよ う、相手に伝えてください。
	メッセージが録音でき ない		メモリー容量がいっぱいになっている。	音声メッセージを消去してください。 メモリー受信したファクスがあるときは、メモ リー内の不要なファクスを消去してください。
	ADSL	以前に比べて自分の声 が響いたり、相手の声 が聞き取りにくい	ADSL のスプリッタが影響している可能 性があります。	ADSL のスプリッタを交換すると改善す る場合があります。ADSL 契約会社にお問 い合わせください。
		通話中に雑音が入った り、音量が小さくなる	ADSL を使用して、ブランチ接続（並列 接続）をしていませんか。	ブランチ接続（並列接続）をしないでくだ さい。
		電話をかけられない場 合がある	インターネット電話やIP電話など、IP網 を使用していませんか。 電話帳機能を利用して、電話をかけてい ませんか。	回線種別を正しく設定してください。 「手動で回線種別を設定する」(※9ページ) 「0000」発信を行って、一般の加入電話 (NTT など) を選んでかけている場合は、 番号の後に ⑥ (親機) または ⑦ (子機) を押して、ポーズ（約 3 秒間の待ち時間） を入れてください。
			手動で「0000」発信によって一般の加入電 話(NTT など)を選んでかけていませんか。	「0000」や選択番号をダイヤルした後、少 し待ってからダイヤルしてください。
	ISDN回線	電話がかけられない	回線種別が「プッシュ回線」に設定され ていない。 本機が接続されているアナログポートを 「使用しない」に設定していませんか。	回線種別を「プッシュ回線」に設定してく ださい。「手動で回線種別を設定する」(※9 ページ) 「使用する」に設定してください。

第1章
準備する第2章
ご使用の前に第3章
電話第4章
ファクス第5章
コピー第6章
留守番機能第7章
ナビディスプレイ第8章
知らせるセンサー第9章
活用する第10章
こんなときには第11章
付録

故障かな？と思ったら

こんなときは		ここをチェック	対処のしかた
電話	ISDN回線	本機に電話をかけると、「あなたと通信できる機器は接続されていないか、故障していません」というメッセージが流れてつながらない	本機を接続しているターミナルアダプタのアナログポートの設定内容を確認します。 契約回線番号のアナログポートに本機を接続している場合、以下のように設定してください。 サブアドレスなし着信：「着信する」 HLC設定：「HLC設定しない」 識別着信：「識別着信しない」 i・ナンバーのアナログポートに本機を接続している場合、以下のように設定してください。 i・ナンバーを登録する サブアドレスなし着信：「着信する」 HLC設定：「HLC設定しない」 識別着信：「識別着信しない」 ターミナルアダプタの自己診断モードでISDN回線の状況を確認し、異常があった場合はご利用の電話会社へご連絡ください。
		電話を受けてもベルが鳴らない	何も接続していない空アナログポートは「使用しない」に設定してください。 契約回線番号、またはi・ナンバーは正しく入力されているか確認してください。
		本機が接続されているアナログポートに1～2回おきにしか着信しない	「着信優先」または「応答平均化」を使用する設定の場合、1～2回おきにしか着信できません。
		契約回線番号のアナログポートに電話がかかってきたのに、i・ナンバーのアナログポートに接続した機器の呼出ベルも鳴る	i・ナンバーのアナログポートの設定を確認します。 グローバル着信は「しない」に設定してください。
		自分の声や相手の声が大きく聞こえて話しにくい	ISDN回線のターミナルアダプタに接続していませんか。 ターミナルアダプタに受話音量の設定がある場合は、受話音量「ショウ」に設定してください。また、本機の受話音量を小さくしてください。「受話音量を設定する」(☎76ページ)
		特定の相手とファクス通信できない	特別回線対応の設定を「ISDN」にしてください。(☎104ページ) それでも異常がある場合は、「お客様相談窓口(コールセンター)：☎0120-161-170」へご連絡ください。
		ファクス送受信ができない(電話も使えない)	ターミナルアダプタの自己診断モードでISDN回線の状況を確認し、異常があった場合はご利用の電話会社へご連絡ください。回線に異常がなければ、「お客様相談窓口(コールセンター)：☎0120-161-170」へご連絡ください。
	ひかり電話サービス	電話がかけられない	ひかり電話サービスをご利用の場合、回線種別を自動設定できない場合があります。
		携帯電話に電話がかけられない	ケータイ通話お得サービスを「する」に設定していませんか。
		ナンバー・ディスプレイが動作しない	VoIPアダプタ側が、ナンバー・ディスプレイを使用しない設定になっていませんか。
		非通知の相手からの着信ができない	VoIPアダプタ側が、着信拒否をする設定になっていませんか。
ファクス／コピー	送信／受信	スタートボタンを押しても送信／受信しない	原稿がセットされているのに受信しようとしていませんか。 原稿が正しくセットされていないのに送信しようとしていませんか。 スタートコピー(⑤)を押す前に、受話器を戻していませんか。 回線種別が正しく設定されていますか。
			原稿を外して受信します。 「電話に出てから受ける(手動受信)」(☎43ページ) 原稿を正しくセットしてください。 スタートコピー(⑤)を押してから受話器を戻します。 「話をしてから送る(手動送信)」(☎41ページ)、「電話に出てから受ける(手動受信)」(☎43ページ) 回線種別を正しく設定してください。 「手動で回線種別を設定する」(☎9ページ)

こんなときは		ここをチェック	対処のしかた
ファクス／コピー	送信／受信	ファクス送信／受信ができない	インターネット電話やIP電話など、IP網を使用していませんか。(「050」で始まる電話番号でかけた場合の相手側を含む) ファクスを送信／受信できる相手とできない相手がありますか。
		インターネット電話やIP電話など、IP網の状況によりファクス送信／受信ができないことがありますので、IP網を使わずに送信／受信してください。不明な点は、ご契約のIP電話サービス会社へお問い合わせください。 安心通信モードの設定を「する」にしてください。(※104ページ) 送信の場合は、一般電話回線を使用して送信してください。	安心通信モードの設定を「する」にしてください。(※104ページ)
	送信	ファクス送信ができない	再ダイヤル待機中はファクス送信ができません。再ダイヤルを中止してよい場合は、  で中止し、送信してください。
		ファクスを送信できない場合がある(インターネット電話やIP電話などのIP網を使用している場合)	回線種別が正しく設定されていますか。 「手動で回線種別を設定する」(※9ページ) 電話帳機能を利用してファクスを送っていますか。 自動送信機能を使用していますか。(※41ページ) 手動で「0」発信や電話会社を選択して送信していませんか。
		電話帳機能を利用してファクスを送信できない場合がある	登録している電話番号の間にポーズ「p」(親機)、「P」(子機)が入っていませんか。
		送信後、相手から画像が乱れていると連絡があった	きれいにコピーがとれますか。 相手に異常がありませんか。 画質モードは適切ですか。 キャッチホンが途中で入っていませんか。
			コピーに異常があるときは読取部の清掃をしてください。 「ファクス送受信時やコピー時の画質が悪いとき」(※83ページ) 相手先に確認します。 画質を調整します。 「画質の調整」(※47ページ) キャッチホンが途中で入ると、画像が乱れることがあります。 「キャッチホンを利用する」(※31ページ)
		受信しても、記録紙が白紙のまま出てくる	相手側と連絡を取り、原稿を裏返しに送信していないかを確認してください。 コピーは正しくとれますか。
		受信したファクスの同じページを何度も印刷する	記録紙トレイにセットされている記録紙が1～2枚になっていませんか。
		きれいに受信できない	電話回線の接続が悪いため起こります。 相手側の原稿に異常がありませんか。(うすい、かすれなど)
		受信したファクスが縮小されて印刷される	相手がA4よりも長いサイズ of 原稿を送信していませんか。
		B4サイズの原稿が受信できない	相手側の問題です。相手側のファクスに縮小送信機能がある場合、本機はA4サイズで受信します。
		構内交換機(PBX)に内線接続したときに、ファクス受信できない	内線または外線から、ファクス受信するときのベルの鳴りかたを確認し、特別回線対応の設定を「PBX」にしてください。(※104ページ) それでも異常がある場合は、「お客様相談窓口(コールセンター): ☎ 0120-161-170」にご連絡ください。
	受信	受信しても、記録紙が白紙のまま出てくる	相手側と連絡を取り、原稿を裏返しに送信していないかを確認してください。 コピーは正しくとれますか。
		受信したファクスの同じページを何度も印刷する	記録紙トレイにセットされている記録紙が1～2枚になっていませんか。
		きれいに受信できない	電話回線の接続が悪いため起こります。 相手側の原稿に異常がありませんか。(うすい、かすれなど)
		受信したファクスが縮小されて印刷される	相手がA4よりも長いサイズ of 原稿を送信していませんか。
		B4サイズの原稿が受信できない	相手側の問題です。相手側のファクスに縮小送信機能がある場合、本機はA4サイズで受信します。
		構内交換機(PBX)に内線接続したときに、ファクス受信できない	内線または外線から、ファクス受信するときのベルの鳴りかたを確認し、特別回線対応の設定を「PBX」にしてください。(※104ページ) それでも異常がある場合は、「お客様相談窓口(コールセンター): ☎ 0120-161-170」にご連絡ください。
		受信しても、記録紙が白紙のまま出てくる	相手側と連絡を取り、原稿を裏返しに送信していないかを確認してください。 コピーは正しくとれますか。
		受信したファクスの同じページを何度も印刷する	記録紙トレイにセットされている記録紙が1～2枚になっていませんか。
		きれいに受信できない	電話回線の接続が悪いため起こります。 相手側の原稿に異常がありませんか。(うすい、かすれなど)
		受信したファクスが縮小されて印刷される	相手がA4よりも長いサイズ of 原稿を送信していませんか。
		B4サイズの原稿が受信できない	相手側の問題です。相手側のファクスに縮小送信機能がある場合、本機はA4サイズで受信します。

第1章
準備する第2章
ご使用する前に第3章
電話第4章
ファクス第5章
コピー第6章
留守番機能第7章
ナビゲーション第8章
知らせるセンサー第9章
活用する第10章
こんなときには第11章
付録

故障かな？と思ったら

こんなときは		ここをチェック	対処のしかた
ファクス／コピー	受信	自動受信できない	呼出回数が多すぎませんか。 在宅モードのときは呼出回数を6回以下に、留守モードのときは呼出回数を2回以下に設定してください。 「呼出回数設定」(☞25ページ) または スタートコピー を押して手動で受信してください。
		お買い上げ時、ファクスはメモリーに受信する設定になっています。「みるだけ受信」(☞44ページ)	自動で記録紙に印刷したいときは「みるだけ受信」の設定を解除してください。(☞45ページ)
		メモリーがいっぱいではありませんか。	メモリーが不足している場合にはファクスが受信できない場合があります。不要なファクスや留守録データを消去してください。
	送信／受信／コピー	きれいにコピーできない ファクス送信時やコピー時にたて縞などが入る	読取部を清掃してください。 「ファクス送受信時やコピー時の画質が悪いとき」(☞83ページ)
		受信／コピーしても、記録紙が出てこない	記録紙、または上カバーを正しくセットします。「記録紙の準備」(☞10ページ)
		記録紙は正しくセットされていますか。	
		記録紙がなくなっていますか。	
		上カバーは確実に閉まっていますか。	
		記録紙がつまっていますか。	つまった記録紙を取り除きます。 「記録紙がつまったときは」(☞86ページ)
	その他	記録紙が重なって送り込まれる	紙をさばいて入れ直してください。「記録紙の準備」(☞10ページ)
		受信したファクスの印刷中にリボンがなくなった	新しいリボンをセットすると、印刷を開始します。
原稿	原稿が繰り込まれていかない	原稿の先が軽くあたるまで差し込んでいますが。	原稿を正しくセットします。 「原稿のセットのしかた」(☞41ページ)
		上カバーは確実に閉まっていますか。	
		原稿が厚すぎたり、薄すぎたりしていませんか。	使用できる原稿を確認してください。 「原稿・記録紙について」(☞48ページ)
		原稿が折れ曲がったり、カールしていたり、しわになっていませんか。	
		原稿が小さすぎませんか。	
		原稿挿入口に破れた原稿などがつまっていますか。	つまった原稿を取り除きます。 「原稿がつまったときは」(☞85ページ)
	原稿が斜めになってしまう	原稿ガイドを送信原稿に合わせていますか。	原稿を正しくセットします。 「原稿のセットのしかた」(☞41ページ)
		原稿挿入口に破れた原稿などがつまっていますか。	つまった原稿を取り除きます。 「原稿がつまったときは」(☞85ページ)
その他	電源が入らない	電源プラグは確実に差し込まれていますか。	電源プラグを確実に差し込みます。(雷で電源が入らなくなったときは、有償修理になります。)
	無線 LAN 機器の速度が低下する 接続が切れるときがある	親機や子機が近くにありませんか。	親機や子機から無線LAN機器を3m以上離してください。または、親機と子機間の「子機通信チャンネル」の設定を変更してください。(☞102ページ)
	知らせるセンサーが反応しない、または誤作動する	センサー部にほこりや遮へい物などありませんか。 クーラーの風があたるなど、センサー部の温度が急変することがありませんか。 屋外から直射日光が入りませんか。	センサー部を掃除するか、遮へい物を取り除いてください。 親機の設置場所を変えてください。

お願い

製品の異常により修理が必要となった場合、故障箇所や修理箇所によっては「消去されないデータ」(☞101 ページ)でも消えることがあります。

停電になったとき

本機はAC電源を必要としているため、停電時は親機も子機も使用できなくなります。停電時に備えて、あらかじめ停電用電話機（AC電源を必要としない電話機）を保管することをおすすめします。

お願い

- 半日以上停電が続いたときは、日付が正しく表示されないことがあります。再設定してください。
- 子機のバッテリーを取り外したときは、日付・時刻を再設定してください。
- 停電によって消去されたデータを復活させることはできません。

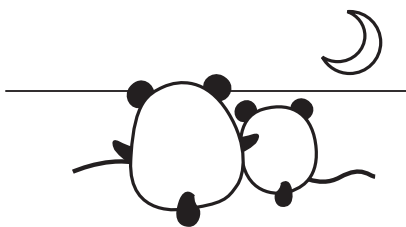
メモ

- 停電時のデータについて

消去されないデータ	電話帳（親機、子機）、各種登録・設定内容、着信履歴（子機）、発信履歴（子機）
数時間以上経つと消去されるデータ※	着信履歴（親機）、発信履歴（親機）、通信管理レポート、メモリーに受信したファクス、音声メッセージ、モーニングアラーム設定内容（親機）、おやすみモード設定内容
停電後すぐ消去されるデータ	読み取ったファクス原稿

※ただし、停電前に連続1週間以上、電源が入った状態しておく必要があります。

- 通話中に停電になったときは、親機、子機ともに電話は切れます。
 - 留守モード時、メッセージを録音中に停電になったときは、録音中の内容は保存されません。
- **停電回復時の動作**
 停電回復時には、ディスプレイに「リボンを交換しましたか？」と表示されます。そのまま放置しておくと、約4分後にリボンカウンタはそのままリボンを巻き取り、待機状態に戻ります。



通話がうまくいかないときは

親機や子機の近くに微弱な電波を発する電気製品がある場合は、通話や子機の使用に影響を受けることがあります。通話がうまくいかないときは下記の設定をすると、改善されることがあります。

- 自分の声の響きが気になるときは…「通話音質調整」
- 通話中に雑音が気になるときは…「子機通信チャンネル（親機）」、「通話パワー（子機）」

通話音質調整

自分の声の響きが気になるときは、通話音質調整を設定することにより改善されることがあります。親機は「設定1」から「設定2」、子機は「設定1」から「設定4」の順にお試しください。親機で設定します。「設定1」は自分の声の響きが標準で、通話の切り替わりがスムーズです。

子機の音質を調整するとき

機能  押す ▶  で「子機通話調整」を選ぶ ▶  で「設定1」から「設定4」を選ぶ ▶  押す ▶  押す

親機の音質を調整するとき

機能  押す ▶  で「親機通話調整」を選ぶ ▶  で「設定2」を選ぶ ▶  押す ▶  押す

子機通信チャンネル（親機）

使用環境によって、子機の通話状況がよくないときや無線LANの通信速度が低下するときなどに設定します。親機と子機間の通信チャンネルを切り替えると改善されることがあります。親機で設定します。お買い上げ時は、「設定3」に設定されています。

「設定1」に設定するとき

機能  押す ▶  で「設定1」を選ぶ ▶  押す ▶  押す

通話パワー（子機）

子機の電波状況がよくないときに設定します。子機で設定します。お買い上げ時は、「ヒョウジ」に設定されています。

設定するとき

通話パワーを設定します。

機能  押す ▶  で「ツカパワー」を選ぶ ▶ 機能  押す ▶  で「ツヨイ」を選ぶ ▶ 機能  押す ▶  押す

解除するとき

通話パワー設定を解除します。

機能  押す ▶  で「ツカパワー」を選ぶ ▶ 機能  押す ▶  で「ヒョウジ」を選ぶ ▶ 機能  押す ▶  押す

注意

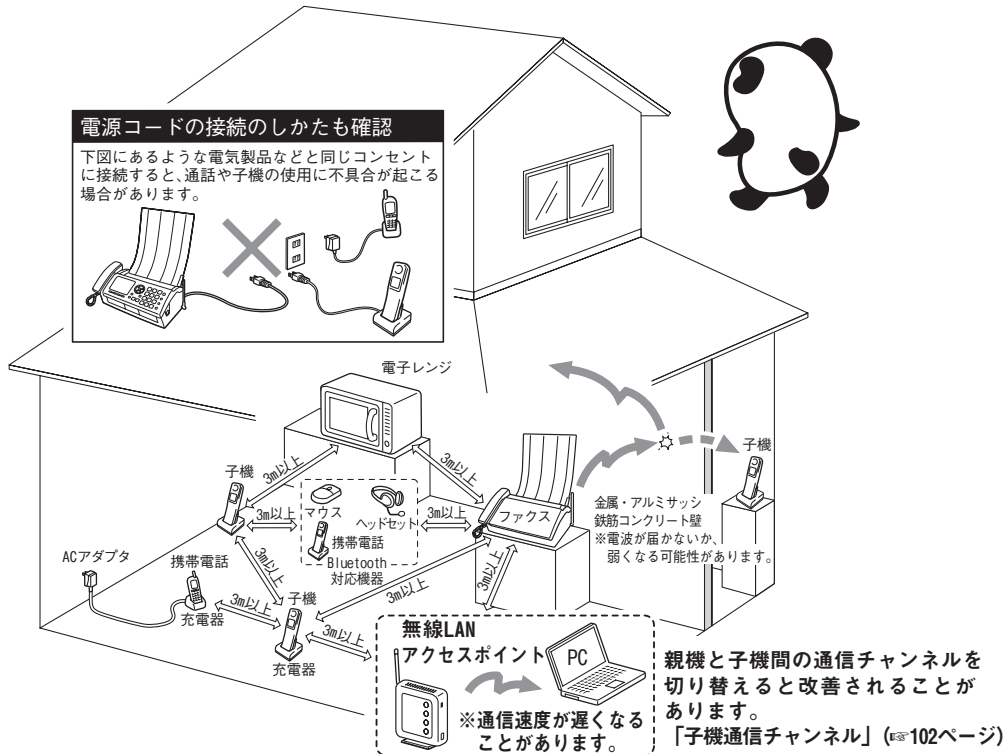
- 親機と設定した子機間のみ通話品質が改善されます。
- 通話パワーを「ツヨイ」に設定すると音質の劣化を少なくし、通話品質が改善されることがあります。ただし、「ツヨイ」に設定すると「ヒョウジ」の設定に比べ連続通話時間が短くなることがあります。



□を選択するときは、
下部の選択ボタンを
押してください。

通話や子機の使用に影響を及ぼす可能性のある環境

通話状況が良くないときは、以下の環境をご確認ください。



● 子機の設定場所を確かめる

- マンションなど鉄筋コンクリートの建物内や金属製の扉・家具の近くなど、周辺の環境によっては電波の届く範囲が狭くなることがあります。
※ 親機と子機の間で内線通話をして、通話ができる範囲をお確かめください。
- 本製品に他社の子機を増設することはできません。

- 親機、子機を電気製品（電子レンジ、無線 LAN 機器、Bluetooth™対応機器、携帯電話やPHSの充電器やACアダプタ、OA機器など）やセキュリティシステム、他の電話機および装置から3m以上離して設置してください。
- 子機は親機や他の子機から3m以上離して設置してください。

● 通話が途切れたり、雑音が入る場合について

- 電源コードや電話機コードを、アンテナに巻きつけたり引っ掛けたりすると、子機の着信音が鳴らなったり、通話時に雑音が入ったりすることがあります。
- 移動しながら子機を使用しているときは、使用場所により電波が弱い場所があります。雑音が少ない場所で使用してください。

- 以下のような場合は雑音が入ることがあります。
 - ・ 電気製品（電子レンジ、OA機器、携帯電話やPHSの充電器やACアダプタなど）の近くに設置しているとき
 - ・ 無線 LAN機器、携帯電話、PHS などのACアダプタを親機や充電器の電源コードと同じコンセントに接続しているとき

- ご近所、同じマンション内で別のコードレス電話機を使用しているときは、雑音が入ることがあります。一時的に親機をご使用ください。

- 受話口や送話口（マイク）を手でふさぐと、相手の声が聞こえにくくなったり、自分の声が相手に聞こえにくくなります。

● 他の機器の動作や性能への影響について

- その他、下記の機器でも 2.4GHz の周波数帯の電波を使用しているものがあります。これらの機器の周辺では、声が途切れたり、使えなくなることがあります。また、相手の機器の動作に影響を与えることがあります。なるべく、設置場所や使用場所を離してください。

- ・ 火災報知器
- ・ 工場や倉庫などの物流管理システム
- ・ マイク口波治療器
- ・ 自動ドア
- ・ 自動制御機器

- ・ アマチュア無線局
- ・ ワイヤレス AV 機器（テレビ、ビデオ、パソコンなど）
- ・ 無線 LAN 機器
- ・ 鉄道車両や緊急車両の識別システム

- ・ ゲーム機のワイヤレスコントローラー
- ・ 万引き防止システム（書店やCDショップなど）
- ・ その他、Bluetooth™対応機器や VICS（道路交通網システム）など

● 故障ではありません

- 電波を使用しているため、電話がかかってくると親機または子機の着信音が少し遅れて鳴ることがあります。これは故障ではありません。そのままお使いください。

● “傍受” にご注意ください

- 本製品は、デジタル信号を利用した傍受されにくい製品ですが、コードレス子機を使っている通話は電波を使っているため、第三者が故意または偶然に受信することも考えられます。大切な通話は、親機のご使用をおすすめします。

「傍受」とは

無線連絡の内容を第三者が別の受信機で故意または偶然に受信することです。

第1章
準備する第2章
ご使用の前に第3章
電話第4章
ファックス第5章
コピー第6章
留守番機能第7章
ナビディスプレイ第8章
知らせるセンサー第9章
活用する第10章
こんなときには第11章
付録

特別設定について



□を選択するときは
下部の選択ボタンを
押してください。

使用状況に応じて以下の設定をしてください。

特別回線対応

ファクスがうまく送受信できないときや電話が使えないときなどに使用している回線を設定します。
お買い上げ時は、「一般」に設定されています。

ISDN 回線のとき	ISDN 回線を使用しているときに設定します。
機能  押す ▶  で「ISDN」を選ぶ ▶  押す ▶  押す	
構内交換機 (PBX) のとき	構内交換機 (PBX) を使用しているときに設定します。
機能  押す ▶  で「PBX」を選ぶ ▶  押す ▶  押す	
注意  「PBX」に設定すると自動的にナンバー・ディスプレイの設定が「なし」になります。 ナンバー・ディスプレイの設定を再度「あり」にするときは、特別回線対応の設定を「一般」にしてください。	
初期設定に戻すとき	初期状態「一般」に戻すときに設定します。
機能  押す ▶  で「一般」を選ぶ ▶  押す ▶  押す	

安心通信モード

通信エラーの発生しやすい特定の相手にファクスをより確実に通信したいとき一時的に設定します。
「する」に設定すると通信できる可能性が高くなりますが、通常の通信時間に比べて多少時間がかかります。
お買い上げ時は、「しない」に設定されています。

設定するとき	安心通信モードを設定します。
機能  押す ▶  で「する」を選ぶ ▶  押す ▶  押す	
解除するとき	安心通信モードを解除します。
機能  押す ▶  で「しない」を選ぶ ▶  押す ▶  押す	

ダイヤルトーン設定

ファクス送信時に「おかけになった番号は現在使われておりません」などのメッセージが流れて正しく自動送信できない場合は、「する」に設定します。
お買い上げ時は、「しない」に設定されています。

設定するとき	ダイヤルトーンを設定します。
機能  押す ▶  で「する」を選ぶ ▶  押す ▶  押す	
注意  接続環境によって送信できない場合は、「しない」に設定してください。	
解除するとき	ダイヤルトーン設定を解除します。
機能  押す ▶  で「しない」を選ぶ ▶  押す ▶  押す	



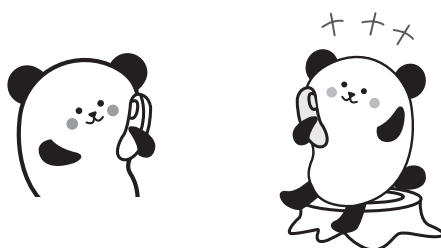
☐を選択するときは、
下部の選択ボタンを
押してください。

子機増設モード

注意

別売りの増設子機を増設するときに必要な設定です。増設設定後、増設子機として使用することができます。子機を増設しないとき、子機のディスプレイに「ヤキノソウセツトニハツケタサイ」と表示されたときは、**(切)**を押してください。すぐに**(切)**を押さないと「ヤキノソウセツトニハツケタサイ」が2分間表示されて増設されずメニュー画面に戻ります。

- 増設子機は別売りです。本機をお買い上げの販売店またはご注文シート（P.121ページ）でお求めください。
- 増設できる子機は、親機に付属の子機を含めて4台です。
- 登録方法は増設子機（別売り）の取扱説明書をご覧ください。



準備する
第1章

ご使用の前に
第2章

電話
第3章

ファクス
第4章

コピー
第5章

留守番機能
第6章

ナンバーディスプレイ
第7章

知らずのセンサ
第8章

活用する
第9章

こんなときには
第10章

付録
第11章

文字の入れかた（親機）

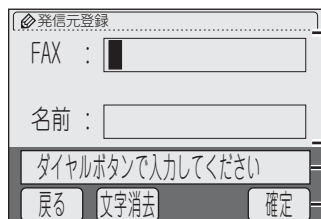


□を選択するときは、下部の選択ボタンを押してください。

発信元登録、電話帳の登録、各種コメントでは、ダイヤルボタンを使って文字を入力します。親機で入力できる文字は、ひらがな、カタカナ、漢字、アルファベット、数字、記号です。

入力画面とボタン操作

本機では下記のような画面で文字を入力します。



- 入力する項目や内容を表示します。
 - ・電話番号、ファクス番号などの数字入力時は、入力域に直接入力します。（直接入力）
 - ・名前などの入力時は、**[入力]**を押してから文字を入力します。（変換入力）
- 入力の操作方法が表示されます。
- 選択できる操作が表示されます。



例) **[かな]**： 入力できる文字の種類を切り替えます。（文字切替）

（**[かな]**→**[カナ]**→**[英]**→**[数]**→**[かな]**…）

[変換]： ひらがなを漢字に変換します。

[入力]： 文字入力モードに入ります。

[文字消去]： 選択している文字を消去します。選択位置より右に文字がないときは、1つ手前の文字を消去します。）

[確定]： 入力した文字を確定させます。

入力例

■ 入力例 1：電話帳の名前に『BRO)4 ブラザー太郎』と入力する。

[入力] **[英]** **[2]**を5回押す **[7]**を7回押す **[6]**を6回押す **[#]**を18回押し **[確定]**を押す
 「英」を表示 **B** **R** **0** **)**

[数] **[4]**を1回押す **[<]** **[カナ]** **[6]**を3回押す **[*]**を1回押す **[9]**を1回押す **[3]**を1回押す **[*]**を1回押す **[0]**を6回押す
 「数」を表示 **4** スペース 「カナ」を表示 **ブ** **ラ** **ザ** **ー**

[かな] **[4]**を1回押す **[9]**を5回押す **[1]**を3回押す
 「かな」を表示 **た** **ろ** **う**

[変換] **[確定]**
 ↓
太郎 足ろう たろう（画面に変換候補が表示されます）
[<]>で変換したい文字を選び **[確定]**を押す

■ 入力例 2

● 文字の種類を切り替える	[かな] （文字切替）を押す（かな→カナ→英→数→かな…）
● スペースを入れる	[0] を7回押す、または [<] を押して [] （カーソル）を右に移動させる
● 記号を入力する	「英」のときは [#] を押して記号を選び [確定] を押して入力する 「かな」「カナ」のときは、 [#] を押して [*] で記号を選び、 [確定] を押して入力する
● 同じボタンで続けて文字を入力する	[<] を押して [] （カーソル）を1文字分移動させて入力する
● 漢字の変換候補を選ぶ	[<]> で変換候補を切り替える
● 文字を消去する	[<]> を押して消去したい文字まで [] （カーソル）を移動し、 [文字消去] を押す

文字の入れかた（子機）

電話帳の登録など、ダイヤルボタンを使って入力します。
子機で入力できる文字は、カタカナ、アルファベット、数字、記号です。

入力画面とボタン操作

本機では下記のような画面で文字を入力します。

●	入力する位置や入力待ちであることを表示しています。（カーソル）
●	入力できる文字が表示されます。
①	名前を入力するときに、入力できる文字の種類を切り替えます。 押すたびにカナ（半角カタカナ）、英数（アルファベット・数字）が切り替わります。 (英 → カ → 英 …)
	電話番号入力時に、ポーズ（約3秒間の待ち時間）を入力します。
②	入力した文字を確定させます。
③	カタカナ、アルファベット、数字、記号を入力します。
④	選択している文字を消去します。（選択位置より右に文字がないときは、1つ手前の文字を消去します。）

入力例

■ 入力例 1：電話帳の名前に『BRO)4 ブラザー』と入力する。

文字切替/P (2カ) を5回押す (7マ) を7回押す (6ハ) を6回押す 文字切替/P (*ト) を5回押す
「英」を表示 B R O 「カナ」を表示)

文字切替/P (4ガ) を7回押す 文字切替/P (6ハ) を3回押し (*ト) を1回押す (9ワ) を1回押す
「英」を表示 4 「カナ」を表示 ブ ラ

(3ゼ) を1回押し (*ト) を1回押す (0フ) を6回押す
ザ ー

■ 入力例 2

● 文字の種類を切り替える	文字切替/P を押す（英→カナ→英…）
● スペースを入れる	(#) を1回押す、または() を2回押す
● 記号を入力する	入力したい記号ボタン（(*)または(#)）を押して記号を選ぶ
● 同じボタンで続けて文字を入力する	() を押して■（カーソル）を1文字分移動させて入力する
● 文字を消去する	() を押して消去したい文字まで■（カーソル）を移動し、() を押す

入力できる文字と入力制限

■ 入力できる文字（文字列一覧表）

ボタン	カタカナ	英・数字
① ア	アイウエオアイウエオ	1
② カ	カキクケコ	a b c A B C 2
③ サ	サシスセソ	d e f D E F 3
④ タ	タチツテトッ	g h i G H I 4
⑤ ナ	ナニヌネノ	j k l J K L 5
⑥ ハ	ハヒフヘホ	m n o M N O 6
⑦ マ	マミムメモ	p q r s P Q R S 7
⑧ ヤ	ヤユヨヤユヨ	t u v T U V 8
⑨ ラ	ラリルレロ	w x y z W X Y Z 9
⑩ ワ	ワヲン、。ー	0
* ＊	* ° - () / &	- () / &
# ＃	(スペース) ! ? @ # * + \$ % . , ` ' : ; _ = < > [] ^	

■ 入力できる文字の種類や文字数

項目		カタカナ	英字・数字・記号	入力文字数
電話帳	電話番号	×	○ (*1)	20文字
	名前	○	○	11文字

1: 0～9、「」、「#」、ポーズ（約3秒間の待ち時間）のみ入力できます。

ポーズは  で入力します。入力したポーズはディスプレイに「P」で表示されます。

第1章
準備する第2章
ご使用の前に第3章
電話第4章
ファックス第5章
コピー第6章
留守番機能第7章
データベース第8章
知らせるセンサー第9章
活用する第10章
こんなときには第11章
付録

ユーザー辞書に登録する（親機）



○を選択するときには、下部の選択ボタンを押してください。

変換してもすぐに出てこない単語などを登録すると、すばやく入力することができます。

■ 登録する

1 機能 1 4 を押す

何も登録されていない場合は「登録されていません」と表示されます。

2 登録を押す

3 入力を押して読みを入力し 確定を押す

- ・全角ひらがなが使用できます。
- ・「文字の入れかた（親機）」（P.106ページ）

4 戻るを押す

5 入力を押して語句を入力し 確定を押す

「文字の入れかた（親機）」（P.106ページ）

6 確定を押す

「受けつけました」と表示されます。

7 停止を押す



■ 修正する

1 機能 1 4 を押す

2 ⑤で修正したい語句を選び 編集を押す

「読み」の入力枠が選択されています。

3 以降の操作は、左記「■登録する」の手順3からと同様に操作します。

■ 消去する

1 機能 1 4 を押す

2 ⑤で消去したい語句を選び 消去/キャンセルを押す

3 はいを押す

選択した語句が消去されます。

4 停止を押す



機能一覧（親機）

本機で設定できる機能や設定は次のようになります。
ディスプレイに表示されるメッセージにしたがって、登録や設定を行います。

機能	設定項目	機能説明	設定内容 （太字：初期設定値）	操作	参照 ページ
初期設定	回線種別設定	電話回線に合わせて回線種別を設定します。	プッシュ回線 ダイヤル10PPS ダイヤル20PPS 自動設定	機能 ○  	9ページ
	日時設定	現在の日付と時刻を登録します。	09年 01月 01日 00時 00分	機能 ○  	10ページ
	発信元登録	ファクスに印刷される発信元の名前やファクス番号を登録します。	—	機能 ○  	22ページ
	ユーザー辞書登録	変換してもすぐに出てこない単語などを登録します。	—	機能 ○  	110ページ
	画面のコントラスト	ディスプレイのコントラストを調整します。	1～8 (5)	機能 ○  	18ページ
	子機増設モード	増設子機（別売り）のID登録をします。登録後、増設子機が使用できます。	—	機能 ○  	105ページ 詳しくは、増設子機（別売り）の取扱説明書をご覧ください。
	おやすみタイマー設定	おやすみモードの設定（開始／終了時刻の設定）をします。	ON OFF	機能 ○  	78ページ
受信設定	デモ動作設定	デモ画面を設定します。（通常は「しない」の設定で使います。）	する しない	機能 ○  	9ページ
	呼出回数	着信してから本機が応答するまでに鳴る呼出回数を設定します。	在宅モード (0～ (7回) ～15回／無制限) 留守モード (0～ (2回) ～07回／トールセーバー)	機能 ○  	25ページ
	再呼出設定	在宅モードのときの受信のしかたや応答のしかたを選択します。	ON (電話呼出(相手にベル／相手にメッセージ)) OFF (ファクス専用)	機能 ○  	25ページ
	みるだけ受信	ファクスの内容をディスプレイで確認します。	する しない	機能 ○  	44ページ
	親切受信	ファクスの親切受信を設定します。	する しない	機能 ○  	45ページ
	A4自動縮小受信	A4サイズより長い原稿が送られてきたとき、自動的に縮小する／しないを設定します。	する しない	機能 ○  	45ページ



操作を途中で中止するときは、を押します。

第1章
準備する

第2章
ご使用する前に

第3章
電話

第4章
ファクス

第5章
コピー

第6章
留守番機能

第7章
ナビディスプレイ

第8章
知らせるセンサー

第9章
活用する

第10章
こんなときには

第11章
付録

機能一覧（親機）

機能	設定項目	機能説明	設定内容 (太字：初期設定値)	操作	参照 ページ
送信 設定	原稿濃度	原稿の文字の濃さに合わせた調整をします。	濃く 普通 薄く	機能 ○  	47ページ
	海外送信モード	海外にファクスを送信するときに設定します。	する しない	機能 ○  	42ページ
待機 一覧	—	送信の設定を解除します。	—	機能 ○ 	42ページ
リス ト出 力	送信レポート	ファクス送信後に送信結果を印刷するための設定をします。	出力する エラーのみ出力 出力しない	機能 ○  	80ページ
	通信管理 レポート	最新の通信結果を印刷します。 (送信、受信合わせて30件です。)	出力しない 6/12/24時間ごと、2 日ごと、1週間ごと、 30件ごと	機能 ○  	79ページ
	電話帳リスト	電話帳に登録した内容を50音順に印刷します。	—	機能 ○  	80ページ
	設定内容リスト	各種機能に登録・設定されている内容を印刷します。	—	機能 ○  	80ページ
	メモリー 使用状況リスト	使用可能なメモリー量など、メモリーの使用状況を印刷します。	—	機能 ○  	80ページ
	一括送信 レポート	一括送信後に送信結果を印刷するための設定をします。	出力する エラーのみ出力	機能 ○  	80ページ
留守 設定	応答メッセージ	留守応答メッセージ（留守応答1、留守応答2）、在宅応答メッセージ（在宅応答）の録音／再生／消去をします。	留守応答1 留守応答2 在宅応答	機能 ○  	51ページ
	メッセージ録音 時間	1件の音声メッセージの最長録音時間を設定します。	30秒 60秒 120秒 180秒	機能 ○  	52ページ
	留守録モニター	留守録メモリーに録音中の相手の声が、スピーカーから聞こえる／聞こえないを設定します。	する しない	機能 ○  	52ページ
	暗証番号設定	外出先から本機を操作するための暗証番号を設定します。	暗証番号: - - - *	機能 ○  	53ページ
	ファクス／留守 録転送	メッセージを受信したとき、「ファクス転送」や「留守録転送」をするための設定をします。	しない ファクス 留守録	機能 ○  	55、56ページ



操作を途中で中止するときは、を押します。

機能	設定項目	機能説明	設定内容 (太字：初期設定値)	操作	参照 ページ
メロディ／音設定	着信音	着信音の鳴りかたを設定します。	ベル1～4 着信ボイス1～12 楽しいメロディ1～2 癒しのメロディ1～15 季節のメロディ1～12 目覚ましボイス1～6	機能 ○  	73ページ
	保留メロディ	保留音の鳴りかたを設定します。	メロディ 1～29 花のワルツ	機能 ○  	74ページ
	モーニングアラーム	モーニングアラームの鳴りかたと時刻を設定します。	アラーム1 アラーム2 アラーム3	機能 ○  	77ページ
	ボタン確認音量	ボタンを押したときの音量を設定します。	切 小 中 大	機能 ○  	76ページ
ナンバー・ディスプレイ	ナンバー・ディスプレイ	NTTのナンバー・ディスプレイを使用する／しないを設定します。	あり なし	機能 ○  	58ページ
	着信鳴り分け設定	電話帳に登録した電話番号ごとに、着信先や着信音を設定します。また、かかってきた電話番号が非通知の場合の着信音を設定することができます。	電話／ファクス／迷惑指定 着信音：ベル1～4／ メロディ 1～29／ ボイス1～18	機能 ○  	59ページ
	非通知着信拒否	電話番号非通知の相手先からの着信を拒否します。	する しない	機能 ○  	60ページ
	公衆電話拒否	公衆電話からの着信を拒否します。	する しない	機能 ○  	60ページ
	表示圏外着信拒否	表示圏外からの着信を拒否します。	する しない	機能 ○  	61ページ
	着信拒否モニター	着信拒否メッセージを再生するとき、スピーカーから聞こえる／聞こえないを設定します。	する しない	機能 ○  	61ページ
	キャッチホンディスプレイ	NTTのキャッチホン・ディスプレイを使用する／しないを設定します。	あり なし	機能 ○  	58ページ
	着信履歴消去	着信履歴の内容をすべて消去します。	—	機能 ○  	63ページ
知らせるセンサー	知らせるセンサー	知らせるセンサー感知時のお知らせ方法を設定します。	アラーム&音声 アラームのみ 使用しない	機能 ○  	66ページ
	アラーム	お知らせアラームの鳴りかたを設定します。	アラーム 1 アラーム 2 アラーム 3 アラーム 4	機能 ○  	67ページ
	お知らせ音量	お知らせアラームの音量を設定します。	(着信音量設定時と同じ4段階)	機能 ○  	67ページ
	センサー感度	知らせるセンサーの感度を設定します。	弱 中 強	機能 ○  	68ページ
	センサー反応テスト	知らせるセンサーの反応をテストします。	—	機能 ○  	68ページ
	お知らせ回数	知らせるセンサーのお知らせ回数を設定します。	1回 2回 3回	機能 ○  	68ページ



操作を途中で中止するときは、を押します。

第1章
準備する

第2章
ご使用の前に

第3章
電話

第4章
ファクス

第5章
コピー

第6章
留守番機能

第7章
ナビディスプレイ

第8章
知らせるセンサー

第9章
活用する

第10章
こんなときには

第11章
録

機能一覧（親機）

機能	設定項目	機能説明	設定内容 (太字：初期設定値)	操作	参照 ページ
その他	特別回線対応	ファクスがうまく送受信できないときや電話が使えないときなどに使用している回線を特定し、設定します。	一般 ISDN PBX	機能   1	104ページ
	通話音質調整	相手の声が聞こえにくかったり、自分の声が響いたりするときに設定します。	子機通話調整 (設定1／ 設定2 ／ 設定3／設定4) 親機通話調整 (設定1 ／設定2)	機能   2	102ページ
	安心通信モード	通信エラーの発生しやすい回線にファクスをより確実に通信したいときに設定します。	する しない	機能   3	104ページ
	ダイヤルトーン設定	ファクス通信時に、より早く確実にダイヤルしたいときに設定します。	する しない	機能   4	104ページ
	子機通信チャンネル	使用環境によって、無線LANの通信速度が低下する場合や通話状況がよくないときなどに設定します。	設定1 設定2 設定3	機能   5	102ページ
	ケータイ通話お得サービス	携帯電話に電話をかけるとき、携帯電話番号の前に事業者識別番号を付けて発信するように設定します。	する (一般回線／IP電話／ ひかり電話／その他、 わからない) しない	機能   6	27ページ
	事業者識別番号	「0033」(NTTコミュニケーションズ) 以外のサービスをご利用のとき事業者識別番号を変更します。	0033	機能   7	27ページ
	個人情報消去	お客様の情報を消去します。	—	機能   8	117ページ
	機能設定初期化	お買い上げいただいたときの状態に戻します。	—	機能   9	118ページ



操作を途中で中止するときは、を押します。



機能一覧（子機）

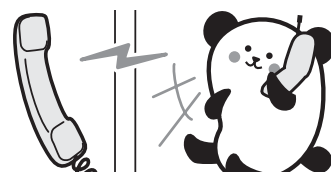


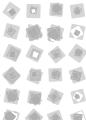
□を選択するときは、下部の選択ボタンを押してください。

機能	設定項目	機能説明	設定内容 (太字：初期設定値)	操作	参照 ページ
ダイヤル登録	電話帳登録	電話帳に電話番号や相手の名前を登録します。	(全100件)	電話帳 → 機能(設定)	38ページ
	電話帳変更	電話帳に登録した電話番号や相手の名前を変更します。	—	電話帳 → 機能(設定) → 機能(設定) → 機能(設定)	39ページ
	電話帳消去	電話帳に登録した相手を消去します。	—	電話帳 → 機能(設定) → 機能(設定) → 機能(設定) → 機能(設定)	39ページ
	電話帳転送	子機に登録した電話番号を、親機へ転送できます。	—	電話帳 → 機能(設定) → 機能(設定) → 機能(設定) → 機能(設定)	40ページ
鳴動音設定	着信音選択	着信音を選択します。	ベル アヴェ・マリア オオキナフルドケイ	機能(設定) → 機能(設定) → 機能(設定) → 機能(設定) → 機能(設定)	73ページ
	着信鳴り分け	電話帳に登録した電話番号の着信音を設定します。	ガボット キラキラボン シキヨリ [ハル] ハナノワルツ	機能(設定) → 機能(設定) → 機能(設定) → 機能(設定) → 機能(設定)	59ページ
	ボタン確認音	ボタンを押したときの音を設定します。	ON OFF	機能(設定) → 機能(設定) → 機能(設定) → 機能(設定) → 機能(設定) → 機能(設定)	76ページ
発信履歴	一件消去	発信履歴の内容を一件消去します。	—	機能(設定) → 機能(設定) → 機能(設定) → 機能(設定) → 機能(設定) → 機能(設定) → 1?	64ページ
	全件消去	発信履歴の内容をすべて消去します。	—	機能(設定) → 機能(設定) → 機能(設定) → 機能(設定) → 機能(設定) → 機能(設定) → 1?	64ページ
	電話帳登録	発信履歴から電話帳に登録をします。	—	機能(設定) → 機能(設定) → 機能(設定) → 機能(設定) → 機能(設定) → 機能(設定) → 機能(設定)	39ページ
着信履歴	一件消去	着信履歴の内容を一件消去します。	—	機能(設定) → 機能(設定) → 機能(設定) → 機能(設定) → 機能(設定) → 機能(設定) → 1?	63ページ
	全件消去	着信履歴の内容をすべて消去します。	—	機能(設定) → 機能(設定) → 機能(設定) → 機能(設定) → 機能(設定) → 機能(設定) → 1?	63ページ
	電話帳登録	着信履歴から電話帳に登録をします。	—	機能(設定) → 機能(設定) → 機能(設定) → 機能(設定) → 機能(設定) → 機能(設定) → 機能(設定)	39ページ



操作を途中で中止するときは、(切)を押します。

第1章
準備する第2章
ご使用する前に第3章
電話第4章
ファックス第5章
コピー第6章
留守番機能第7章
ナビディスプレイ第8章
知るべきセンサー第9章
活用する第10章
こんなときには第11章
付録



機能一覧（子機）

機能	設定項目	機能説明	設定内容 (太字：初期設定値)	操作	参照 ページ
画面の コントラスト	—	ディスプレイのコントラストを設定します。	1～7 (4)	 ⇒  ⇒  ⇒  ⇒ 	20ページ
時計設定	—	現在の日付と時刻を登録します。	—	 ⇒  ⇒ 	13ページ
通話パワー	—	子機の電波環境の悪いときに設定します。	ヒョウジュン ツヨイ	 ⇒  ⇒  ⇒  ⇒ 	102ページ
子機増設	—	増設子機（別売り）のID登録をします。登録後増設子機が使用できます。	—	 ⇒  ⇒ 	105ページ 詳しくは、 増設子機 （別売り）の 取扱説明書 をご覧ください。
おことわり	—	メッセージを流して通話を拒否します。	—	通話中に  2秒以上押す	30ページ

注意

通話パワーを「ツヨイ」に設定したときは、「ヒョウジュン」の設定に比べ連続通話時間が短くなることがあります。

メモ

操作を途中で中止するときは、を押します。



初期状態に戻す



□を選択するときは
下部の選択ボタンを
押してください。

登録した内容をお買い上げいただいたときの状態に戻したり、電話帳に登録した内容をすべて消去することができます。

注意

初期状態に戻してしまうと、設定・電話帳などの内容は戻せませんのでご注意ください。

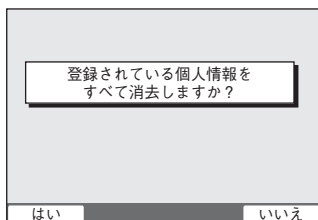
- 電話帳に登録されている電話番号は印刷して保存してください。「電話帳リストを印刷する」(☎80ページ)
- データを消去すると受信したファクスの内容がすべて消去されます。消去する前に印刷して保存してください。「受信したファクスをディスプレイで見る(みるだけ受信)・印刷する」(☎44ページ)
- 音声メッセージを消去するとき、新しく録音されたメッセージも含めすべて消去されます。消去する前にメッセージの内容を確認してください。「音声メッセージがあるとき」(☎50ページ)
- 子機に登録された内容の消去は子機ごとに行ってください。消去する前に電話帳などの内容はメモをとるなどしてください。

個人情報を消去する(親機)

親機の以下の内容を消去することができます。

- お客様の名前・ファクス番号「送信したファクスに印刷される自分の名前と番号を登録する(発信元登録)」(☎22ページ)
- 電話帳の内容「電話帳の登録」(☎37ページ)
- 発信履歴(再ダイヤル機能)の内容「発信履歴を利用する」(☎64ページ)
- 留守録転送先の内容と転送設定解除「留守録転送」(☎55ページ)
- ファクス転送先の内容と転送設定解除「ファクス転送」(☎56ページ)
- 暗証番号「暗証番号の設定」(☎53ページ)
- メモリー送信ファクスの内容「メモリー送信」(☎42ページ)
- 本機が再ダイヤルする相手先の内容「ファクスを送る(自動送信)」(☎41ページ)
- 一括に送信する相手先の内容「一括送信」(☎42ページ)
- メモリー受信ファクスの内容「受信したファクスをディスプレイで見る(みるだけ受信)・印刷する」(☎44ページ)
- 音声メッセージの内容「音声メッセージがあるとき」(☎50ページ)
- 着信鳴り分けの内容「着信鳴り分けを設定する」(☎59ページ)
- 着信履歴の内容「着信履歴を利用する」(☎63ページ)
- ユーザー辞書の内容「ユーザー辞書に登録する(親機)」(☎110ページ)
- 通信管理レポート「通信管理レポート」(☎79ページ)

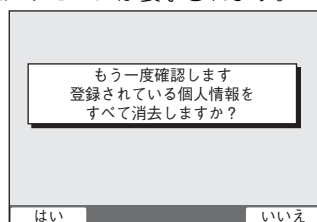
1 機能(☎)を押す



2

はいを押す

確認メッセージが表示されます。



3

はいを押す

- ・「受けつけました」と約2秒間表示されたあと、「しばらくお待ちください」と表示されます。
- ・個人情報が消去されたあと、待ち受け画面に戻ります。

個人情報を消去する(子機)

子機の以下の内容を消去することができます。

- 電話帳の内容「電話帳の登録」(☎38ページ)
- 着信履歴の内容「着信履歴を利用する」(☎63ページ)
- 発信履歴(再ダイヤル機能)の内容「発信履歴を利用する」(☎64ページ)

1

続けて機能(☎)を押す

「コジソクヨリウツヨクヨ? 1.スル 2.ナイ」と表示されます。

2

1を押す

「スハデショクヨ? 1.スル 2.ナイ バンコウニウツヨク」と表示されます。

3

もう一度1を押す

「コジソクヨリウツヨクヨ シマシ」と表示されます。

4

切を押す

設定を終了します。

準備する
第1章

ご使用する前に
第2章

電話
第3章

ファクス
第4章

コピー
第5章

留守番機能
第6章

ナビディスプレイ
第7章

知らせるセンサー
第8章

活用する
第9章

こんなときには
第10章

付録
第11章

初期状態に戻す



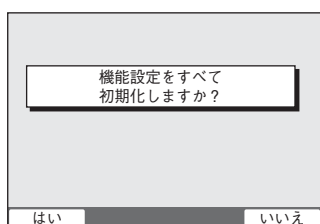
□を選択するときは
下部の選択ボタンを
押してください。

機能設定をもとに戻す

操作を行うと次の設定を一度にすべてお買い上げ時の状態に戻すことができます。

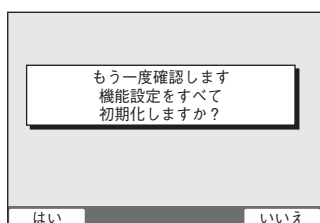
- 回線種別の設定「自動で回線種別を設定する」(P.9ページ)、「手動で回線種別を設定する」(P.9ページ)
- 現在の日付と時刻「親機の日付・時刻を設定する」(P.10ページ)
- モーニングアラーム「モーニングアラームの設定」(P.77ページ)
- 「メモリー送信」(P.42ページ)、「一括送信」(P.42ページ)などの通信待ちデータ。

1 機能設定ボタンを押す



2 はいを押す

確認メッセージが表示されます。



3 はいを押す

「受けつけました」と約2秒間表示されたあと、「しばらくお待ちください」と表示されます。



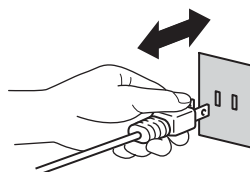
設定した機能が消去されて、お買い上げ時の状態に戻ります。

親機を強制リセットする（修理を依頼される前に）

本機に次のような不具合が発生したときは、外部からの大きなノイズによって誤作動しているおそれがあります。

- ディスプレイが正しく表示されない
- ボタンが操作できない
- 電話帳リストなどが正しく印刷されない
- コピーなど、印刷できない状態が頻繁に起こる
- その他、正しく動作しない

このようなときは、電源コードを抜いて電源をOFFにし、数秒後にもう一度差し込んでみてください。これだけでも、改善される場合があります。



強制リセットをしても、不具合が改善されないときは「お客様相談窓口（コールセンター）：☎ 0120-161-170」へご連絡ください。

消耗品などのご注文について

- 消耗品はお近くの家電量販店でも取り扱いがございますが、当社にてインターネット、電話、ファクスによるご注文も承っております。
- ファクスにてご注文される場合はご注文シートにご記入の上、お申し込みください。
- 配送料は、お買い上げ金額の合計が3,000円以上の場合は全国無料です。
3,000円未満の場合は350円の配送料をいただきます。(代引き手数料は全国一律無料)
- 納期については土・日・祝日、長期休暇をはさむ場合はその日数が下記に加算されます。
- 配送地域は日本国内に限らせていただきます。

<代引き> . . . **ご注文後2～3営業日後の商品発送**

<お振込（銀行・郵便）> . . . **ご入金確認後2～3営業日後の商品発送**

※ 代金は先払いとなります。(銀行／郵便局備え付けの振込用紙などからお振り込みください。)

※ 振込手数料はお客様負担となります。

<クレジットカード> . . . **カード番号確認後2～3営業日後の商品発送**

ご注文先



ブラザー販売（株）

インターネット：

携帯サイト：

ファクス：

電話：

振込先：

情報機器事業部ダイレクトクラブ

<http://direct.brother.co.jp>

右の二次元コードにアクセス

052 - 825 - 0311

☎ 0120 - 118 - 825 (土・日・祝日、長期休暇を除く9時～12時、13時～17時)

口座名義：ブラザー販売株式会社

銀行：三井住友銀行 上前津（カミマエヅ）支店 普通 6428357

郵便：振り込み番号 00860 - 1 - 27600



ご注文シート

ブラザー販売（株）
情報機器事業部 ダイレクトクラブ 行
FAX：052-825-0311（TEL：0120-118-825）

（お客様ご住所）
〒

（お名前）	（TEL）	（FAX）
（お支払い方法）	1）銀行前振込 2）郵便前振込 3）代引き 4）クレジットカード	
（カード種類）	1）VISA 2）JCB 3）UC 4）DINERS 5）CF 6）Master 7）JACCS	
（カード名義人名）	（有効期限）	年 月
（カードNO.）		

品名	単価(税込)（*2）	ご注文数	金額(税込)
リボンカートリッジ ×1個 （カセット+リボン） PC-551 （*1）	1,365円		
増設子機セット（カナ表示） BCL-D80（バッテリー付）	16,800円		
子機用バッテリー BCL-BT30	1,680円		

（*1）：リボンの長さはA4サイズ約128枚分です。
（*2）：消費税改定に伴い、単価が変わる可能性があります。
消費税：2009年2月現在
（*3）：配送料は変わる可能性があります。
*お振込みの場合は、ご入金確認後の商品発送となります。

振込先：口座名義：ブラザー販売株式会社
銀行：三井住友銀行 上前津（カミマエツ）支店
普通6428357
郵便：振込番号 00860-1-27600

ブラザーファクスをご愛用頂きありがとうございます。
インターネットのブラザーダイレクトクラブのサイト
からも消耗品をご注文いただけます。
ぜひ一度下記URLをご覧ください。

（URL）<http://direct.brother.co.jp>

小計	
配送料（*3） （どちらかに○を付けて下さい） ●小計が3,000円未満→ 350円 ●小計が3,000円以上→ 0円	
合計 （小計+配送料）	

索引

A

ADSL	14
IP電話解除番号	27
ISDN回線	14
PHONE (TEL) 端子	14

あ

暗証番号の消去	53
暗証番号の設定	53
安心通信モード	104
アンテナ	16
一括送信	42
一括送信レポートの設定	80
エラーメッセージ	88
応答メッセージ	51
おかえり伝言	70
おことわり	30
親機を強制リセットする	118
おやすみモード	78
音量の設定	
受話音量	76
着信音量	76
ボタン確認音量	76
モニター音量	76

か

海外送信	42
外観図	
外観図 (親機)	16
外観図 (子機)	20
回線種別	9
回線接続端子	16
拡大／縮小コピー	46
画質の調整	47
帰宅通知	71
機能案内リスト	80
機能一覧	
機能一覧 (親機)	111
機能一覧 (子機)	115
機能設定をもとに戻す	118
キャッチホン	31
キャッチホン・ディスプレイ	58
記録紙	
記録紙	48
記録紙がつまったときは	86
記録紙挿入口	16
記録紙トレイ	11, 16
記録紙排出口	16
ケータイ通話お得サービス	
ケータイ通話お得サービスとは	26
ケータイ通話お得サービスの設定	27
事業者識別番号を変更する	27
原稿	
原稿ガイド	16
原稿が繰り込まれていかない	100
原稿がつまったときは	85
原稿挿入口	16
原稿のサイズと紙厚	48
原稿のセット	41
原稿の読み取り範囲	48

原稿排出口	16
使用できない原稿	48
交換	
子機のバッテリー交換	87
リボンカートリッジの交換	81
公衆電話拒否	60
構内交換機 (PBX)	15
子機増設モード	105
子機通信チャンネル設定 (親機)	102
故障	92
コピー	46
コントラスト (親機)	18
コントラスト (子機)	20

さ

再ダイヤル機能	29
再呼び出し設定	25
三者通話 (トリプル通話)	36
事業者識別番号	26, 27
自動縮小受信	45
充電	
子機の充電	12
充電表示ランプ	21
受信したファクスをディスプレイで見る (みただけ受信)・印刷する	44
受話音質	31
受話音量	76
受話器	
受話器	16
受話器コード	16
受話器接続端子	16
仕様	119
知らせるセンサー	65
親切受信	45
すっきりトレイ	11, 16
スピーカーホン通話 (子機のみ)	28
清掃	
記録部の清掃	84
原稿読取部の清掃	83
接続	8
設定リスト	80
操作パネル	
操作パネル (親機)	17
操作パネル (子機)	21
送信レポートの設定	80

た

待機一覧	42
ダイヤルトーン設定	104
ダストカバー	16
着信	
着信音の設定	73
着信音量	76
着信拒否モニター	61
着信鳴り分け機能	59
着信履歴	63
着信履歴から電話する	29, 63
着信ありの表示を消す	63
直収電話サービス	26
著作権	46
通信管理レポート	79

第1章
準備する第2章
ご使用する前に第3章
電話第4章
ファクス第5章
コピー第6章
留守番機能第7章
ナビディスプレイ第8章
知らせるセンサー第9章
活用する第10章
こんなときには第11章
録

索引

通話	
通話がうまくいかないとき	102
通話の切り替え	31
通話音質調整	102
通話パワー（子機）	102
ディスプレイ	
ディスプレイ（親機）	18
ディスプレイ（子機）	20
文字サイズ	19
停電になったとき	101
デモ画面	9
電源コード	16
電話	
携帯電話に電話がかかけられない	92
子機が動作しない	94
電話がかかけられない	9, 92
電話を受けられない	93
電話帳	
電話帳の転送	40
電話帳の登録	37
電話帳の変更・消去	39
電話帳リスト	80
履歴からの登録	39
電話番号表示機能	57
トールセーバー機能	25
トーン（プッシュ）信号	28
特別回線対応	104
取り次ぐ（電話を取り次ぐ）	32
トリプル通話（三者通話）	36

な

内緒話モード	31
内線	34
内線番号	32
名前表示機能	57
ナンバー・ディスプレイ	57
ネーム・ディスプレイ	62
濃度の調整	47

は

発信元登録	
（自分の名前とファクス番号を登録する）	22
発信履歴	
発信履歴	64
発信履歴から電話する	29, 64
バッテリー	
子機のバッテリー交換	87
バッテリーカバー	20
充電	12
ひかり電話サービス	14
ピクト（絵文字）	18, 20
ビジネスホン	15
非通知着信拒否	60
日付・時刻設定	10, 13
表示圏外着信拒否	61
ファクス	
ファクス転送	56
ファクスに印刷される自分の 名前と番号を登録する	22

ファクスを印刷する	45
ファクスを送る	41
送信／受信できない	99
ファクス送信時やコピー時の画質が悪いとき	83
複数コピー	46
ランチ接続	15
並列接続	15
傍受	103
ポーズ	107, 109
ホームテレホン	15
ボタン確認音量	76
保留	
保留	30
保留音の設定	74

ま

待ち受け画面	18
みただけ受信	44
迷惑電話防止	57, 60
メッセージ	51
メッセージの録音時間	52
メモリー	
メモリー送信	42
メロディ	
メロディー一覧	75
メロディの選びかた	75
モニタリングアラーム（親機）	77
文字の入れかた（親機）	106
文字の入れかた（子機）	108
モニター音量	76

や

ユーザー辞書の登録	110
呼出回数の設定	25

ら

リボンカートリッジ	81
リモコン	
リモコンアクセス	53
リモコンアクセスカード	55
リモコンコード表	54
留守	
音声メッセージがあるとき	50
ファクスが届いているとき	50
留守応答メッセージ	52
留守番機能	49
留守録転送	55
留守録モニター	52
レバー	16
録音（通話の録音）	30

お客様相談窓口(コールセンター): ☎ 0120-161-170

ブラザーコールセンターは、ブラザー販売株式会社が運営しています。

本製品の取り扱い、操作、アフターサービスについてのご相談は、上記のお客様相談窓口(コールセンター)にお気軽にお問い合わせください。

受付時間 月曜日～金曜日: 午前9:00～午後8:00
土曜日: 午前9:00～午後5:00

(日・祝日および当社(ブラザー販売(株))休日は休みとさせていただきます。)

ダイレクトクラブにて消耗品のファクス注文受付中！
ファクス番号：052-825-0311
(ご注文シートは本書121ページ参照)

- ブラザー純正品のリボンカートリッジをご使用いただいた場合のみ機能・品質保証されます。
- 子機の水濡れシールが反応している場合は、保証対象外になります。

brother

467-8561 愛知県名古屋市瑞穂区苗代町15-1
ブラザー工業株式会社

本製品は日本国内のみでのご使用となりますので、海外でのご使用はおやめください。現地での各国の通信規格に反する場合や、現地で使用されている電源が本製品に適切でないおそれがあります。海外で本製品をご使用になりトラブルが発生した場合、当社は一切の責任を負いかねます。また、保証の対象とはなりませんのでご注意ください。

These machines are made for use in Japan only. We can not recommend using them overseas because it may violate the Telecommunications Regulations of that country and the power requirements of your fax machine may not be compatible with the power available in foreign countries.
Using Japan models overseas is at your own risk and will void your warranty.

- お買い上げの際、販売店でお渡しする保証書は大切に保存してください。
- 本製品の補修用性能部品の最低保有期間は製造打切後5年です。
- 本書に記載されているその他の会社名および製品名は、各社の商標または登録商標です。

FAX-380DL/380DW